

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事

符号	図面名称	縮尺	符号	図面名称	縮尺	符号	図面名称	縮尺	符号	図面名称	縮尺
A - 0 0	表紙・図面リスト		A - 2 7	仮設計画図（立面）	1:50	E - 0 1	電気設備特記仕様書 1		M - 0 1	機械設備特記仕様書 1	
A - 0 1	建築工事特記仕様書 1		A - 2 8	参考工程表	1:50	E - 0 2	電気設備特記仕様書 2		M - 0 2	機械設備特記仕様書 2	
A - 0 2	建築工事特記仕様書 2				1:10	E - 0 3	配置図	1:200	M - 0 3	器具・機器リスト（衛生設備）	
A - 0 3	建築工事特記仕様書 3				1:5	E - 0 4	盤単線結線図		M - 0 4	配置図（衛生設備）	1:200
A - 0 4	建築工事特記仕様書 4				1:100	E - 0 5	幹線動力・コンセント・非常警報・電灯設備図	1:100	M - 0 5	平面図（衛生設備）	1:50
A - 0 5	建築工事特記仕様書 5					E - 0 6	弱電設備姿図		M - 0 6	機器リスト（空調・換気設備）	
A - 0 6	建築工事特記仕様書 6					E - 0 7	弱電設備図	1:100	M - 0 7	平面図（空調・換気設備）	1:100
A - 0 7	建築工事特記仕様書 7										
A - 0 8	建築工事特記仕様書 8										
A - 0 9	設計概要・外部仕上表・内部仕上表										
A - 1 0	附近見取図・配置図兼仮設計画図（平面）	1:250	S - 0 1	構造特記							
A - 1 1	平面図	1:100	S - 0 2	構造標準図 R C 関連詳細図	1:100						
A - 1 2	立面図	1:100	S - 0 3	構造標準図 軸組構造材標準図 1	1:100						
A - 1 3	断面図	1:100	S - 0 4	構造標準図 軸組構造材標準図 2	1:100						
A - 1 4	屋根伏図・天井伏図	1:100	S - 0 5	柱状改良特記仕様書							
A - 1 5	平面詳細図	1:50	S - 0 6	柱状改良伏図	1:100						
A - 1 6	断面詳細図	1:30	S - 0 7	基礎伏図・基礎詳細図	1:100、1:30						
A - 1 7	展開図 1	1:50	S - 0 8	床伏図・梁伏図兼小屋伏図	1:100						
A - 1 8	展開図 2	1:50	S - 0 9	軸組図 1	1:100						
A - 1 9	展開図 3	1:50	S - 1 0	軸組図 2	1:100						
A - 2 0	展開図 4	1:50	S - 1 1	耐力壁・金物伏図	1:100						
A - 2 1	建具位置図	1:50									
A - 2 2	建具表	1:50									
A - 2 3	部分詳細図	1:10、1:30									
A - 2 4	家具詳細図 1	1:30									
A - 2 5	家具詳細図 2	1:30									
A - 2 6	サイン詳細図	各縮尺参照									

	令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事				設計・監理 一級建築士事務所	
	1:non	SCALE	SCALE	SCALE	野 中 建 築 設 計 事 務 所	
	表紙・図面リスト					
	DW.	CK.	DATE 07-02	NO. A-00	〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20 TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408	

④

⑥砂利及び砂地業
(4.6.2)
(4.6.3)

⑦捨てコンクリート地業
(4.6.4)

⑧床下防湿層
(4.6.5)

⑨土間断熱材

⑩地盤改良

厚さ (mm) ● 図示による ※ 6 0

材料 砂利 ○再生クラッシュラン ○切込砂利 ● 切込碎石

砂

山砂 ○川砂 ○砕砂

厚さ (mm) ● 図示による ※ 5 0

ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm 重ね幅縦及び基礎梁際のみ込み 250mm以上

施工範囲 ● 図示による

○ 建物内の土間スラブ (土間コンクリート含む) の直下 (ピット下を除く)

○ 捨てコンクリートの直下

○ 押出法ポリスチレンフォーム 3 種 b のスキン層付き

厚さ ● 2 5 mm ○ ____ mm

● 現場発生土を再利用する。 ○ ____

改良方法

セメント及びセメント系固着材を使用した改良土を使用する場合、六価クロム溶出試験を実施し、土壌環境基準を勘案して必要に応じ適切な措置を講じること。また、再利用しようとする場合は、基準以下であることを確認すること。

「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」((一財)日本建築センター)を参考とすること。

⑤

①鉄筋の種類等
(5.2.1)

②溶接金網
(5.2.2)

③鉄筋の継手及び定着
(5.3.4)
(5.5.3)
(5.6.3)

④鉄筋のかぶり厚さ及び間隔
(5.3.5)

5 ガス圧接継手
(5.4.10)

(表5.2.1)

種類	径 (mm)	備 考
異形鉄筋	※ S D 2 9 5	D 1 6 以下
	※ S D 3 4 5	D 1 9 以上
	○	一般建築物の柱・梁の主筋に適用する

※ SD295 は F c : 21 以上の場合、壁筋及びスラブ筋に適用する

網目の形状、寸法 φ150 鉄線の径 6 mm

部 位	接 合 方 法	径 (mm)	重ね継手の長さ
※ 柱・梁の主筋	○ 重ね継手 ○ ガス圧接継手	D 1 9 以上	○ 標仕表5.3.2
○	○ 機械式継手 ○ 溶接継手		による
※ その他	○ 重ね継手 ○ ガス圧接継手	D 1 6 以下	※ 構造図による
	○ 機械式継手 ○ 溶接継手		

○ 機械式継手 種類 ____ 工法 ____

品質確認方法、修正方法等 ____

○ 溶接継手 種類 ____ 工法 ____

品質確認方法、修正方法等 ____

○ 鉄筋継手位置 ※ 構造図による ○ 表5.3.3による

○ 鉄筋の定着長さ ※ 構造図による ○ 表5.3.4による

○ 機械式定着工法 種類 ____ 工法 ____

品質確認方法、修正方法等 ____

鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ

※ 構造図による ○ 表5.3.6による (次の2項目のかぶり厚さを除く)

○ 軽量コンクリートで土に接する部分の鉄筋のかぶり厚さは下表による。

○ 塩害の受けるおそれのある部分等、耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。

施 工 箇 所 等	最 小 か ぶ り 厚 さ (mm)
基礎、ポーチ、スロープ	60

機械式継手及び溶接継手のあき ○ ____

試験方法 ※ 超音波探傷試験 ○ 引張試験

試験方法等 ※ 標仕 5.4.10(4) (b)

①～⑥による ○ ____

⑥

①コンクリートの種類
(6.2.1)

②コンクリートの強度
(6.2.2)
(6.2.4)
(6.10.2)
(6.14.1)

③セメントの類別
(6.3.1)

④骨材
(6.3.1)

⑤混和材料
(6.3.1)

⑥構造体強度補正值
(6.3.2)

⑦打継ぎ
(6.6.4)

⑧型枠 (せき板)
(6.2.5)
(6.8.1)
(6.8.2)

⑨スリーブ
(6.8.2)

種類 ※ 普通コンクリート ○ ____

類別 ※ I 類 ○ II 類 (表6.2.1)

設計基準強度 (F c)

打 設 部 位	F c (N/mm 2)	スランブ (cm)	備 考
構造体	基礎 ※ 2 4 ○	○ 1 5 ※ 1 8	
	上部 ※ 2 4 ○	○ 1 5 ※ 1 8	土間スラブを含む
土間コンクリート	※ 1 8 ○	○ 1 5 ※ 1 8	側溝・犬走り
捨てコンクリート	※ 1 8 ○	○ 1 5 ※ 1 8	
軽量コンクリート	○ 2 1 ○	○ 2 1 ○ 1 8	
無筋コンクリート	○ 1 8 ○	○ 1 5 ○ 1 8	標仕6.14.1による

※ 構造体コンクリートの発注強度は以下のとおりとする。

[F c + 構造体強度補正值 (S)] N/mm 2

(6.14.1)によるもの及び土間コンクリートは構造体強度補正は行わない)

※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントの A 種

○ 高炉セメントの B 種 (適用箇所 ____)

○ シリカセメント

○ フライアッシュセメントの B 種 (適用箇所 ____)

粗骨材 ※ 砂利 (JIS A5308)、砕石 (JIS A5005) ○ 高炉スラグ ○ 電気炉酸化スラグ

○ 再生骨材H

細骨材 ※ 砂 (JIS A5308)、砕砂 (JIS A5005) ○ 高炉スラグ ○ 電気炉酸化スラグ

○ 鋼スラグ ○ フォトリックススラグ

○ 再生骨材H

アルカリシリカ反応性による区分 ※ A (無害) ○ ____

※ 混和剤 ※ AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤の I 種 (JIS A 6204)

防錆剤 ※ 鉄筋コンクリート用防錆剤 (JIS A 6025)

※ 混和材 ※ フライアッシュ (JIS A 6201) I 種、II 種若しくは IV 種

○ コンクリート用高炉スラグ微粉末 (JIS A 6206)

○ コンクリート用シリカフューム (JIS A 6207)

○ コンクリート用膨張材 (JIS A 6202)

※ 気温による構造体強度補正值 (S) (表6.3.2)

予想平均気温 (°C)	補正值	期 間 (打 設 日)		
普通	早強 (S)	南部地域	中部地域	北部地域
8以上	5以上	3	3/6 ~ 6/30	3/11 ~ 7/20
		N/mm 2	9/11 ~ 11/15	9/1 ~ 11/5
			11/ 6 ~ 3/10	11/ 1 ~ 3/10
0以上	0以上	6	11/16 ~ 3/5	11/ 6 ~ 3/10
8未満	5未満	N/mm 2		

南部地域 (京都市 (一部を除く)、旧八木町、旧園部町以南の市町村)

北部地域 (宮津市、旧加悦町以北の市町)

中部地域 (上記以外の市町、旧美山町及び旧京北町含む)

位置 ※ 構造図による ○ 標仕 6.6.4(1) による

目地の寸法 ※ 図示による ○ ____

合板の規格 ※ 「合板の日本農林規格」の「コンクリート型枠用合板の規格」による合板

合板の材種 ※ 広葉樹合板、針葉樹合板又はこれらの複合合板

厚さ (mm) ※ 1 2 ○ ____

打放し仕上げのせき板

※ 合板せき板を用いる場合 (表6.2.4)

種 別	板 面 の 品 質	施 工 箇 所
○ A 種	※ 6.8.2(2) (7) ○	
● B 種	※ 6.8.2(2) (4) ○	
○ C 種	※ 6.8.2(2) (4) ○	

○ 合板せき板を用いない場合

せき板の材料

コンクリートの仕上りの平たんさ

種 別	適 用 箇 所
○ a 種	
○ b 種	
○ c 種	

外部に面する打放し仕上げの打増し厚さ ※ 図示による ○ 2 0 mm

ひび割れ誘発目地の位置、形状及び寸法 ※ 図示による ○ ____

スリーブの材種 (表6.8.1)

適 用 箇 所	材 種 (規 格 そ の 他)
水密を要する地中部分等	※ つば付き鋼管 (JIS G3452 の黒管に厚さ6mm 以上、つば幅50mm以上の鋼板を溶接したもの)
水密を要しない地中部分等	※ 硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K6741 の V U)
上記以外の円形スリーブ	※ 溶融亜鉛めっき鋼板 (径200mm以下は厚0.4mm 以上、径200mmを超え350mm以下は厚0.6mm以上) ○

⑦

⑩コンクリートの試験
(6.9.2)
～(6.9.5)

11 軽量コンクリート
(6.10.1)
～(6.10.3)

12 寒中コンクリート
(6.11.1)

13 暑中コンクリート
(6.12.2)

14 マスコンクリート
(6.13.1)
(6.13.2)

15 無筋コンクリート
(6.14.1)

⑪コンクリートミキサー車の過積載防止対策等

7 鉄骨の製作工場
(7.1.3)

2 施工管理技術者
(7.1.4)

3 鋼材
(7.2.1)

4 高力ボルト
(7.2.2)
(7.4.2)

5 溶融亜鉛めっき高力ボルト
(7.2.2)
(7.4.2)
(7.12.5)

6 普通ボルト
(7.2.3)
(7.3.8)

7 溶接材料
(7.2.5)

8 ターンバックル
(7.2.6)

9 デッキプレート
(7.2.7) (7.7.8)

※ フレッシュコンクリートの試験

○ 省略する

常時土又は水に直接接する部分の使用 ○ 可 ○ 不可

種類 ○ 1 種 ○ 2 種

施工箇所

気乾単位容積質量 ____ t/m3

予想平均気温が表6.3.2に示す予想平均気温未満の場合には標仕第6章第11節 (寒中コンクリート) による。

※ 暑中における構造体強度補正值 (S)

地 域	日平均気温が25度を超える期間 (打設日)	補 正 値
北 部 地 域	7 月 1 1 日～8 月 3 1 日	※ 6 N/mm 2
中 部 地 域	7 月 2 1 日～8 月 3 1 日	
南 部 地 域	7 月 1 日～9 月 1 0 日	○ 3 N/mm 2

施工箇所

セメントの種類 ○ 中厚熱ポルトランドセメント ○ シリカセメント

○ 低熱ポルトランドセメント

○ 高炉セメント B 種

○ フライアッシュセメント B 種

○ 普通ポルトランドセメント

混和材料 ○ 混和剤 ※ AE減水剤又は高性能AE減水剤 (JIS A 6204)

○

○ 混和材 ○ フライアッシュの II 種 (JIS A 6201)

○ 高炉スラグ微粉末の3000若しくは4000 (JIS A 6206)

○

スランブ ※ 15cm ○ ____

コンクリートの種類 ※ 普通コンクリート ○ ____

受注者は、出荷伝票等を整理・保管し、監督職員の請求があった場合は、遅滞なく提出するとともに、検査時に提示しなければならない。また、ミキサー車 1 台毎の積載量を把握できる運搬管理表を検査時に提出しなければならない。

※ 建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場 又は同等以上の能力のある工場 ((O S O H O M O R O J) グレード以上)

○ 監督職員の承諾する工場 (標準仕様書7.1.1以外の適用範囲に限る)

適用する

種類 形状及び寸法 ※ 図示による ○ ____

ボルトの区分 ○ トルシア形高力ボルト ○ 溶融亜鉛めっき高力ボルト

○ J I S 形高力ボルト ○ ____

ねじの呼び ○ ____

すべり係数試験 ○ 行わない

○ 行う 試験方法等 ○ 図示による ○ ____

セットの種類 ○ 1 種 (F8T) 相当

摩擦面の処理

○ プラスト処理 (表面粗度 5 0 μ mRz 以上)

○ リン酸塩処理

すべり耐力等の確認方法 ※ すべり耐力試験

試験方法等 ○ 図示による ○ ____

ねじの呼び ○ ____

母屋又は胴縁の取付けに使用する普通ボルトの孔径 ○ ____ ※ 呼び径+1.0mm

溶接材料

※ 標準仕様書7.2.5(1)(2)による

○ 図示による

○ ____

胴の種類 ※ 割枠式 ○ バイプ式

ボルトの種類 ※ 羽子板ボルト ○ 両ねじボルト ○ アイボルト

ねじの呼び ○ ____

材質、形状及び寸法 ※ 図示による ○ ____

デッキプレートと鉄骨部材の溶接方法 図示による

7

10 工作図
(7.3.2)

11 仮組
(7.3.10)

12 溶接作業における技能資格者
(7.6.3)

13 溶接接合
(7.6.4)
(7.6.7)

14 溶接部の試験
(7.6.12)

15 耐火被覆
(7.9.2)
～(7.9.7)

16 アンカーボルト
(7.2.4)
(7.3.2)
(7.10.3)

17 柱底均しモルタル
(7.2.9)
(7.10.3)

高力ボルト、普通ボルトのゲージ、ピッチ、ヘアき等

※ 図示による (図に無い場合は鉄骨設計基準による)

○ 実施する 部位 ()

○ 実施しない

溶接作業者の技量付加試験

※ 行わない

○ 行う 試験の要領 ○ 図示による () ○ ____

開先形状

○ 図示による

○ ____

鋼製エンドタブの切断 ○ 有 ○ 無

適用箇所 ※ 図示による ○ ____

切断面の仕上げ ※ グラインダーにより、粗さ100 μ mRz程度以下及びピッチ深さ1mm程度以下 ○ ____

スカラップの形状

○ 図示による

完全溶込溶接部の超音波探傷試験

※ 行う ○ 行わない

○ 工場溶接

AOQL ○ 4.0% ○ 2.5%

検査水準 ○ 第6水準 (筋全て)

○ 工事現場溶接

H12建設省告示第1464号第二号に関する外観試験方法等

○ 「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル (独立行政法人建築研究所)」3.5.2による受入検査

○ 抜き取り検査① ※ 抜き取り検査②

JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]の付則3「溶接」に関する試験方法等

○ JASS 10.4 [受入検査] e. 溶接部の外観検査 (1) から (5) までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜き取り箇所は、超音波深傷試験の試験箇所と同一とする。

外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。

種別

種 別	材 料 ・ 工 法	適用箇所 (部位・部分)
○ 耐火材吹付け	○ 乾式吹付ロックウール	
	○ 半乾式吹付ロックウール	
	○ 湿式ロックウール	
	○	
○ 耐火板張り	○ 繊維混入ケイ酸カルシウム板	
	○	
○ 耐火材巻付け	○ 高断熱ロックウール	
	○	
○ 5 張りめり塗り	-	
○ 耐火塗料		

材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする

性能

性 能	適 用 箇 所 (部 位 ・ 部 分)
○ 3 0 分耐火	
○ 1 時間耐火	
○ 2 時間耐火	
○ 3 時間耐火	

適用

○ 構造用アンカーボルト

種類 ○ SNR400B ○ ____

アンカーフレームの形状及び寸法

○ 図示による ○ ____

○ 建方用アンカーボルト

種類 ○ SS400

アンカーボルトの保持及び埋め込み工法 (表7.10.1)

種別 ○ A 種 ○ B 種

柱底均しモルタルの厚さ ○ 5 0 mm ○ 3 0 mm

モルタルの種別 ※ 無収縮モルタル ○ ____

材料・調合等 ※ 標示 7.2.9 (2) (7) から (x) による ○ ____

厚さ ※ 図示による ○ ____

工法 ※ A 種 ○ B 種

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事

1:non

建築特記仕様書 2

D.W.

SCALE

SCALE

SCALE

CK.

DATE

07-02

NO.

A-02

設計・監理 一級建築士事務所

野中建築設計事務所

1 級 建 築 士 第 1 4 7 9 3 1 号 野中健一

〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20

TEL 0771-62-0298 FAX 0771-62-0408

7

鉄骨工事

18 錆止め塗料

(7.8.4)
(18.3-2)

塗料の種類

○ 鉄鋼面の錆止め塗料
○ 表18.3.1による ※ A種 ○ B種
○
○ 亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料
○ 表18.3-2による ※ A種 ○ B種 ○ C種
○
鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリートの内面（鉄骨に溶接されたものに限る）
○ 表18.3.1による ※ A種 ○ B種
○
耐火被覆材の接着する面への塗装
○ 行わない ○ 行う（範囲 ○ 図示による ○
耐火被覆材の接着する面以外への塗装
○ 行わない ○ 行う（範囲 ○ 図示による ○

8

コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

1 補強コンクリートブロック造

(8.2.2)
～(8.2.8)

ブロックの種類 ○ 16（C種）普通ブロック ○ 16-W（C種）防水ブロック

モジュール呼び寸法及び正味厚さ ○ 図示による ○

コンクリートの設計基準強度 F_o（N/mm²）
充填用及びまぐさ ※ 21 以上 ○
上記以外 ※ 21 以上 ○

各部の配筋 ※ 図示による

目地仕上げ ○ 押し目地仕上げ ○ 化粧目地仕上げ

モルタル又はコンクリートで充填するブロックの範囲 ○ 図示による ○

2 コンクリートブロック塀及び堀

(8.3.2)
～(8.3.4)

ブロックの種類 (表8.3.1)

適用箇所	種類の記号
間仕切壁、地下二重壁、外壁、塀	※ 空洞ブロック 16 ○
外壁の化粧積み	○ 空洞ブロック 16-W ○

モジュール呼び寸法及び正味厚さ ○ 図示による ○

塀の厚さ ○ 図示による ○

壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状 ※ 図示による

各部の配筋 ※ 図示による

化粧粒ブロック ○ 有（

ブロック塀の基礎及び控壁のコンクリートの設計基準強度 F_o（N/mm²）
○ 18 ※ 21 ○

3 ALCパネル

(8.4.2)
～(8.4.5)

パネルの種類 (表8.4.2)(表8.4.3)(表8.4.4)

区分	単位荷重(N/m ²)	厚さ(mm)	構法	耐火性能
○ 外壁ﾊﾞﾙ	※ 1180 ○ 1960	※ 100 ○ 150	○ A種 ○ B種	※ 有り（時間） ○ 無し
○ 間仕切ﾊﾞﾙ	※ 640 ○	※ 100 ○ 150	○ C種 ○ E種 ○ D種	※ 有り（時間） ○ 無し
○ 屋根ﾊﾞﾙ	※ 980 ○	※ 100 ○ 150	※ F種	※ 有り（時間） ○ 無し
○ 床ﾊﾞﾙ	○ 2350 ○ 3530	○ 100 ○ 150	※ F種	※ 有り（時間） ○ 無し

パネル相互の接合部に挿入する耐火目地材 ○ 図示による ○

外壁ﾊﾞﾙの工法
※ 本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。
※ 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定める。
パネル幅の最小限度 ※ 300 mm ○
ﾊﾞﾙの出隅及び入隅のﾊﾞﾙ接合部並びにﾊﾞﾙと他部材との取り合い部の目地幅 mm
伸縮目地への耐火目地材の充填 ○ 適用する ○ 適用しない
外壁パネル構法及び間仕切壁パネル構法における耐震性能 ○

4 押出成形セメント板

(EGP)
(8.5.2)
～(8.5.5)

種類 ※ 無石棉タイプ（タイプⅡ）

施工箇所	表面形状	厚さ（mm）	工法	耐火性能
○ 外壁	○ フラットパネル ○ デザインパネル(図示) ○ タイルベースパネル	○ 35 ○ 50 ○ 60	○ A種 ○ B種	※ 有り（時間） ○ 無し
○ 間仕切り	※ フラットパネル ○ デザインパネル(図示) ○ タイルベースパネル	○ 35 ○ 50 ○ 60	○ B種 ○ C種	○ 有り（時間） ※ 無し

外壁ﾊﾞﾙの工法
※ 本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。
※ 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定める。
パネル幅の最小限度 ※ 300 mm ○
ﾊﾞﾙ相互の目地幅 ○ 図示による ○
出隅及び入隅のﾊﾞﾙ接合部目地の目地幅 ※ 15 mm ○
外壁パネル構法及び間仕切壁パネル構法における耐震性能 ○
やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とし、欠損部分を考慮した強度を確認した資料を提出すること。

	孔あけ及び欠き込みの大きさ	切断後のﾊﾞﾙの残り部分の幅
ﾊﾞﾙに孔あけを設ける場合	短辺	
	長辺	
ﾊﾞﾙに欠き込みを設ける場合	短辺	
	長辺	

9

防水工事

1 アスファルト防水

(9.2.2)
～(9.2.5)

(表9.2.3)～(表9.2.9)

種別	防水層	施工箇所	種類	仕上塗料	使用量
○ 保護防水	○ A-1 ○ A-2 ○ A-3 ○ AI-1 ○ AI-2 ○ AI-3	表9.2.3 表9.2.4			
	○ B-1 ○ B-2	表9.2.5			
	○ BI-1 ※ BI-2	表9.2.6			
○ 露出防水	※ D-1 ○ D-2	表9.2.7	施工箇所		
	○ DI-1 ○ DI-2	表9.2.8			
○ 屋内防水	※ E-1 ○ E-2	表9.2.9			

○ 断熱材（屋根保護防水断熱工法）
厚さ mm

○ 断熱材（屋根露出防水断熱工法）
厚さ mm
種類

ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材及び絶縁用シートの張りじまい位置
※ 図示による ○

絶縁用シート ※ ポリエチレンフィルム厚0.15（保護防水工法）
※ フラットヤーークロス（70g/m²程度）（保護防水断熱工法）
○
押え金物 ※ アルミニウム製 L-30×15×2.0 ○
立上り部の保護 ○ 乾式保護材（
○ 普通れんが ○ 化粧れんが ○ モルタル押え（屋内）
○ コンクリート（工法）
保護層 平場のコンクリート厚さ ○ mm
○ こて仕上げ mm
○ 床タイル張り等仕上げ mm

屋上排水溝 ※ 図示による

脱気装置（露出防水絶縁(断熱)工法）※ 設ける 材種（
設置数量（1箇所／㎡）

2 改質アスファルトシート防水

(9.3.2)
～(9.3.4)

種類 (表9.3.1)～(表9.3.3)

種別	防水層	施工箇所	種類	仕上塗料	使用量
○ AS-T1 ○ AS-T2	表9.3.1				
○ AS-T3 ○ AS-T4 ○ AS-J1	表9.3.2				
○ AS1-T1 ○ AS1-J1	表9.3.3				

断熱材（露出防水断熱工法）
厚さ ○ mm
種類 ○

脱気装置（絶縁工法）※ 設ける 材種（
設置数量（1箇所／㎡）

防湿層（露出防水絶縁断熱工法） ○ 設ける ○ 設けない

押え金物 ※ アルミニウム製 L-30×15×2.0 ○

9

防水工事

4 塗膜防水

(9.5.3)

種類 (表9.5.1)(表9.5.2)

種別	防水層	施工箇所	種類	仕上塗料	使用量
○ X-1	表9.5.1				
○ X-2					
○ Y-1	表9.5.2	地下外壁防水			
○ Y-2		屋内防水			

脱気装置 (X-1) ○ 設ける 材種（
設置数量（1箇所／㎡）

保護層 (Y-2) ○ 設ける

施工箇所 ○ 図示による ○
標丈9.6.4（2）(イ)、(ウ)以外の下地処理 ○ 図示による ○

5 ケ酸質系塗布防水

(9.6.3)

施工箇所 ○ 図示による ○
標丈9.6.4（2）(イ)、(ウ)以外の下地処理 ○ 図示による ○

6 漏水試験

※ 水張り試験を行う（○ 屋内 ○ 屋外）

7 保証書

※ 受注者、防水施工業者、防水材料メーカーの連名による保証書を提出すること。
（保証年限は工事目的物引渡しより10年間以上とする。）

8 施工標識

工事完了後に監督職員の指示する位置へ取り付ける。
材質 ※ 真鍮製エッチング仕上 150×100 ○
設置数量 箇所

9 シーリング

(9.7.2)
(9.7.3)
(9.7.5)

シーリング材の種類 ※ 表9.7.1による

施工箇所 ※ 図示による

仕上げを行わない施工箇所（○ 図示による ○）

目地寸法
コンクリートの打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地
※ 幅20mm以上、深さ10mm以上 ○
ガラス回りの目地
※ 幅5mm以上、深さ5mm以上 ○
その他の目地
※ 幅10mm以上、深さ10mm以上 ○

シーリングの試験 ※ 簡易接着性試験（部位
○ 引張接着性試験（部位

10 止水板

材質 形状 ○ 差込式 ○ 掘置式 ○ 壁張り式
適用範囲

10

石工事

1 天然石張り

(10.2.1)

石の種類・表面仕上げ (表10.2.1)

施工箇所	種類（産地、名称、形状、寸法）	表面仕上の種類

ジェットバーナー仕上げのバフ仕上げ ○ あり ○ なし

2 テラゾ張り

(10.2.1)

(表10.2.2)

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ	形状・寸法等	表面仕上げ
	※ 大理石 ○	※ 1.5～12mm ○		

3 壁の石張り工法

(10.2.2)
(10.2.3)
(10.3.2)
(10.3.3)
(10.4.2)
(10.4.3)
(10.5.2)
(10.5.3)

外壁石張り

工法 ○ 外壁湿式工法（○ 塗り筋工法 ○ あと施工アコ工法 ※ あと施工アコ-横筋流し工法）
受金物の材質、形状及び寸法 ○
○ 外壁乾式工法 ※ 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定める。
金物の種類、形状、寸法等
○ スライド方式 ○ ロッキング方式 ○
石の厚さ mm
浸透性吸水防止剤 ※ 専門工事業者の指定
表面及び裏打ち処理 ※ 行わない ○ 行う（表面処理の場合小口共）
ドレンパイプ ※ ステンレスSUS304 ○
目地 ○ 一般目地幅 mm
○ 伸縮調整目地位置
○ シーリング材の目地寸法 mm

10

石工事

4 床及び階段の石張り

(10.6.2)
(10.6.3)

石の厚さ mm
浸透性吸水防止剤（床石張り） ○ 適用する ○ 適用しない
石表面処理（床石張り） ○ 適用する ○ 適用しない
（階段石張り） ○ 適用する ○ 適用しない
裏打ち処理（床石張り） ○ 適用する ○ 適用しない
目地 ○ 一般目地幅 mm
○ 伸縮調整目地位置
○ シーリング材の目地寸法 mm

5 特殊部位の石張り

(10.2.2)
(10.7.1)
～(10.7.3)

笠木、甲板等
取付工法 ○ 湿式工法 ○ 乾式工法
取付金物 ○
石の厚さ mm
石表面処理 ※ 行わない ○ 行う
石材表面の補強用モルタル（乾式工法） ※ 行わない ○ 行う
目地 ○ 一般目地幅 mm
○ 伸縮調整目地位置
○ シーリング材の目地寸法 mm
あと施工アンカーの材質、寸法等 種類 ○ 材質 ○ 寸法 ○
隔て板
石の厚さ mm

11

タイル工事

1 伸縮調整目地等

(11.1.3)

外壁 ○ 表11.1.1による ○ 図示による
屋内壁面 ○ 図示による ○
床面 ※ 表11.1.1による ○

2 施工後の確認及び試験

(11.1.7)

浮きの確認 ※ 全面打診による確認を行う
引張接着試験 ※ 油圧式接着力試験機による引張接着強度の測定を行う ○ 行わない

3 タイル張り

(11.2.2)
(11.2.6)
(11.3.2)
(11.3.5)

タイルの種類

施工箇所・形状・タイルの種類	寸法(mm)	生地	釉薬	耐凍害性	耐滑り性	役物	色	工法その他
玄関 磁器質タイル100角		● 磁器 ○ 陶器 ○ せつ器	● 無釉 ○ 施釉 ○ 無し	● 有り ○ 無し		● 有り ○ 無し	※ 標準 ○ 特注	
		○ 磁器 ○ 陶器 ○ せつ器	○ 無釉 ○ 施釉 ○ 無し	○ 有り ○ 無し		○ 有り ○ 無し	※ 標準 ○ 特注	
		○ 磁器 ○ 陶器 ○ せつ器	○ 無釉 ○ 施釉 ○ 無し	○ 有り ○ 無し		○ 有り ○ 無し	※ 標準 ○ 特注	

タイルの試験張り ※ 行わない ○ 行う
タイルの見本焼き ※ 行わない ○ 行う
既調査モルタル

4 下地及びタイルごしらえ

(11.2.6)

下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理
○ MCR工法 ● 目荒し工法 ○ 図示による ○

5 張付け用材料

(11.3.3)

接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○
外壁タイルの目地詰め ○ 行う ※ 行わない

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事

1:non SCALE SCALE SCALE

建築特記仕様書3 DW. CK. DATE 07-02 NO. A-03

設計・監理 一級建築士事務所

野中建築設計事務所

1級建築士第147931号 野中健一

〒622-0014 京都府南丹市国部町上本町南2-20
TEL 0771-62-0298 FAX 0771-62-0408

⑫

①揮発性有機化合物対策

(12.2.1)
(12.2.2)
(12.2.3)

②含水率

(12.2.1)

③製材

(12.2.1)

④樹種

(12.2.1)

材料(集成材、合板等)のホルムアルデヒド放散量

表示がある場合 ※F☆☆☆☆ ○

表示がない場合 ※非ホルムアルデヒド系接着剤使用(塗装していないもの)
※非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用(塗装したもの)
※非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用(化粧加工したもの)
○

接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ○

下地材 ※A種(15%以下) ○B種(20%以下)

造作材 ※A種(15%以下) ○B種(18%以下)

以下に規定されているものは、その規定による。

「JAS1083(製材)」による製材

※下地用製材

使用箇所	樹種	寸法	等級	含水率	保存処理
			○1級 ※2級		

※造作用製材

使用箇所	樹種	寸法	等級	含水率	保存処理
柵、縁縁敷居、かまいかまち			○無節※上小節 ○小節 ○並		

※広葉樹製材

使用箇所	樹種	寸法	等級	含水率	保存処理
			○特等 ※1等 ○2等	※10%以下 ○	

※「JAS1083(製材)」以外の製材

使用箇所	樹種	寸法	材面の品質	防虫処理	含水率
			※A種 ○B種		

●使用木材のうち杉、ひのきについては京丹波町産木材とする。
(構造特記 8木工事 木材一覧表参照)

●工事完成までに、ウッドマイレージ002京都の木認証書(京都府産木材証明書及びウッドマイレージ002計算書)(注1)を提出することを原則とする。当該認証を受けた木材の使用が困難な場合には、京都の木証明書(京都府産木材証明書)(注2)を提出すること。
証明書及び計算書の発行に係る手続きについては次の機関による。
一般社団法人京都府木材組合連合会
TEL：075-802-2991

注1) 認証書は製材所、流通業者の全てが取扱い事業体でなければ発行されない。
注2) 証明書は製材所、流通業者の全てが取扱事業体又は認証機関登録事業体でなければ発行されない。
詳細は上記法人のホームページを参照すること。

●工事完成までに、京丹波町内産木材の産地証明書を提出すること。

●京都木材規格(KTS)材を使用する場合は、京都木材規格(KTS)材証明書(発行機関：(一社)京都府木材組合連合会)を提出すること。

⑫

⑤集成材

(12.2.1)

木工事

「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

※造作用集成材

使用箇所	品名	樹種	見付材面数	寸法	見付材面の品質
					※1等 ○2等

○化粧ばり造作用集成材

使用箇所	品名	樹種	寸法	化粧板厚	見付材面数	見付材面の品質
		化粧材 芯材				※1等 ○2等

「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

※造作用集成材

使用箇所	樹種	寸法	見付材面の品質	含水率
				※15%以下 ○

○化粧ばり造作用集成材

使用箇所	化粧樹種名	芯材樹種名	寸法	化粧板厚	見付材面の品質	含水率
						※15%以下 ○

「JAS0701(単板積層材)」による造作用単板積層材

○造作用単板積層材

使用箇所	品名	寸法	表面の品質	防虫処理
			○表面化粧加工なし ○1等 ○2等 ○3等 ○表面化粧加工あり ○天然木化粧加工 ○塗装加工	○適用する ○適用しない

「JAS0701(単板積層材)」以外の造作用単板積層材

○造作用単板積層材

使用箇所	寸法	表面の品質	含水率	防虫処理
		○表面化粧加工なし ○ ○表面化粧加工あり ○天然木化粧加工 ○塗装加工	※14%以下 ○	○適用する ○適用しない

JAS3079(直交集成板)

使用箇所	品名	曲げ強度	種別	接着性能	樹種	寸法

※「合板の日本農林規格」による普通合板

使用箇所	品名	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理
※押入れ、物入れ		※5.5mm ○		※1類 ○2類	広葉樹 ※2等以上 針葉樹 ※C-D以上 ○	○防虫処理

※「合板の日本農林規格」による構造用合板

使用箇所	品名	等級	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	保存処理	その他処理
※畳床下地材、フローリング張り下地材		※2級以上 ○	※12mm ○		※1類 ○特類	※C-D以上 ○		○防虫処理 ○強度等級

「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

使用箇所	品名	厚さ	樹種名	接着程度	その他処理
				○1類 ○特類	○防虫処理

「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

使用箇所	厚さ	樹種名	接着程度	その他処理
			○1類 ○2類	○防虫処理

「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

使用箇所	品目	厚さ	樹種名	接着程度	化粧加工の方法	その他処理
					○1類 ○2類 ○オーバーレイ ○プリント ○塗装 ○	○防虫処理

パーティクルボード

使用箇所	厚さ	各種区分
	※15mm ○	※13PTタイプ又は13MTタイプ ○

JAS0360に基づく構造用パネル

使用箇所	等級	厚さ

⑫

①接合具等

(12.2.2)

木工事

MDF

使用箇所	厚さ	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

造作材の化粧面の釘打ち
※隠し釘打ち ○釘頭埋め木 ○つぶし頭丁釘 ○釘頭現し
諸金物の形状、寸法及び材質
※かすがい、座金、箱金物及び短冊金物は、表12.2.3から表12.2.5までに示す程度の市販品で、木材の寸法に応じた適切なものとし、コンクリート埋込部を除き、表14.2.2[鉄鋼の垂鉛めっきの種別]のF種程度の垂鉛めっきを施したものの
○

防腐・防蟻処理
○薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分
	○K2 ○K3 ○K4
	○K2 ○K3 ○K4

※薬剤の塗布による防腐・防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	※薬剤の製造所の仕様による ○ ○	※JIS K 1571に適合又は同等品 ○

○薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理 適用部位
○合板等の加圧注入処理等の適用 適用部位
防虫処理 ※行う(範囲：ラワン材等 ※製材の日本農林規格)による保存処理の性能区分K1)
○行わない

⑩性能

⑪長尺金属板葺

(13.2.2)
(13.2.3)

屋根及びとい工事

※本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。

(表13.2.1)

屋根葺形式	材料の種類等	厚さ(mm)	下葺材料
※心木なし瓦葺葺 ○立平葺 ○蟻掛葺 ○横葺	※JIS G 3322の屋根用(着色○有) ○	※0.4	※アスファルト・フィング940 ○改質アスファルト・フィング下葺材 ○一般タイプ ○複層基材タイプ ○粘着層付タイプ

専門工事業者 ※製造所の指定業者とする ○
※建築基準法に基づき定まる風圧力・積雪荷重に対応した工法を品質計画により定める。
横葺きの場合のならば納め ○つみ込み納め ○けらば納め
雪止め ○設置する ○設置しない

形式による区分	※重ね形	○はぜ縮め形	○嵌合形
山高(mm)		耐力	
山ピッチ(mm)		板厚(mm)	※0.6 ○0.8

材料による区分 ※JIS G3322の屋根用(着色○有) (表13.2.1)
○
軒先面戸板 ※有り(軒先面戸・換気面戸) ○無し
けらば変形防止材 ○鉄鋼製(上塗り ※折板色 ○) ○ステンレス鋼製
断熱材張り ○行う 種別() 厚さ() 防火性能(30分)
※建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定める。
耐雪性能に対応した工法の適用 ○適用する ○適用しない
雪どめ ○適用する ○適用しない

種類、大きさ、産地等 ※J型 53A ○

役物瓦の種類
雪止め瓦の使用 ○有 ○無し
凍害試験 ○行う ○行わない
棟補強用心材の材質、寸法 ※杉幅40mm×高さ30mm以上(防腐処理を施したものの
○

棟補強等に使用する金物等

材種	材質	形状	寸法	留付け方法
○ステンレス製 ○鋼製(溶融亜鉛めっき処理)				

桟木の留付け工法
棟の工法 ○7寸丸伏せ棟 ○F形用冠瓦伏せ棟 ○のし積み棟
※建築基準法に基づき定まる風圧力・地震力に対応した工法を品質計画により定める。
面戸、雀口、葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合 ○モルタル ○瓦葺き用しっくい
といの材種 ○配管用銅管 ※硬質ポリ塩化ビニル管 ○ルーフレイン (表13.5.1) ○表面処理鋼板(表面及び裏面の塗装の種類 ○) (屋内といにV.P管は使用しない) ○

とい受け金物及び足金物
材種 ※ステンレス製 ※表13.5.2(溶融亜鉛めっきを行ったもの)
形状 ○ ※表13.5.2
取付け間隔 ※1,200mm ※表13.5.2 ○0.5m以下(多雪地域の場合)
銅管製といの防露 ※行う (施工箇所 ※表13.5.3による ○) 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ○
掃除口 ※設ける (開放性のある自転車置場のといを除く)
※受注者、屋根施工業者、屋根材料メーカーの連名による保証書を提出すること。
(保証年限：工事目的物引渡しより10年間以上とする。)

⑫

⑤保証書

⑭

1一般事項

(14.1.3)

金工工事

2アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

(14.2.2)

3鉄鋼の亜鉛めっき

(14.2.2)

4軽量鉄骨天井下地

(14.4.2)
~(14.4.4)

5軽量鉄骨壁下地

(14.5.3)

6金属成形板張り

(14.6.2)
(14.6.3)

7アルミニウム製笠木

(14.7.2)
(14.7.3)

⑬天井点検口

⑭床点検口

10屋上点検口

あと施工アンカーの引張試験 ※行う (箇所以上、 N/箇所)
○行わない
(表14.2.1)

種別	施工箇所(手すり、成形板、笠木、建具以外)

陽極酸化皮膜の着色方法
※二次電解着色 ○三次電解着色 ○
色合等
(表14.2.2)

表面処理方法	種別	試験	施工箇所
○溶融亜鉛めっき	○A種 ○B種 ○C種	○行う	
○電気亜鉛めっき	○D種 ○E種 ○F種	○行う	

野縁等の種類 屋内 ※19型 ○25型

屋外 ○19型 ※25型

屋外の野縁受け・吊りボルト・インサートの間隔 mm

屋外の周辺部の端からの寸法 mm

屋外の野縁の間隔 mm

屋外のはずれ留め補強 ※有り ○無し

開口補強
吊りボルト間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※図示による ○
天井のふところの補強(1.5m以上3m以下) ※行う
(3mを超える) ※行う(図示による)

天井下地材における耐震性を考慮した補強 ○行う ○行わない

屋外の軒天井、ピロティ天井等における耐風圧性を考慮した補強 ○行う ○行わない

スタッド、ランナー等の種類 ※表14.5.1におけるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ○

スタッドの高さが5mを超える場合
※図示による ○

(表14.2.1)

形状	製法	材種	寸法(mm)	表面処理(種別)
○スパンドレル形	○押出し ○ロール	※アルミニウム製 ○	板厚 板幅	○
○パネル形	※プレス			

伸縮調整継手 ○設けない ○設ける (施工箇所は図示)

(表14.7.1)

種類	板厚(mm)	表面処理(種別)	備考
○250形	1.6	○	コーナ部及び突当たり部等の役物は本体製造所の仕様による。
○300形	1.8		
○350形	2.0		
○			

建築基準法に基づく風圧力に対応した工法
※図示による ○

※アルミニウム製既製品(450×450) 4 箇所

○アルミニウム製既製品(600×600) 箇所

※アルミニウム製既製品(600×600) 1 箇所

○ステンレス製既製品(600×600) 箇所

○鋳鉄製マンホール蓋 型 φ 箇所

寸法(mm) ○φ600 ○500角

断熱材 ○有り ○無し

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事

1:non

SCALE

SCALE

SCALE

建築特記仕様書4

D.W.

CK.

DATE

07-02

NO.

A-04

設計・監理

一級建築士事務所

野中建築設計事務所

1級建築士第147931号 野中健一

〒622-0014 京都府南丹市国部町上本町南2-20

TEL 0771-62-0298 FAX 0771-62-0408

15

左官工事

1ラス系下地
(15.2.4)

下地の種類
○二層下地通気構法
○単層下地通気構法
換気口部の措置※公共木造建築工事標準仕様書11.4.3(2)の)
○直張りラスモルタル下地
○直張りラスシートモルタル下地
ラスの材料
種類及び記号()
単位面積当たりの質量()
ラスシートの材料
ラス目による区分※M()
山高、山ピッチ、質量及び溶接区分による区分
(OLS4(建築基準法に基づく耐力壁) ())
ステーブルの形状及び寸法()
直張りラスシートモルタル下地で建築基準法に基づく耐力壁のラスシート施工()

2モルタル塗り
(15.3.2)~(15.3.5)

材料
○現場調合材料
○既調合材料
既製目地材
○適用する(形状)
床塗り
目地の設置※有り(種類※押目地())
(目地割※2m程度最大目地間隔3m())
○無し
屋外のタイル張り下地及び屋内の吹き抜け部分等のタイル張りの下地モルタル塗及び下地調整塗材塗りの接着力試験
※浮きの確認※全面打診による確認を行う
※接着力試験※行う○行わない

3石こうボードその他のボード下地

せっこうボード及びせっこうラスボードの種類及び厚さ
種類※GB-R()GB-L()厚さ(12.5mm)
木質系セメント板の種類及び厚さ
種類()厚さ(mm)

4こまい下地

5木ずり下地

6仕上塗材仕上げ
(15.6.2)

15

左官工事

7マスチック塗材塗り
(15.7.2)

8しっくい塗り
(15.10.1)~(15.10.3)

9こまい壁塗り
(15.11.2)~(15.11.8)

10ロックウール吹付け
(15.12.2)(15.12.3)

16

建具工事

1性能

2防火戸
(16.1.3)

3見本の製作等
(16.1.4)

4防犯建物部品
(16.1.6)

5アルミニウム製建具
(16.2.2)~(16.2.5)

6網戸等
(16.2.3)(16.3.3)

7樹脂製建具
(16.3.2)~(16.3.4)

16

建具工事

※本特記仕様書「1章一般共通事項4風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。
※図示による()
建具見本の製作()行う(建具番号)
特殊な建具の仮組()行う(建具番号)
開口部の進入防止対策上有効な措置が講じられた「防犯建物部品」を適用する箇所
・ドア適用箇所()
・サッシ適用箇所()
・シャッター適用箇所()
外部に面するアルミニウム製建具の性能等級(コリット系下地、鉄骨下地)(表16.2.1)
性能等級()A種()B種()C種
耐風圧性※S-4()※S-5()※S-6()
気密性※A-3()※A-4()
水密性※W-4()※W-5()
枠見込み(mm)※図示()70()100()※図示()
●外部に面するアルミニウム製建具の性能等級(表16.2.2)
性能等級()D種()E種
耐風圧性※S-2()※S-3()
気密性※A-3()
水密性※W-3()
枠見込み(mm)
●表面処理(表14.2.1)
種別色施工箇所
※屋外()BB-1種()標準()特注※図示による()
※BB-2種※標準()特注※図示による()
※屋内()BC-1種()標準()特注※図示による()
()BC-2種※標準()特注※図示による()
○防音ドア、防音サッシとする場合(遮音性の等級)
○断熱ドア、断熱サッシとする場合(断熱性の等級)
○耐震ドアとする場合(面内変形追随性の等級)
結露水の処理方法※図示による()
水切り、ぜん板等※図示による()
ステンレス製のくつずりの仕上げ※HL()
木下地の場合の外部に面する内付建具の止水処理()行う
※防虫網材質※合成樹脂製()ガラス繊維入り合成樹脂製()
ステンレス製(SUS316)
※外部可動式()固定式()
線径、網目※0.25mm以上、16~18メッシュ()
防鳥網()設置する
外部に面する樹脂製建具の性能等級(コリット系下地、鉄骨下地)(表16.3.1)
性能等級()A種()B種()C種
耐風圧性※S-4()※S-5()※S-6()
気密性※A-4()
水密性※W-4()※W-5()
枠見込み(mm)※図示()
外部に面する樹脂製建具の性能等級(木下地)(表16.3.2)
性能等級()D種()E種
耐風圧性※S-2()※S-3()
気密性※A-4()
水密性※W-3()
枠見込み(mm)※図示()
○防音ドア、防音サッシとする場合(遮音性の等級○T-1()T-2())
○断熱ドア、断熱サッシとする場合(断熱性の等級○H-4()H-5()H-6()H-7()H-8())
外部に面する建具の日射熱取得性の等級()
ガラス※複層ガラス()単板ガラス()三重ガラス()
表面色()標準色()特注色
ステンレス製のくつずりの仕上げ※HL()
水切り、ぜん板等※図示による()
木下地の場合の外部に面する内付付建具の止水処理()行う

8鋼製建具
(16.4.2)~(16.4.4)

9鋼製軽量建具
(16.5.2)~(16.5.4)

10ステンレス製建具
(16.6.2)~(16.6.4)

11木製建具
(16.7.2)(16.7.3)

8鋼製建具
(16.4.2)~(16.4.4)

9鋼製軽量建具
(16.5.2)~(16.5.4)

10ステンレス製建具
(16.6.2)~(16.6.4)

11木製建具
(16.7.2)(16.7.3)

外部に面する建具の耐風圧性()S-4()S-5()S-6()
(表16.2.1)
簡易気密扉の気密性、水密性※適用する()適用しない(表16.4.1)
○防音ドア、防音サッシの適用(遮音性の等級)
○断熱ドア、断熱サッシの適用(断熱性の等級)
○耐震ドアの適用(面内変形追随性の等級)
ステンレス鋼板※JIS G 4305
種類()SUS304()SUS430J1L()SUS443J1()
ステンレス製のくつずりの仕上げ※HL()
JISただし書き建具の寸法許容差(これ以外は標仕による)
※製造所標準製作規定寸法許容差による
表面仕上げ※HL()鏡面
曲げ加工※普通曲げ()角出し曲げ
建具材の含水率の種類()A種()B種()C種
※フラッシュ戸
表面材のホルムアルデヒド放散量等※標仕16.7.2(2)の(イ)による
表面材の合板の種類
合板の種類規格外備考
○普通合板表面の樹脂()
板面の品質(※広葉樹1種()
接合の程度(○1種()○2種())
○天然木化粧合板樹種名()
接合の程度(○1種()○2種())
○特殊加工化粧合板化粧加工の方法
※プリント
○ポリエステル化粧合板
○メラミン化粧合板()
接合の程度(○1種()○2種())
●MDFオレフィンシート張り
表面材の合板の種類及び品質等()
表面板の厚さ※図示による()
引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用()適用する()適用しない
かまち戸
かまち及び鏡板の樹種※図示による()
見込み寸法※36mm()
ふすま
材料の種類()I型()II型
上張りの種類※図示による()
見込み寸法※19.5mm()
戸ぶすま
上張りの種類※図示による()
見込み寸法※30mm()
紙張り障子
見込み寸法※30mm()
接着剤のホルムアルデヒド放散量※F☆☆☆☆()
枠及びくつずりの材料※図示による

8鋼製建具
(16.4.2)~(16.4.4)

9鋼製軽量建具
(16.5.2)~(16.5.4)

10ステンレス製建具
(16.6.2)~(16.6.4)

11木製建具
(16.7.2)(16.7.3)

16

建具工事

8鋼製建具
(16.4.2)~(16.4.4)

9鋼製軽量建具
(16.5.2)~(16.5.4)

10ステンレス製建具
(16.6.2)~(16.6.4)

11木製建具
(16.7.2)(16.7.3)

16

建具工事

16

建具工事

令和7年度京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事

1:nonSCALESCALESCALESCALE

建築特記仕様書5DW.CK.DATE07-02NO.A-05

設計・監理一級建築士事務所

野中建築設計事務所

1級建築士第147931号野中健一

〒622-0014京都府南丹市園部町上本町南2-20
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

⑫ 建具用金物
(16.8.2) ~ (16.8.4)

⑬ 建具工事

マスターキーの製作
※ 作成する (グループ、各グループ 個) ○ 作成しない
○ 在来マスターキーに合わせる
鍵の製作本数 ※ 各室3本 1組 ○
開き戸 (表16.8.1)

金物の種類	見え掛り部の材質	その他
○ シリンダー箱錠	○ 握り玉: ステンレス ○ レバーハンドル: アルミニウム合金、 (ステンレス、黄銅) シリンダーカバー: ステンレス	○ 取付位置 () 実用性能項目 ※グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス建具) ○ 耐じん性能のグレード ○
○ 本締り錠	シリンダーカバー: ステンレス	実用性能項目 ※グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス建具) ○ 耐じん性能のグレード ○
○ 空錠	○ 握り玉: ステンレス ○ レバーハンドル: アルミニウム合金、 (ステンレス、黄銅)	○ 取付位置 ()

○ グレモン錠	レバーハンドル: 亜鉛合金、(ステンレス)	○ 取付位置 ()
ケースハンドル錠	ステンレス	
点検口錠	亜鉛合金程度、(ステンレス)	
丁番	ステンレス、(黄銅)	
○ ピボットヒンジ	カバー部: ステンレス、(亜鉛合金)	亜鉛合金は木製建具用のみ
点検口軸吊りヒンジ	建具製作所の仕様による	○ 自閉装置付き
○ フロアヒンジ	カバー部: ステンレス、(本体は鋼)	ドアクローザー
○ ヒンジクローザー(丁番型)	鋼(焼付け塗装)	○ 遅延閉り機能付き
○ ヒンジクローザー(レバー型)	カバー部: ステンレス、(本体は鋼)	
○ ドアクローザー	本体: アルミニウム合金 アーム部: 鋼(焼付け塗装)	
閉鎖順位調整器	ステンレス、(鋼)	
○ 押棒・押板	(ステンレス、黄銅、合成樹脂)	○ 取付位置 ()
上げ落し (フランス落し)	亜鉛合金程度、(ステンレス)	
○ アームスタッパー	鋼(加締めつき)、(ステンレス)	
○ 戸当り	亜鉛合金程度、(ステンレス、黄銅)	○ あおり止め付き

※引き戸 (表16.8.1)

金物の種類	見え掛り部の材質	その他
引戸用錠	木製建具の場合: シリンダーカバー等はステンレス ○ 取付位置 ()	木製建具の場合: ステンレス (黄銅)
クレセント		
引手類		
戸車 (上吊りの場合除く)		
レール (上吊りの場合を除く)	ステンレス、 (アルミニウム合金、黄銅)	黄銅は木製建具用のみ

金属製建具用丁番 ※ 表16.8.2による ○
樹脂製建具用丁番 ※ 表16.8.3による ○
木製建具用丁番 ※ 表16.8.4による ○
戸車及びレール ※ 表16.8.5による ○

13 自動ドア開閉装置
(16.9.2) ~ (16.9.3)

⑭ 建具工事

駆動装置及び検出装置の性能
○ 引き戸用駆動装置性能値
※ 標仕 表16.9.1による (SSLD-1 SSLD-2 DSLD-1 DSLD-2)
○ 種類・開閉方式 耐電圧 温度上昇 耐久性(サイクル) 防錆 電源
○ 車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置性能値
※ 標仕 表16.9.2による
○ 耐電圧 温度上昇 耐久性(サイクル) 防錆 電源
○ 引き戸用検出装置性能値
※ 標仕 表16.9.3による
○ 放射無線周波数
電磁界耐性 耐電圧 防錆 防滴 電源
戸の開閉方式 ※ 建具表による ○
引き戸検出装置の種類 ○ 表16.9.4 () による ※ 建具表による
タッチスイッチの種類 ○ 無線式タッチスイッチ ○ 光線式タッチスイッチ
車椅子使用者用便房スイッチの種類 ○ 大型押しボタンスイッチ ○ 非接触スイッチ
凍結防止措置 ○ 行う
性能値等の区分 (表16.10.1)

適用戸の総質量(kg)	○ 40以下	○ 40を越えるもの
手動開き力(N)	※ 15以下 ○	※ 20以下 ○
手動閉じ力(N)	※ 15以下 ○	※ 20以下 ○

性能等
品質・規格
種類 ○ 管理用シャッター (シャッターケース設ける) 耐風圧強度
○ 外壁用防火シャッター(シャッターケース設ける) 耐風圧強度
○ 屋内用防火シャッター(シャッターケース設ける)
○ 屋内用防煙シャッター(シャッターケース設ける)
開閉方式 ※ 電動式(手動併用) ○ 手動式
電動式シャッターには安全装置を設ける
設置箇所 ※ 図示による ○
管理用シャッターのシャッターケース ○ 設ける ○ 設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板

材質	めっきの付着量
○ JIS G 3302	○ Z12又はF12を満足するもの ○
○ JIS G 3312	○ Z12又はF12を満足するもの ○

開閉方式 ○ 電動式(手動併用) ※ 手動式
電動式シャッターには安全装置を設ける
設置箇所 ※ 図示による ○
耐風圧強度
スラット

材質	めっきの付着量	形状
○ JIS G 3312	○ Z06又はF06を満足するもの ○	○ インターロッキング形
○ JIS G 3322	○ AZ90を満足するもの ○	○ オーバーラッピング形

セクション材 ※ アルミ合金 ○ アルミ合金 ○ アルミ合金
耐風圧性能 ※ バランス式 ○ チェーン式 ○ 電動式
開閉方式 ※ バランス式 ○ チェーン式 ○ 電動式
電動式には保護装置を設ける
設置箇所 ※ 図示による ○
収納形式 ○ スタンダード型 ○ ローヘッド型
○ ハイリフト型 ○ パーチカル型
ガイドレール等 ※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ○ ステンレス鋼板
材料

種類	別	種類等	種類別	種類等
● フロート板ガラス		○ 強化ガラス		
● 型板ガラス		○ 熱線吸収板ガラス		
○ 網入板ガラス		○ 複層ガラス		
○ 線入板ガラス		○ 熱線反射ガラス		
○ 合わせガラス		○ 倍強度ガラス		
○		○		

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材の種類	ガラス溝の大きさ(mm)
※ アルミニウム製建具	● シーリング材	※ 建具製造所の仕様による
	○ グレージングチャンネル	○ 図示による
鋼製及び鋼製軽量建具	○ シーリング材	※ 建具製造所の仕様による
	○	○ 図示による
ステンレス製建具	○ シーリング材	※ 建具製造所の仕様による
	○	○ 図示による
樹脂製建具	○ グレージングガasket	※ 建具製造所の仕様による
	○	○ 図示による

※ 防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。
※ 防音仕様、断熱仕様及び耐震仕様については図示による。

19 ガラスブロック
(16.14.5)

⑮ 建具工事

寸法(mm) 厚さ(mm) 色調 パターン 防火認定
x ○ ○ クリア ○ カラー () ※ なし
○ 図示 ○ 乳白 ○ 熱線反射 ○ あり
※ 品質規格はJIS A 5212 による
※ 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定める。
○ 壁用金属枠及び補強材
○ 骨格 材質 ※ SUS304 ○
寸法・形状 ※ 径5.5mmのはしご形状複筋及び単筋 ○
○ 化粧目地モルタルの色
○ シーリング ※ 表9.7.11による ○
○ 金属製化粧カバー 材質 ○ SUS304 ○
寸法・形状 ※ 図示による ○
○ 目地幅の寸法 ○ 平積み ※ 8mm以上、15mm以下 ○
○ 曲面積み ※ 外側 15mm以下、内側 6mm以上
(曲率半径はガラスの幅寸法の10倍以上とする)
○
○ 伸縮調整目地の位置 ※ 6m以下ごとに幅10~25mmの伸縮目地を設ける。
○

1 性能
(17.1.3)

⑯ カーテンウォール工事

※ 本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。

耐風圧性	○ S4 ○ S5 ○ S6 ○ ○
耐震性	水平方向(KH) ※ 1.0 ○ 鉛直方向(KV) ※ 0.5 ○
水密性	○ W1 ○ W2 ○ W3 ○ W4 ○ W5
気密性	○ A1 ○ A2 ○ A3 ○ A4 ○
耐火性	※ 図示 ○ 30分 ○ 1時間 ○
耐温度差性(℃)	○ 80 ○ 70 ○ 60 ○
遮音性	○ T1 ○ T2 ○ T3 ○ T4 ○
断熱性	○ H1 ○ H2 ○ H3 ○ H4 ○ H5

材料 ○ アルミ材 ○ 鋼材 ○ ステンレス鋼材
形状・寸法 ※ 図示による
断熱材 ※ 図示による
見え掛り仕上げ アルミ材の場合 ○ (標仕16.2.3)
鋼材及びステンレス鋼材の場合 ○
製品の寸法許容差 ○ 表17.2.11による ○

2 メタルカーテンウォール
(17.2.2) ~ (17.2.3) ~ (17.2.5)

コンクリート ○ 種類 ○ 品質
鉄筋 ※ SD295 ○
補強鉄線 径 網目寸法
耐火目地材 断熱材
仕上げ
仕上げ材、建具枠、ゴンドラ用ガイドレール等 ※ 図示による

3 PCカーテンウォール
(17.3.2) ~ (17.3.5)

コンクリート ○ 種類 ○ 品質
鉄筋 ※ SD295 ○
補強鉄線 径 網目寸法
耐火目地材 断熱材
仕上げ
仕上げ材、建具枠、ゴンドラ用ガイドレール等 ※ 図示による

4 シーリング材及びガラス取付材料
(17.2.2)(17.3.2)

※ 表9.7.11による ○
ガラスの取付け材料がシーリングの場合のガラスの支持方法 ※ 4辺支持

5 構造用ガasket
(17.2.2)(17.3.2)

材質 ※ 図示による ○
形状 ※ 図示による ○
寸法 ※ 図示による ○

⑰ 塗装工事

⑰ 内装工事

⑰ 塗装材料
(18.1.3)

⑰ 素地ごしらえ
(18.2.2) ~ (18.2.7)

3 錆止め塗料塗り
(18.3.2) (18.3.3)

⑰ 塗装工程
(18.4.1) ~ (18.4.2)

塗料のホルムアルデヒド等の放散量 ※ F☆☆☆☆ ○
(表18.2.1) ~ (表18.2.7)

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※ A種 ○ B種
	透明塗料塗りの場合	○ A種 ※ B種
鉄鋼面 (DP以外)		○ A種 ○ B種 ※ C種
鉄鋼面 (DPのみ)		○ A種 ※ B種 ○ C種
亜鉛めっき鋼面		○ A種 ○ B種
モルタル面及びせつこうプラスター面		○ A種 ※ B種
コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面		○ A種 ※ B種
押出成形セメント板面		○ A種 ○ B種
コンクリート面 (DPのみ)		※ A種 ○ B種
せつこうボード面及び	目地: 継目処理工法	※ A種 ○ B種
その他ボード面	目地: 継目処理工法以外	○ A種 ※ B種

(表18.3.1) ~ (表18.3.4)

下地面	塗料の種類	錆止め塗料の種類	錆止め塗料塗りの工程
鉄鋼面	SOP	A種	見え掛り: A種 見え隠れ: B種
	DP	C種及びD種	表18.3.4
	EP-G	○ A種 ※ B種	見え掛り: A種 見え隠れ: B種
亜鉛めっき鋼面	SOP	※ A種 ○ B種	鋼製建具等: A種
		○ A種 ※ B種	上記以外: B種
	DP	B種	表18.3.6
	EP-G	C種	鋼製建具等: A種 上記以外: B種

工程の種類 (表18.4.1) ~ (表18.14.1)

記号	名称	種別
※ SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	木部 屋内 ○ A種 ※ B種 屋外 ○ A種 ○ B種 鉄鋼面 ○ A種 ※ B種 亜鉛めっき鋼面 ※ 表18.4.31による
		○ A種 (着色塗料種類) ※ B種
CL	クリヤラッカー塗り	○ A種 (着色塗料種類) ※ B種
NAD	7777樹脂系非水分散形塗料塗り	○ A種 ※ B種
DP	耐候性塗料塗り	鉄鋼面 ※ 表18.7.11による
		亜鉛めっき鋼面 ※ 表18.7.21による
		コンクリート及び押出成形セメント板面
		上塗り ○ 1級 ふっ素樹脂系等 ○ 2級 シリコン系等 ○ 3級 シリコン系等
EP-G	つや有合成樹脂エポキシペイント塗り	コンクリート、モルタル、せつこうボード、その他ボード面
		木部 ※ 表18.8.21による 鉄鋼面 屋内 ○ A種 ※ B種 亜鉛めっき鋼面 屋内 ※ 表18.8.41による
EP	合成樹脂エポキシペイント塗り	○ A種 ※ B種
UC	ウレタン樹脂ワニス塗り	○ A種 ※ B種
	ステイン塗り	○ ビグメントステイン塗り (表18.11.1) ○ オイルステイン塗り (OS)
※ WP	木材保護塗料塗り	○ A種 ※ B種

クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用
○ 適用しない ○ 適用する (着色剤: ○ 溶剤系着色剤 ○ 油性染料着色剤)
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用
○ 適用する ○ 適用しない
オイルステイン塗りの工程等 ○

⑰ 揮発性有機化合物対策
(19.2.2)(19.3.3)(19.4.2)(19.5.2)(19.5.4)(19.5.5)(19.7.2)(19.8.2)(19.9.2)
※ F☆☆☆☆ ○
塗料、フローリング材、ボード類、壁紙、断熱材のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆ ○
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類
○ 図示による ○
⑰ ビニル床シート張り
(19.2.2)
⑰ ビニル床タイル張り
(19.2.2)

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事

1:non SCALE SCALE SCALE SCALE

建築特記仕様書6

DW, CK, DATE 07-02 NO, A-06

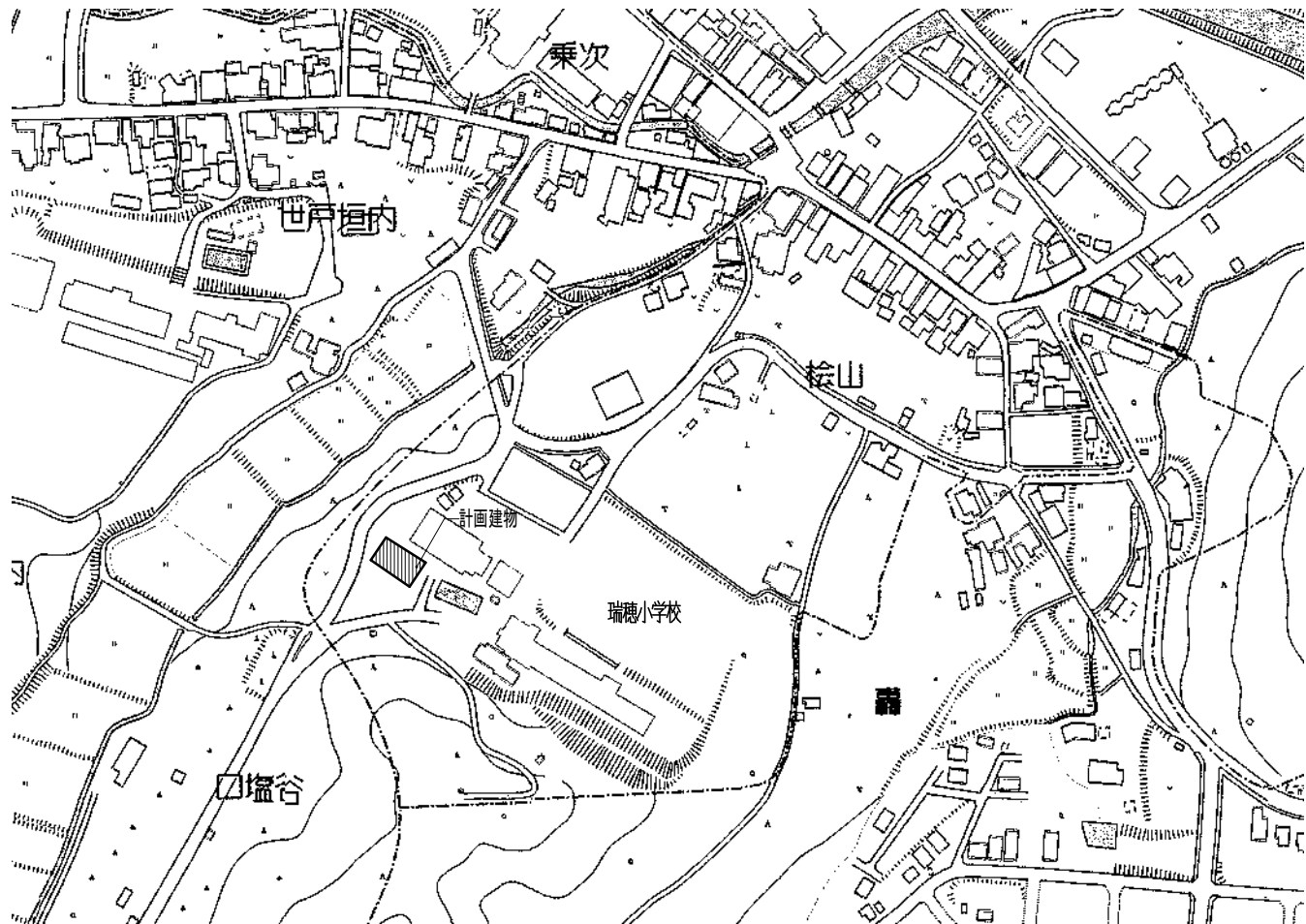
設計・監理 一級建築士事務所

野中建築設計事務所

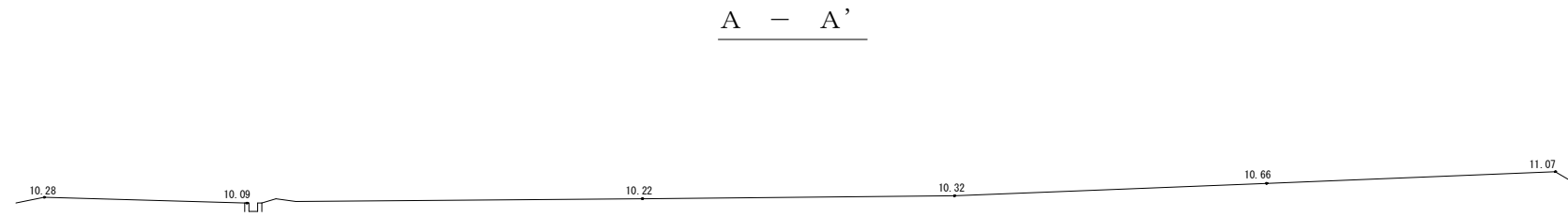
1級建築士第147931号 野中健一

〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-2-0
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

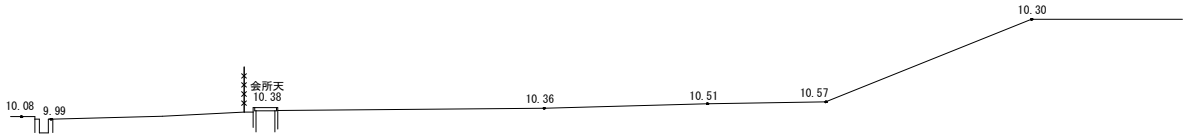
[illegible]



附近見取図 non

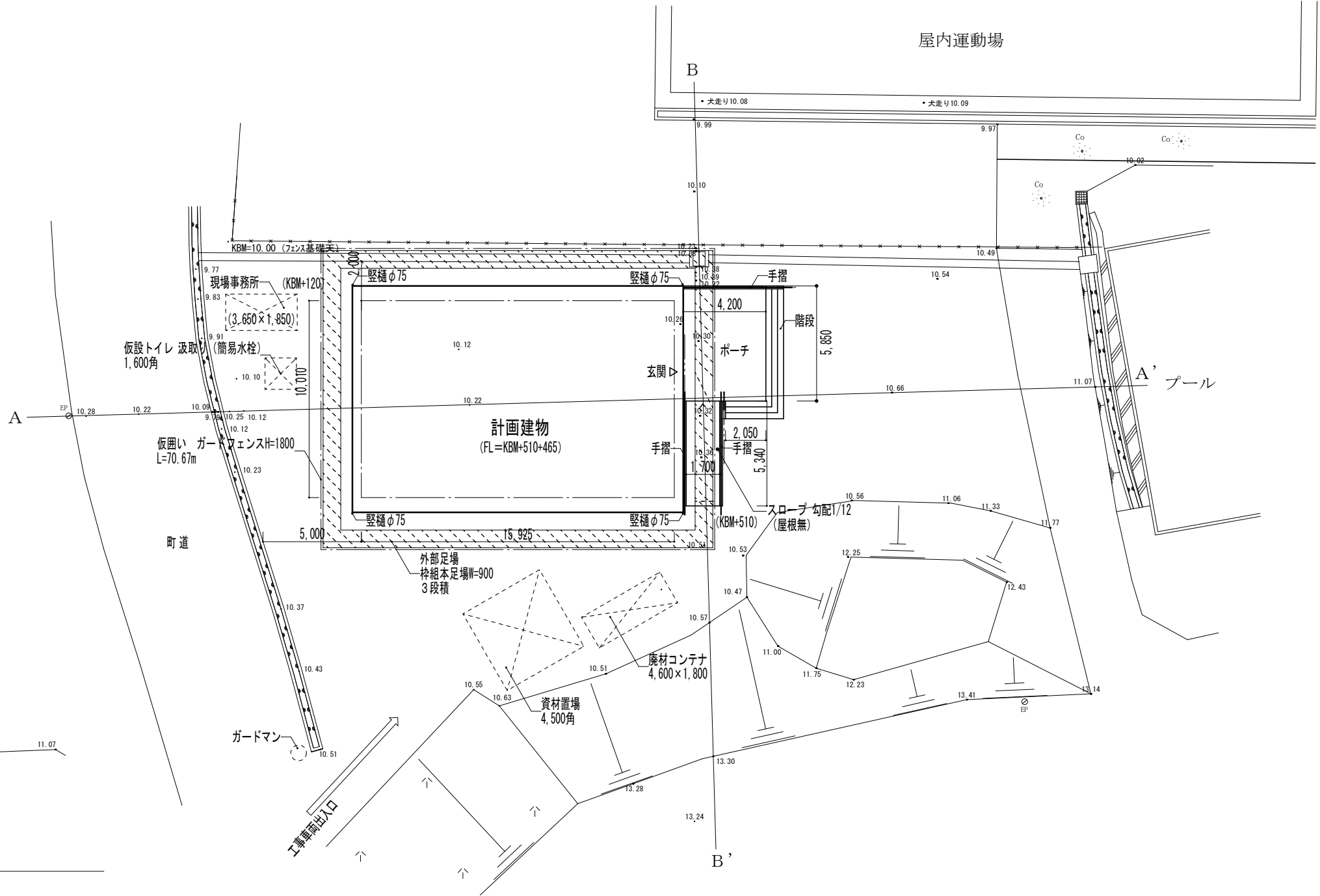
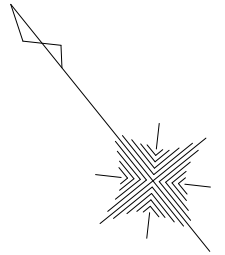


B - B'



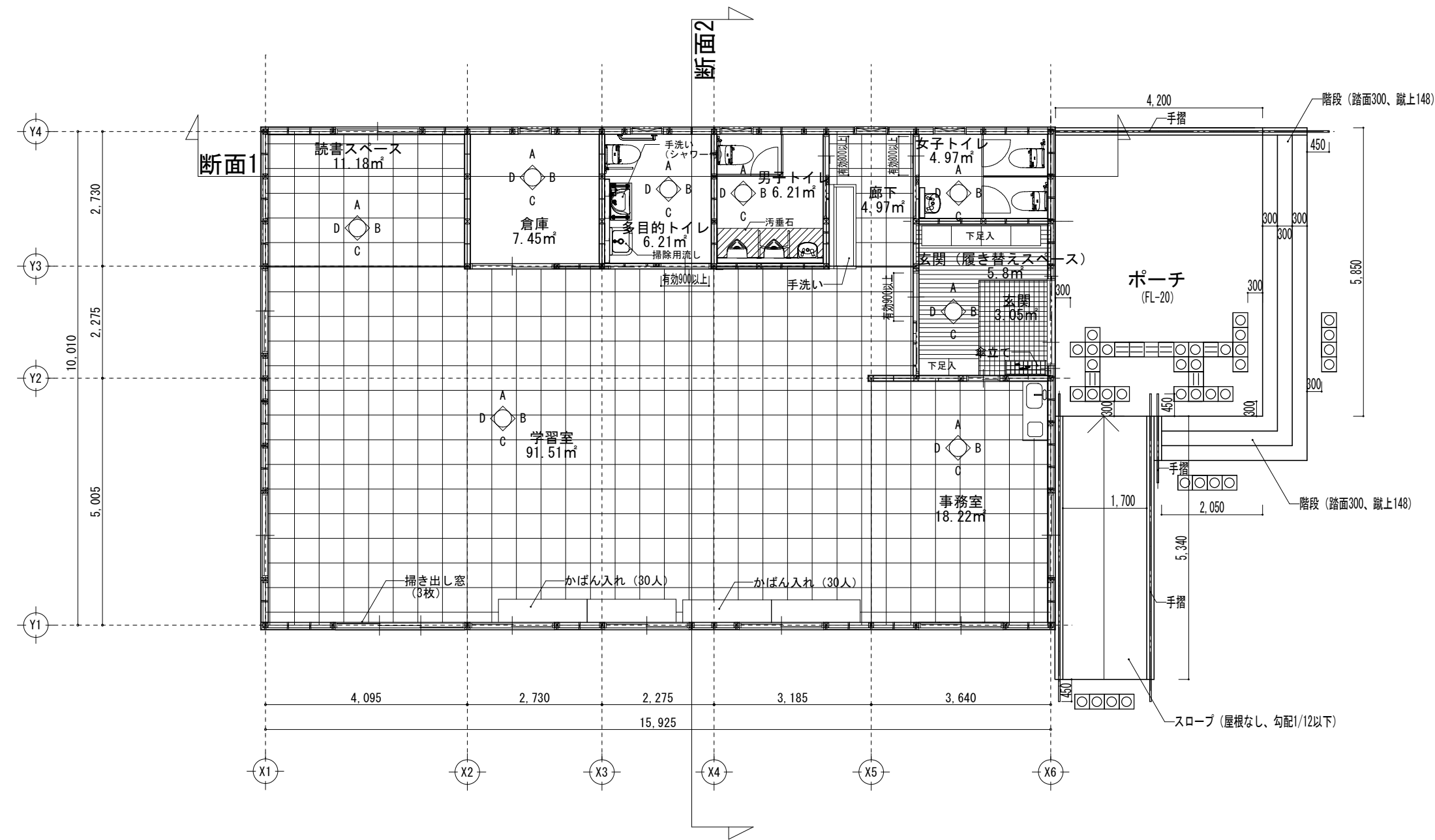
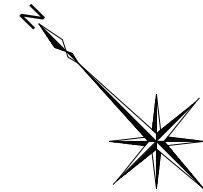
横断面 1/250

所在：船井郡京丹波町橋爪桧山（瑞穂小学校）



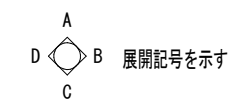
配置図兼仮設計画図（平面） 1/250

	令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事				設計・監理	一級建築士事務所
	1:250 SCALE		SCALE		野中建築設計事務所	
	配置図兼仮設計画図 （平面図）	横断面	附近見取図			
	DW.	CK.	DATE 07-02	N.O. A-10	〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20 TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408	

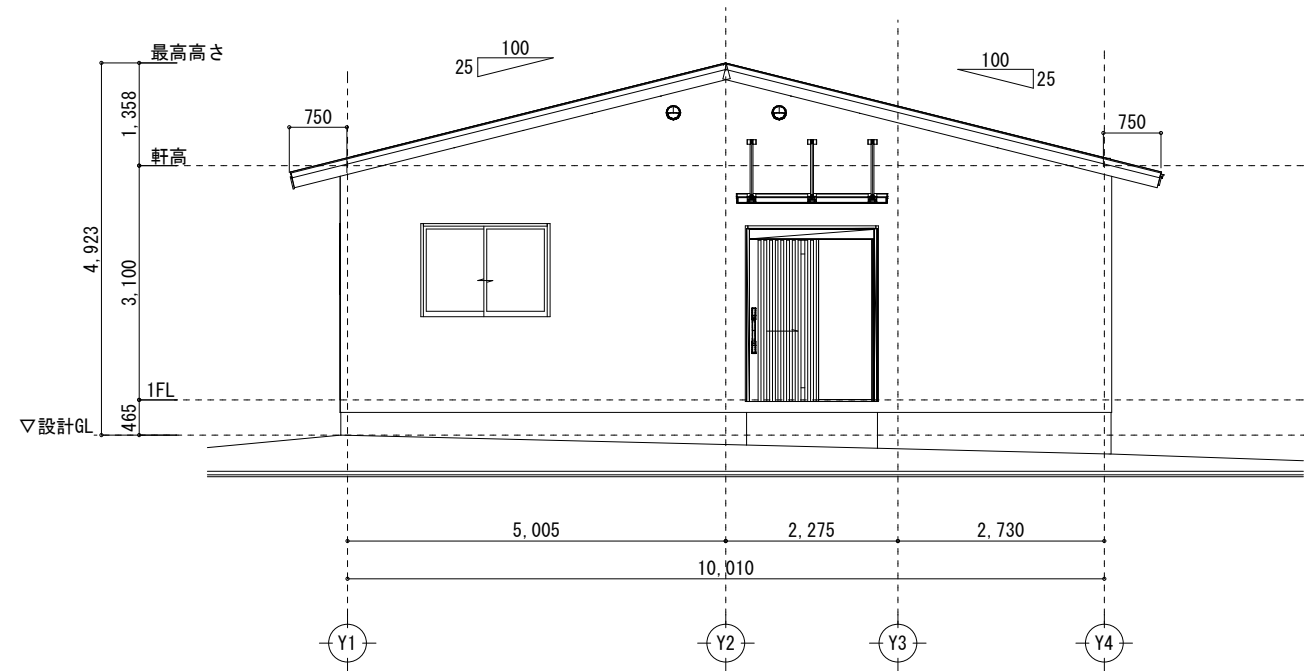


延べ床面積 159.40㎡

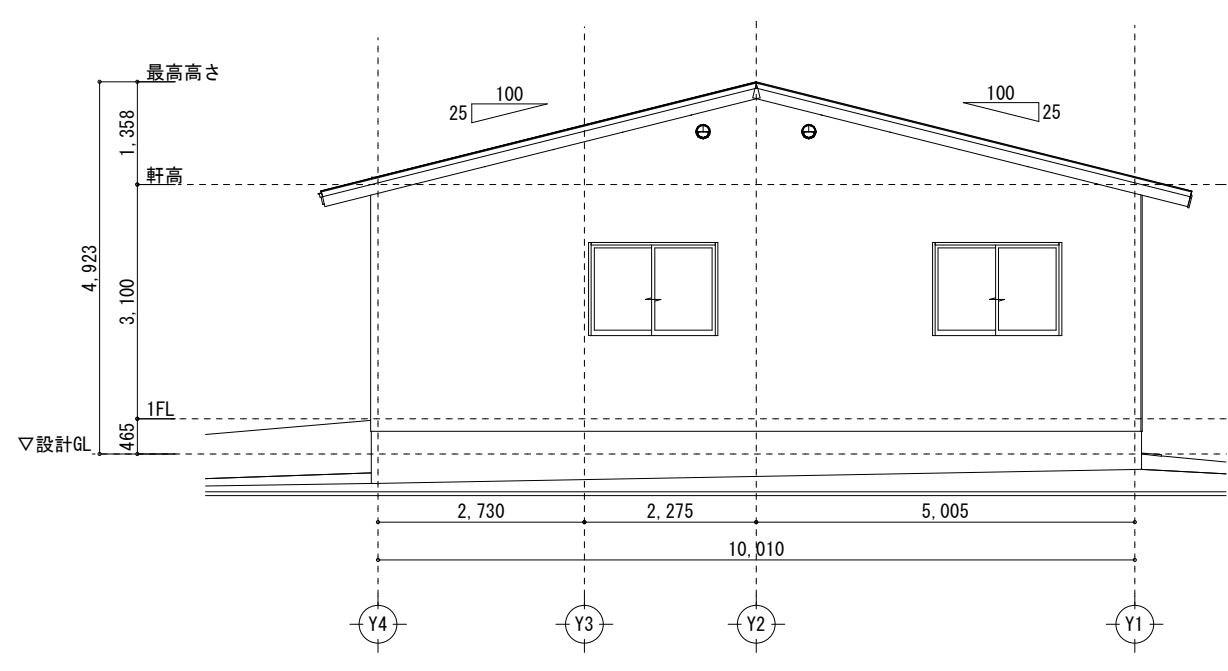
平面図 1/100



令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事				設計・監理 一級建築士事務所	
1:100		SCALE		SCALE	
平面図		SCALE		SCALE	
DW.	CK.	DATE	07-02	NO.	A-11
野中建築設計事務所				1級建築士第147931号 野中健一	
〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20				TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408	



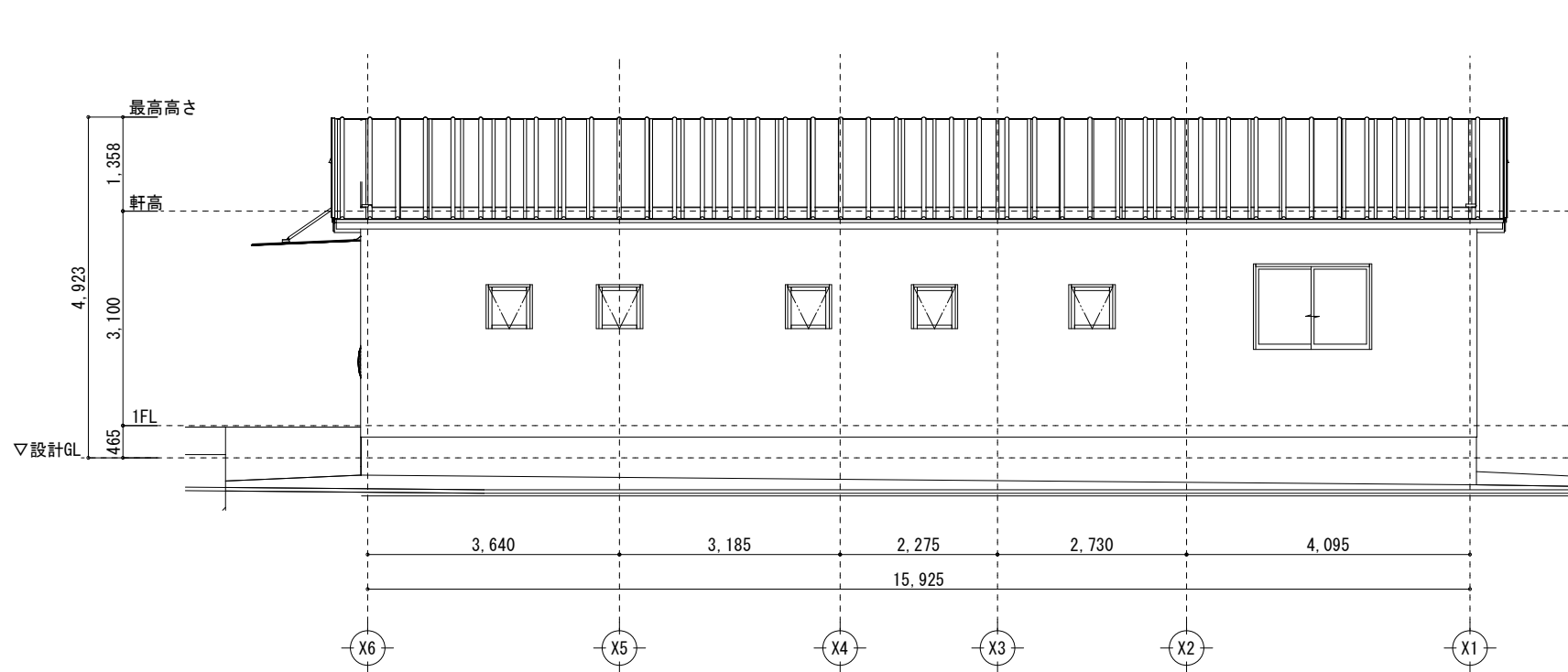
東面立面図 1/100



西面立面図 1/100

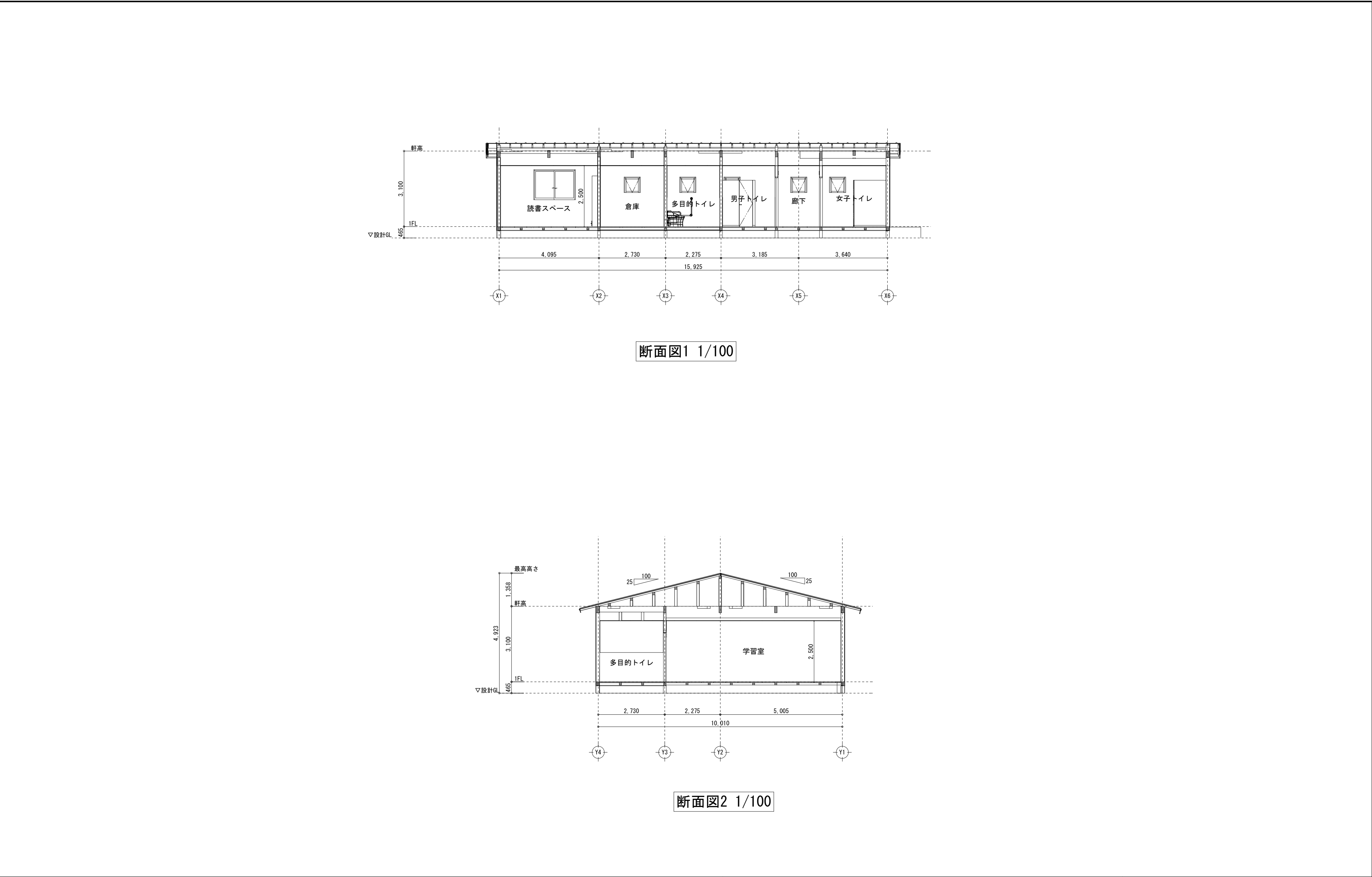


南面立面図 1/100

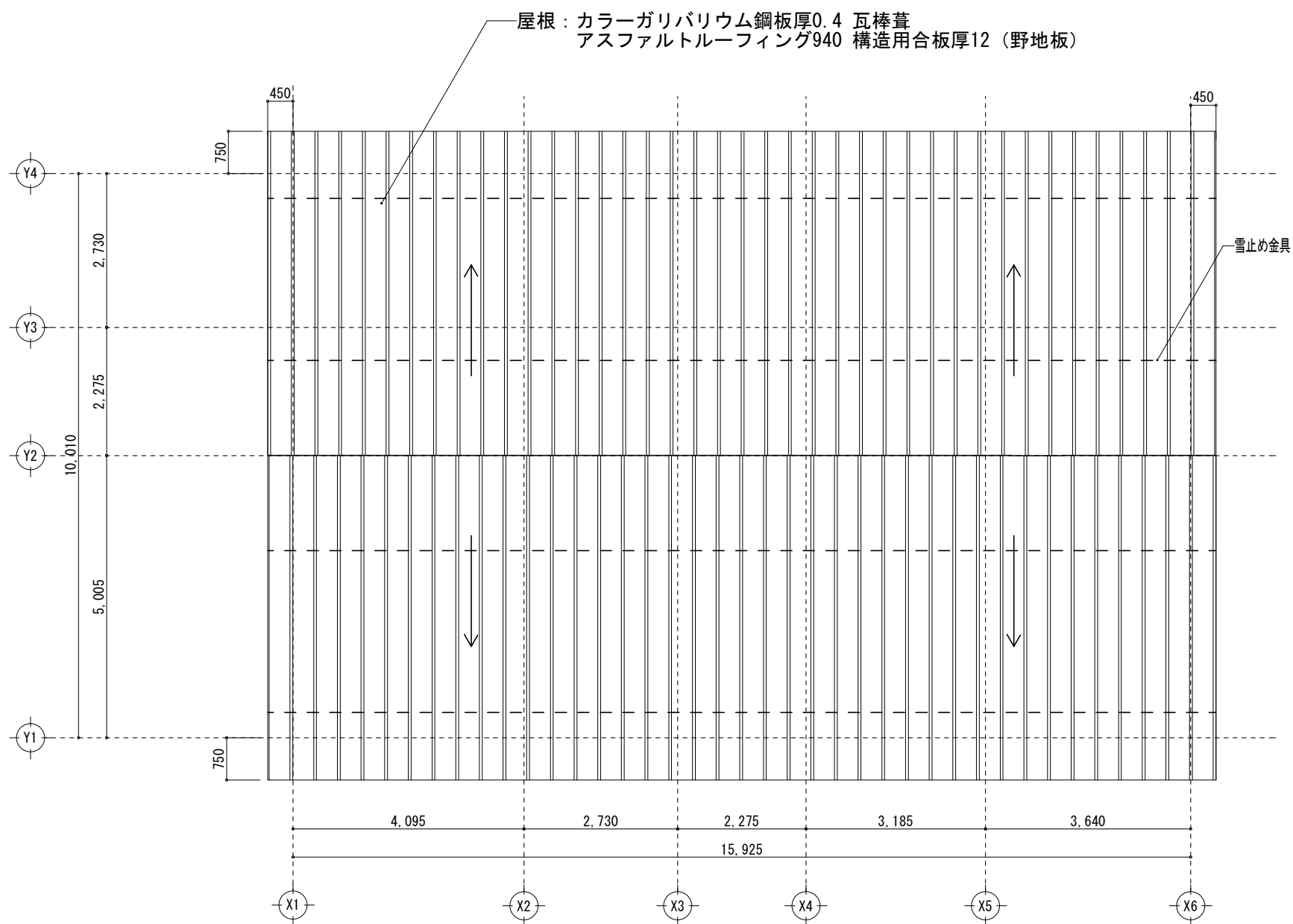


北面立面図 1/100

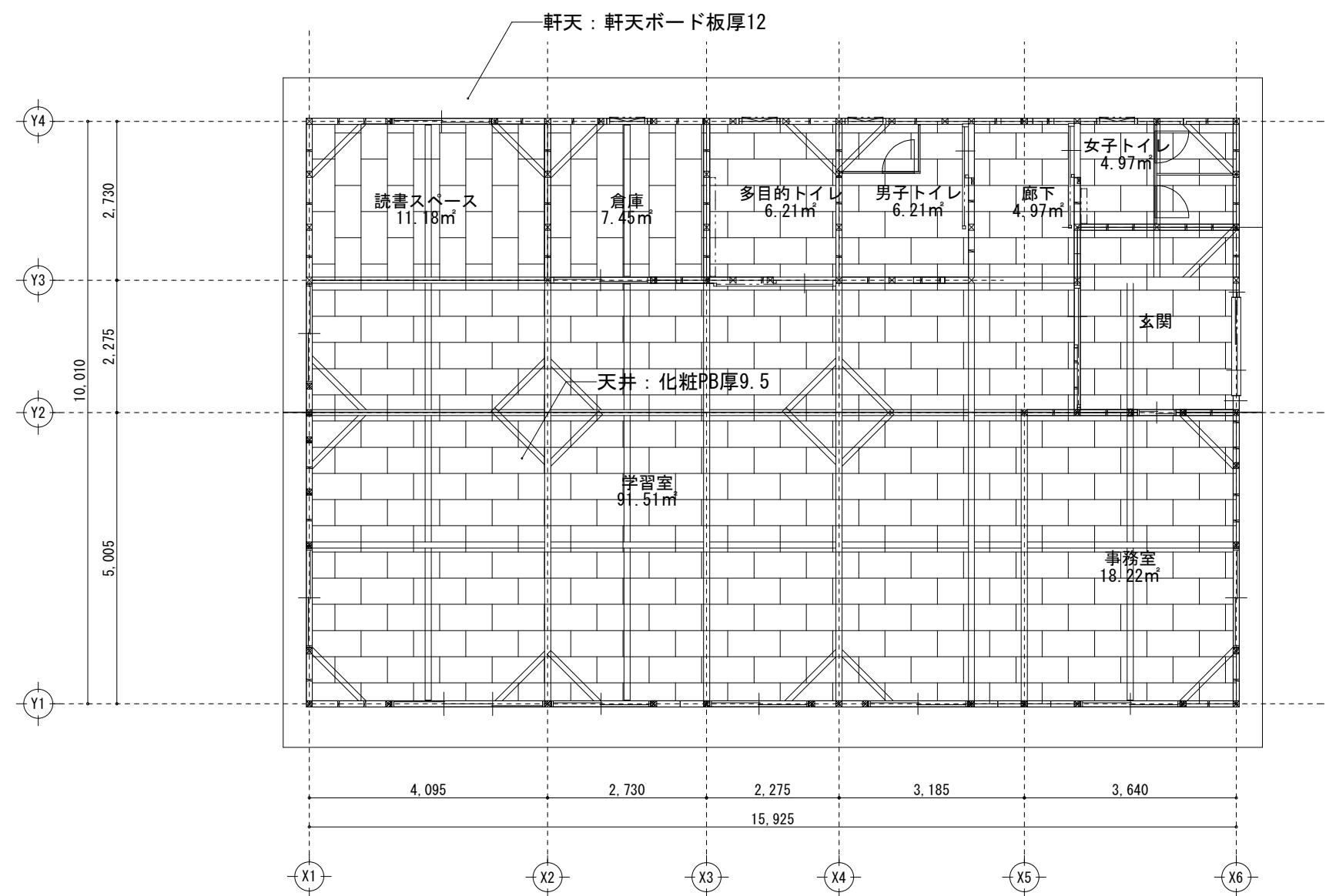
令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事				設計・監理 一級建築士事務所	
1:100		SCALE		SCALE	
立面図		SCALE		SCALE	
DW.	CK.	DATE	07-02	NO.	A-12
野中建築設計事務所				1級建築士第147931号 野中健一	
〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20				TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408	



	令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事				設計・監理	一級建築士事務所
	1:100	SCALE	SCALE	SCALE	野中建築設計事務所	
	断面図				1級建築士第147931号 野中健一	
	DW.	CK.	DATE	NO.	〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20	
			07-02	A-13	TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408	

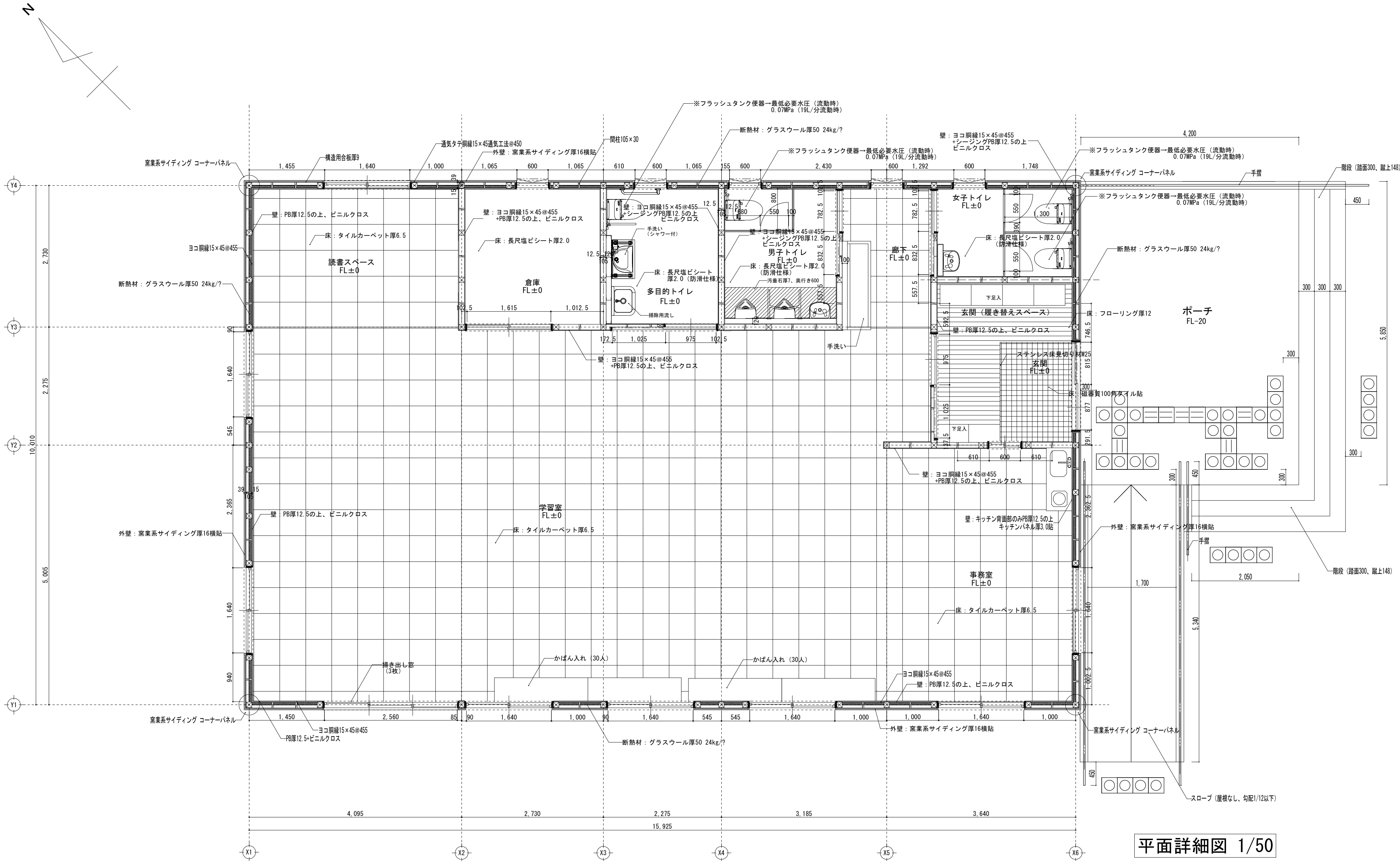


屋根伏図 1/100

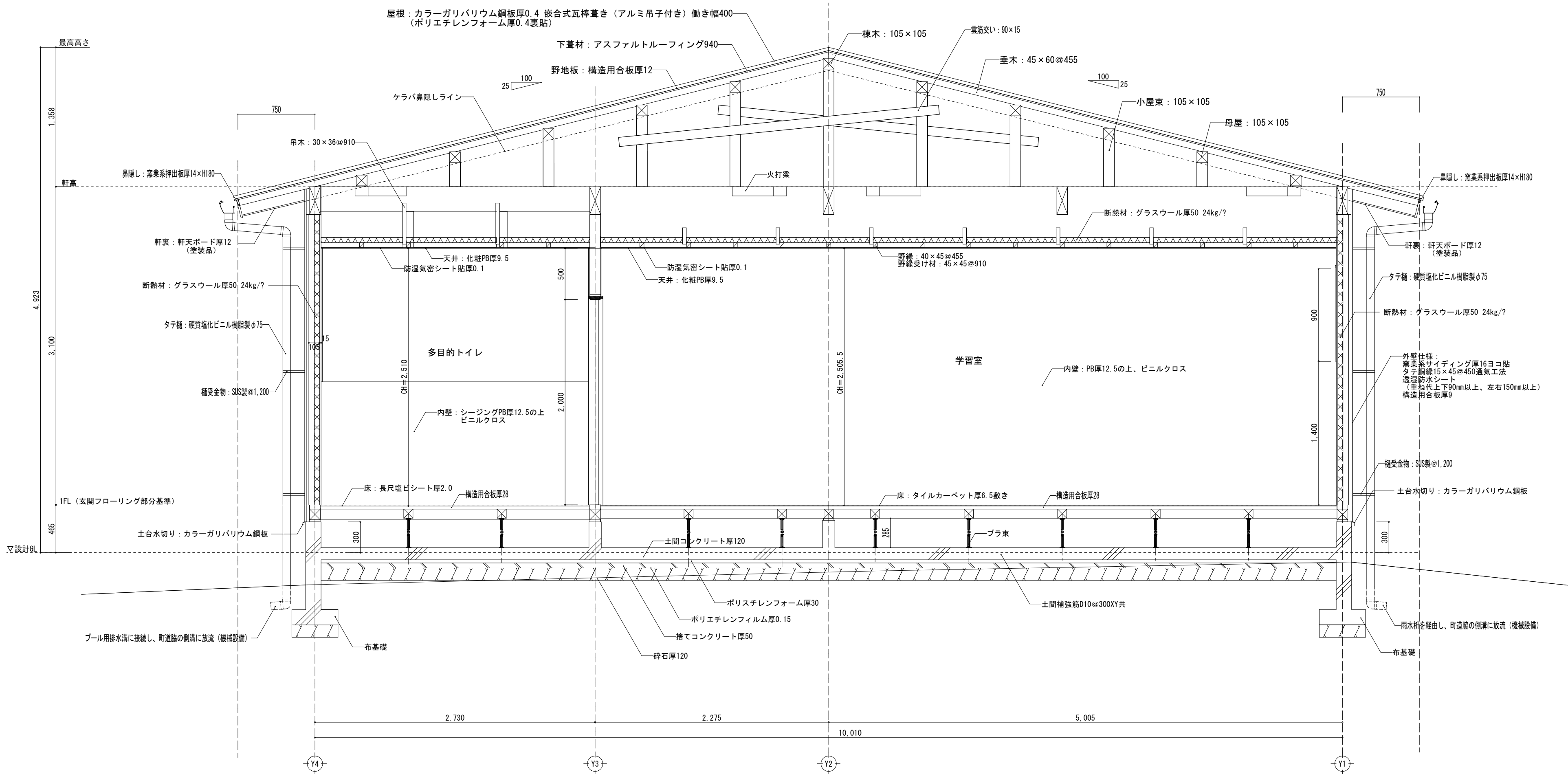


天井伏図 1/100

	令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事				設計・監理 一級建築士事務所	
	1:100 SCALE		SCALE		野中建築設計事務所	
	屋根伏図	天井伏図				
	DW.	CK.	DATE 07-02	NO. A-14	〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20 TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408	

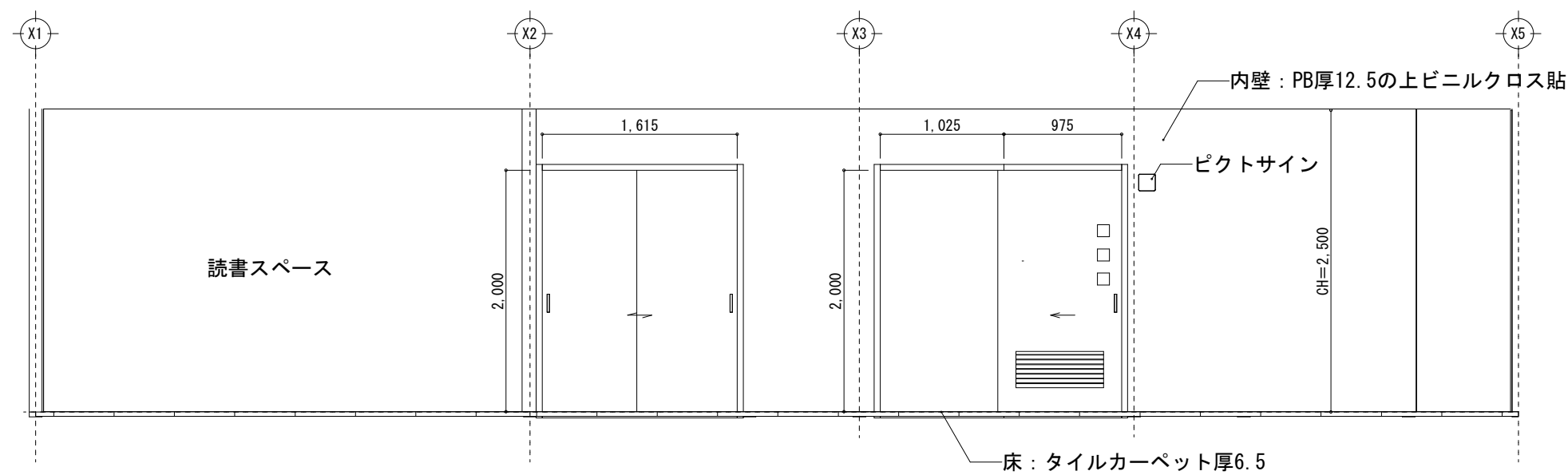


令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事				設計・監理 一級建築士事務所	
1:50		SCALE		野中建築設計事務所	
平面詳細図		SCALE		1級建築士第147931号 野中健一	
DW.	CK.	DATE	07-02	NO.	A-15
〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20				TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408	

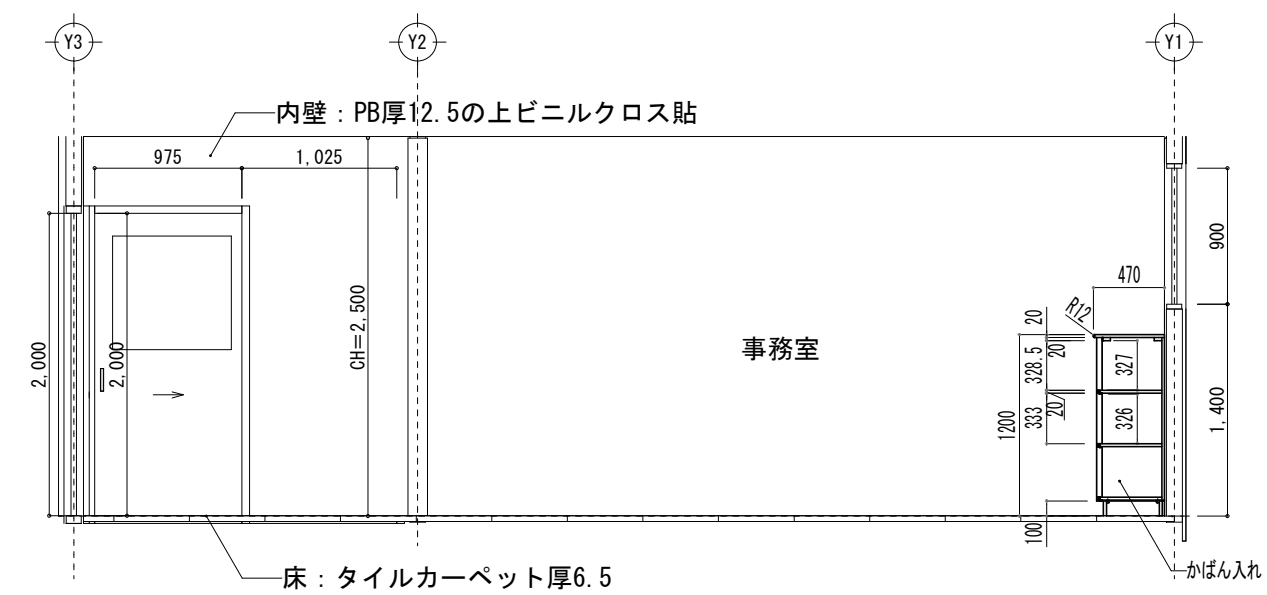


断面詳細図 1/30

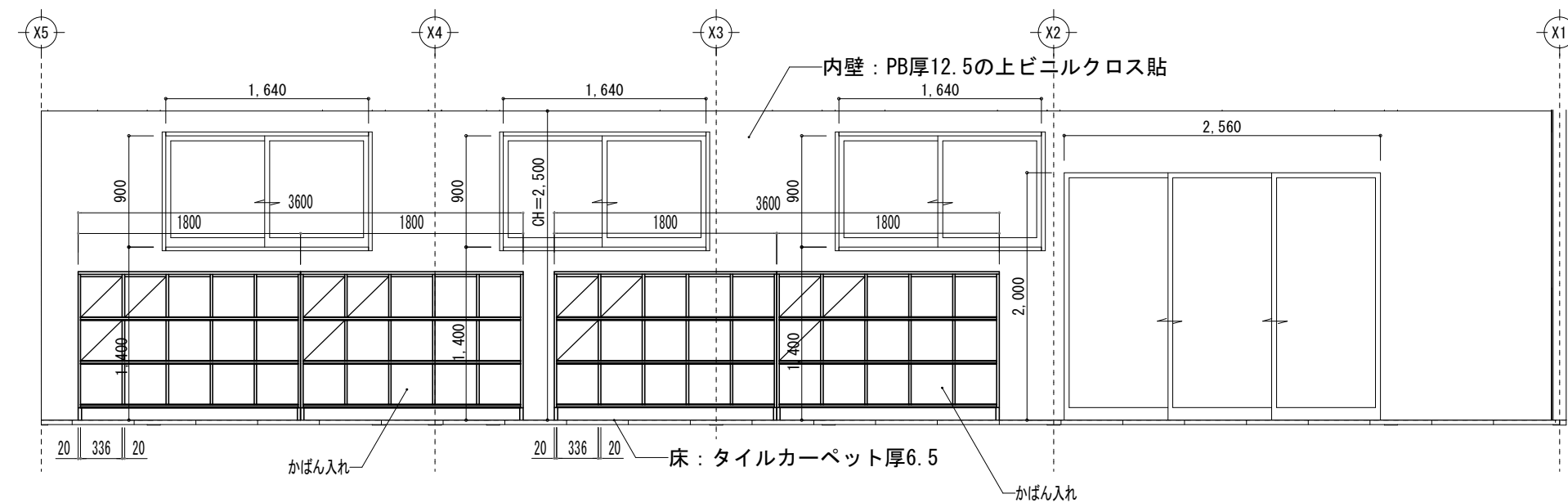
令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事				設計・監理 一級建築士事務所	
1:30	SCALE	SCALE	SCALE	野中建築設計事務所	
断面詳細図				1級建築士第147931号 野中健一	
DW.	CK.	DATE 07-02	NO. A-16	〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20	
				TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408	



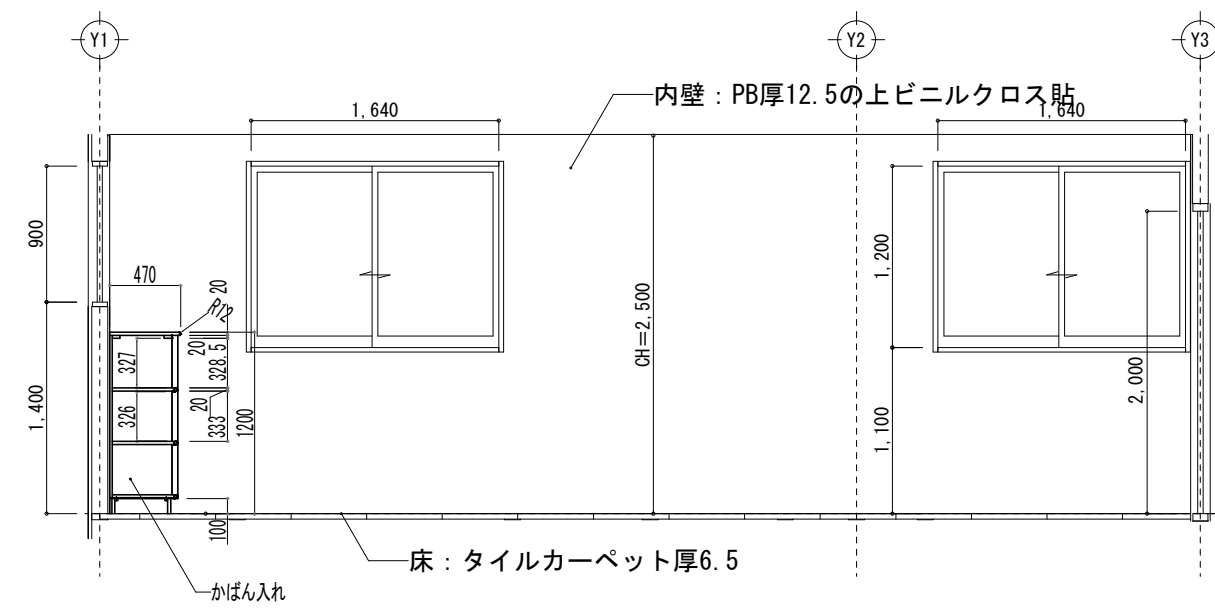
学習室 A面



学習室 B面

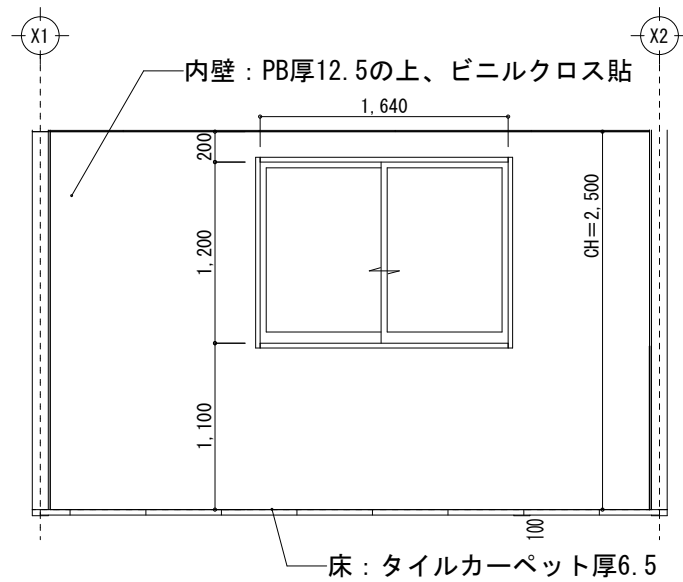


学習室 C面

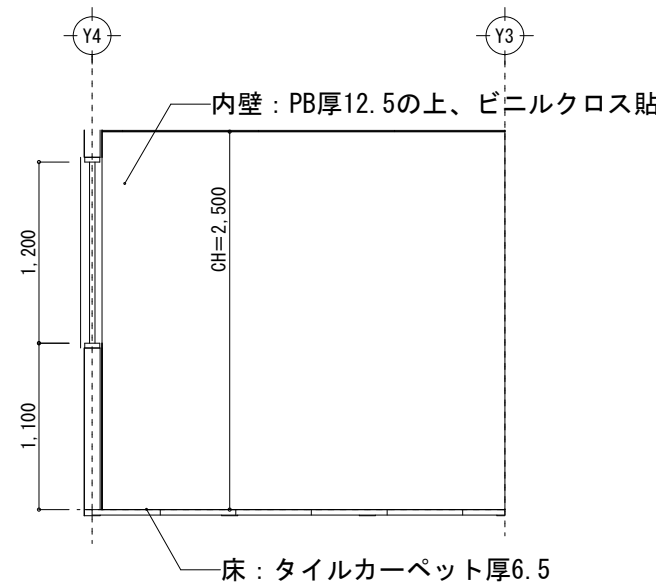


学習室 D面

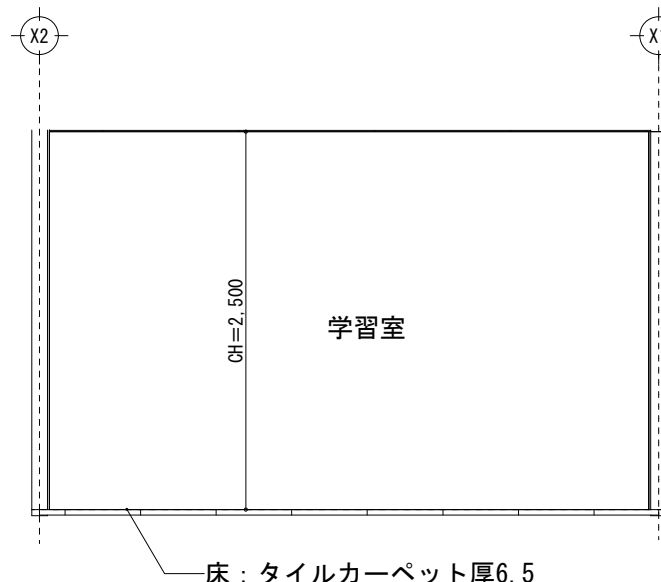
令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事				設計・監理 一級建築士事務所	
1:50		SCALE		野中建築設計事務所	
展開図1 (学習室)				1級建築士第147931号 野中健一	
DW.	CK.	DATE	07-02	NO.	A-17
				〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20	
				TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408	



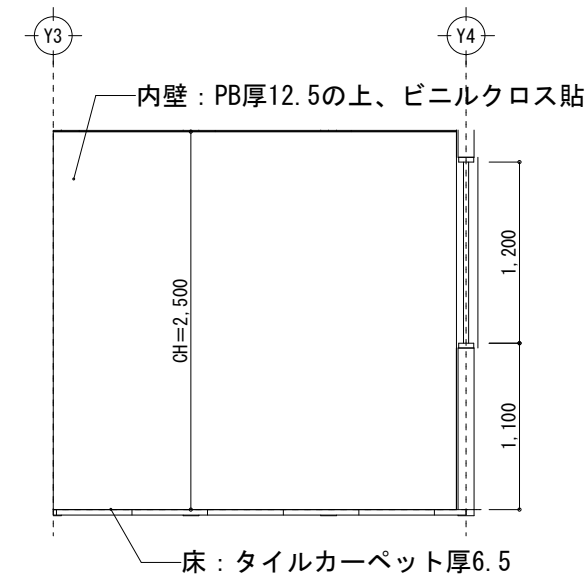
読書スペース A面



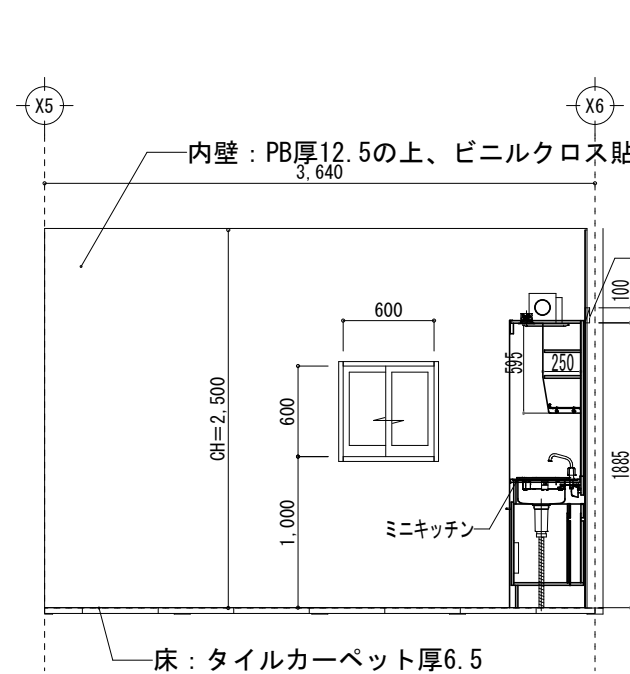
読書スペース B面



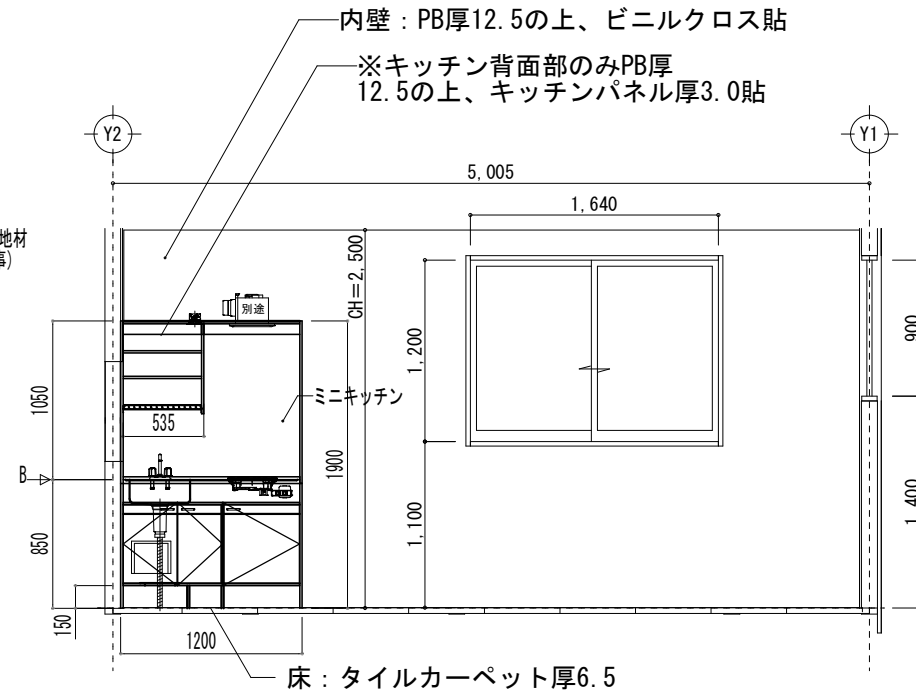
読書スペース C面



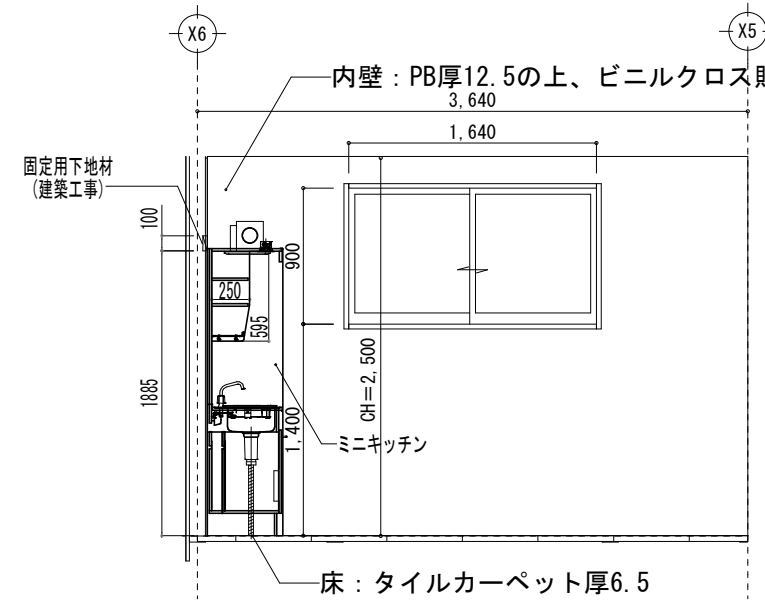
読書スペース D面



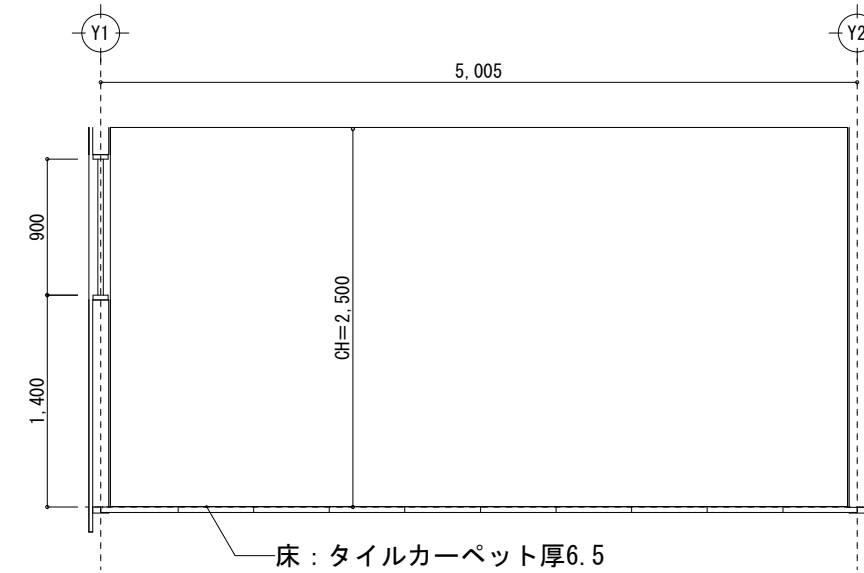
事務室 A面



事務室 B面

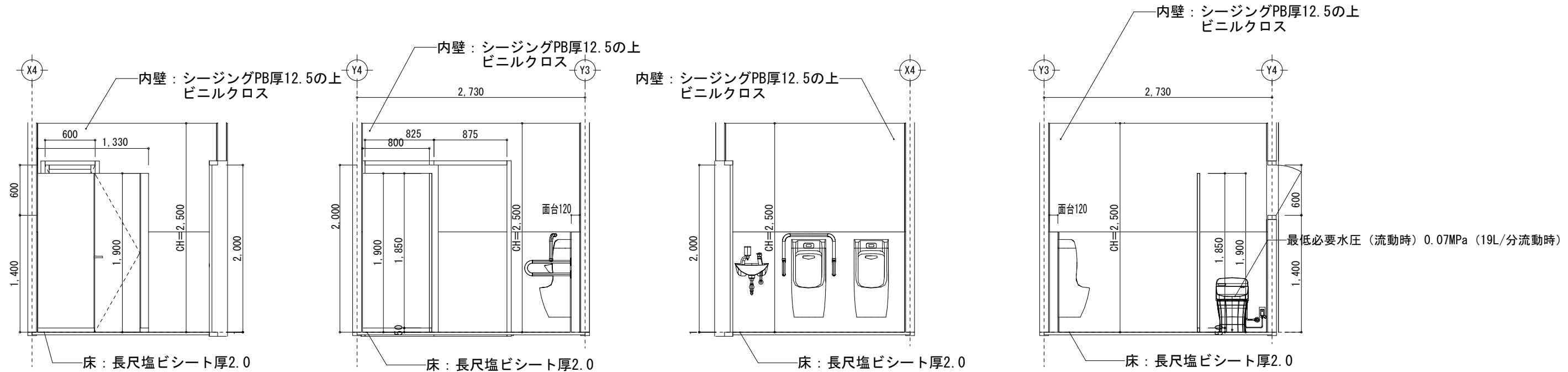


事務室 C面



事務室 D面

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事				設計・監理 一級建築士事務所	
1:50 SCALE		SCALE		SCALE	
展開図2 (読書スペース、管理室)				野中建築設計事務所	
DW.		CK.		1級建築士第147931号 野中健一	
		DATE 07-02		〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20	
				TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408	
				A-18	

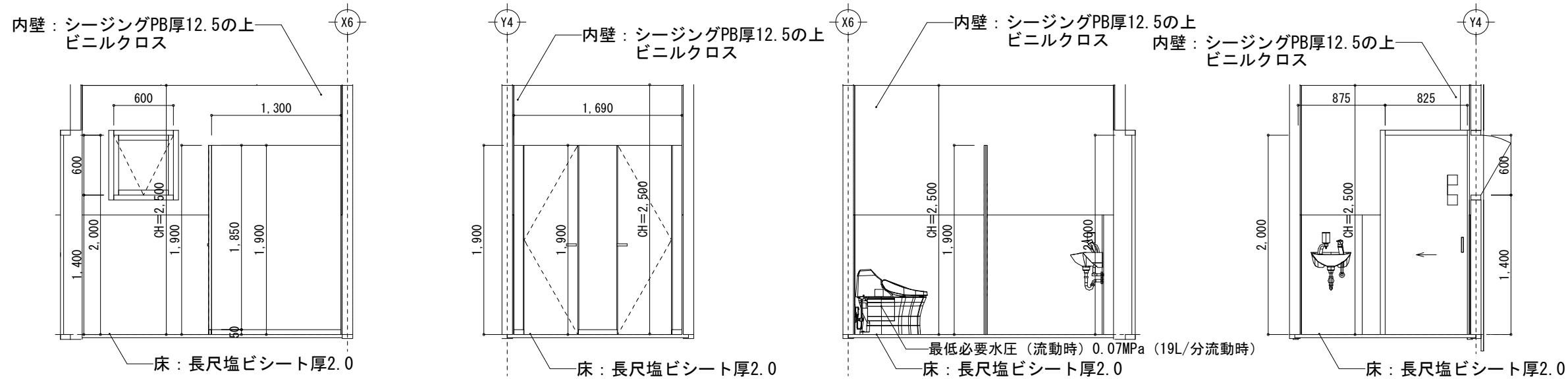


男子トイレA面

男子トイレB面

男子トイレC面

男子トイレD面

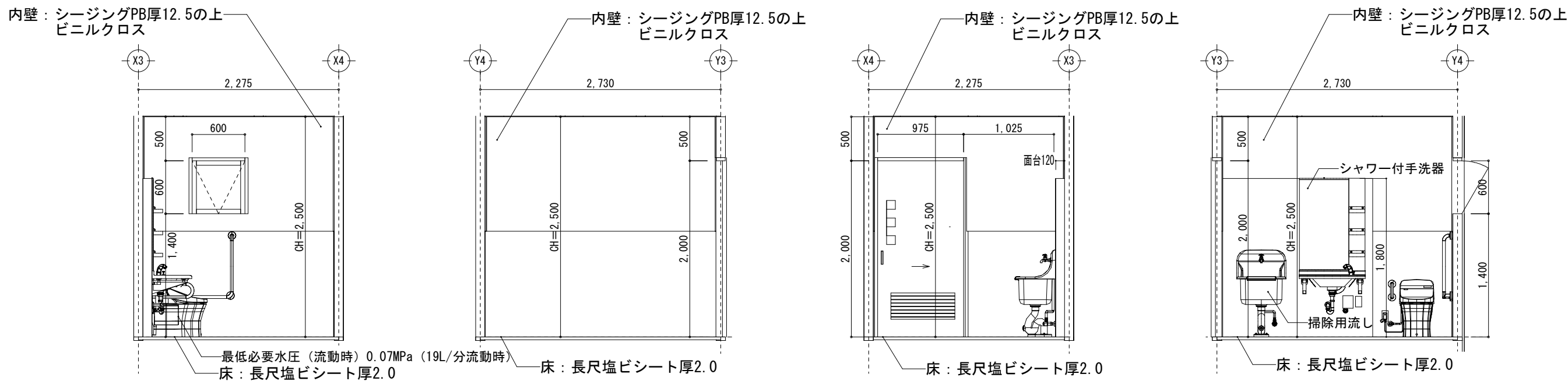


女子トイレA面

女子トイレB面

女子トイレC面

女子トイレD面



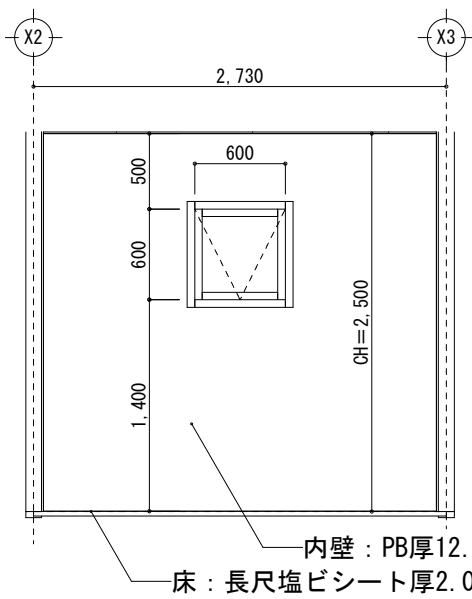
多目的トイレA面

多目的トイレB面

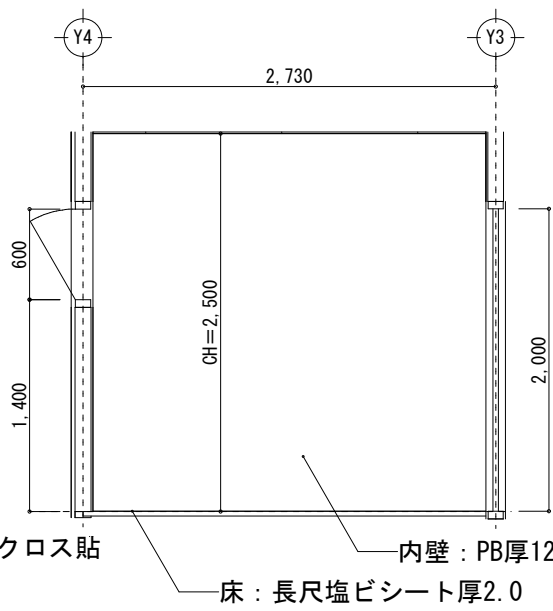
多目的トイレC面

多目的トイレD面

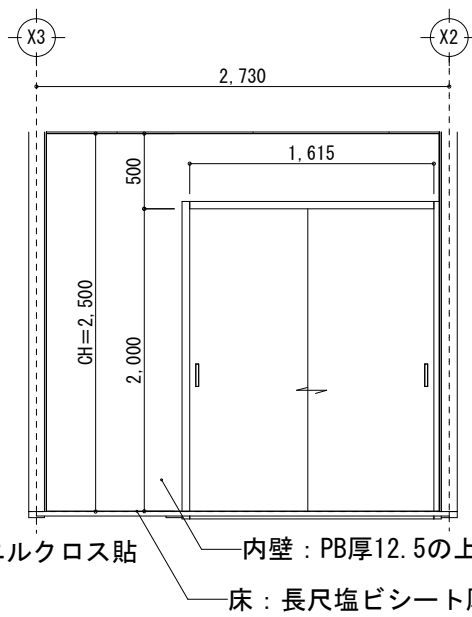
				令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事				設計・監理 一級建築士事務所			
				1:50		SCALE		SCALE		野中建築設計事務所	
				展開図3（男子トイレ、女子トイレ、多目的トイレ）							
				DW.		CK.		DATE		NO.	
								07-02		A-19	



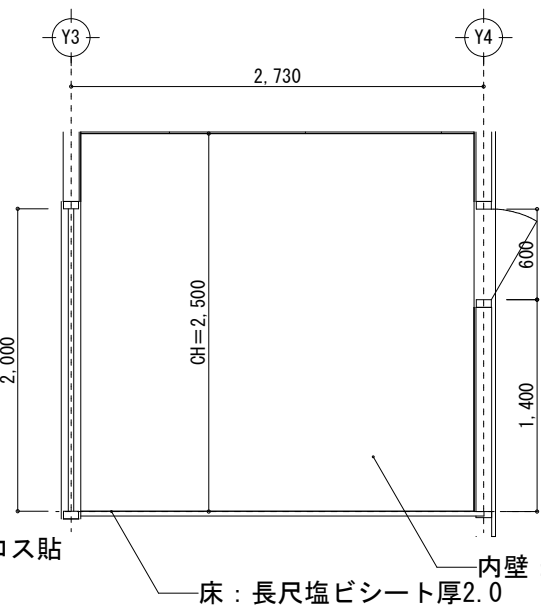
倉庫A面



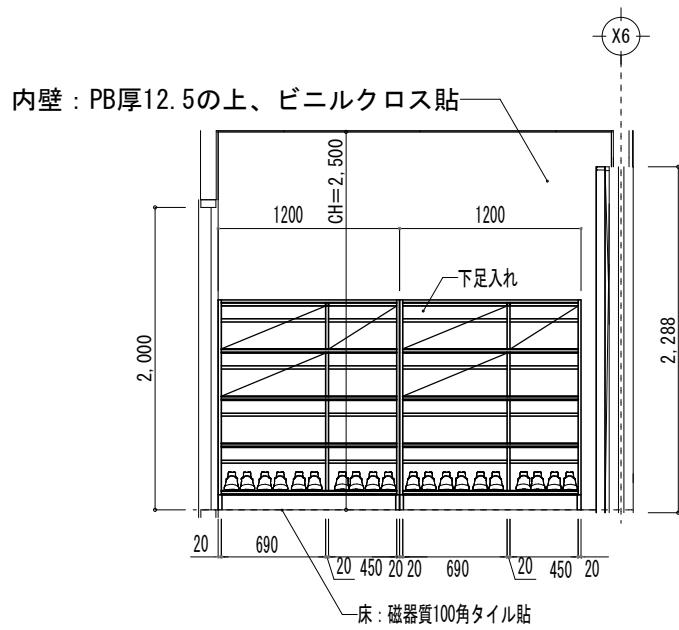
倉庫B面



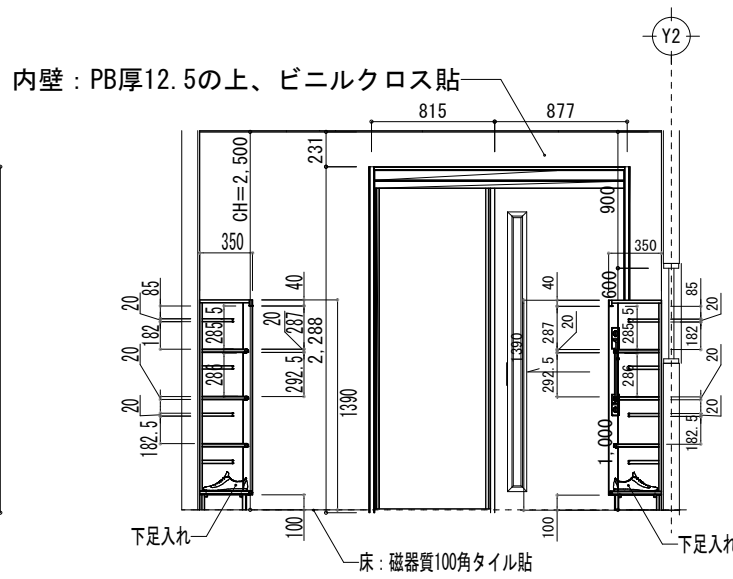
倉庫C面



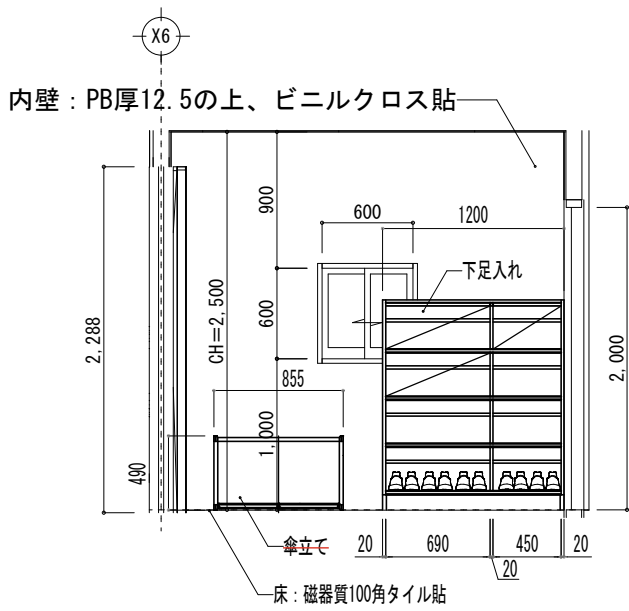
倉庫D面



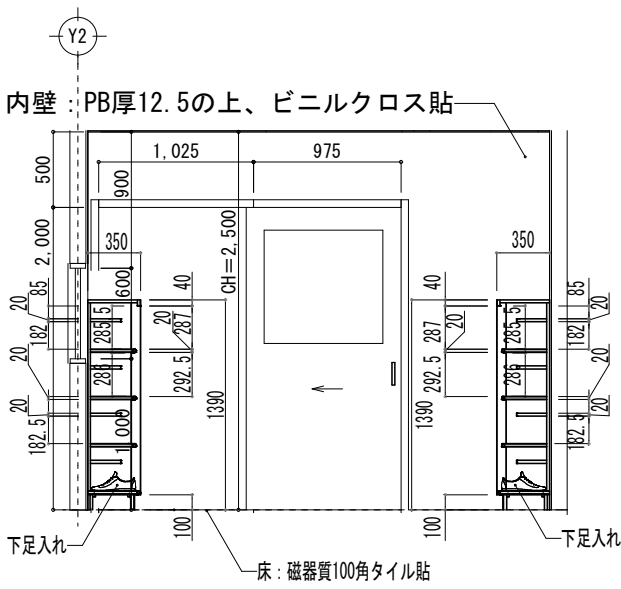
玄関A面



玄関B面

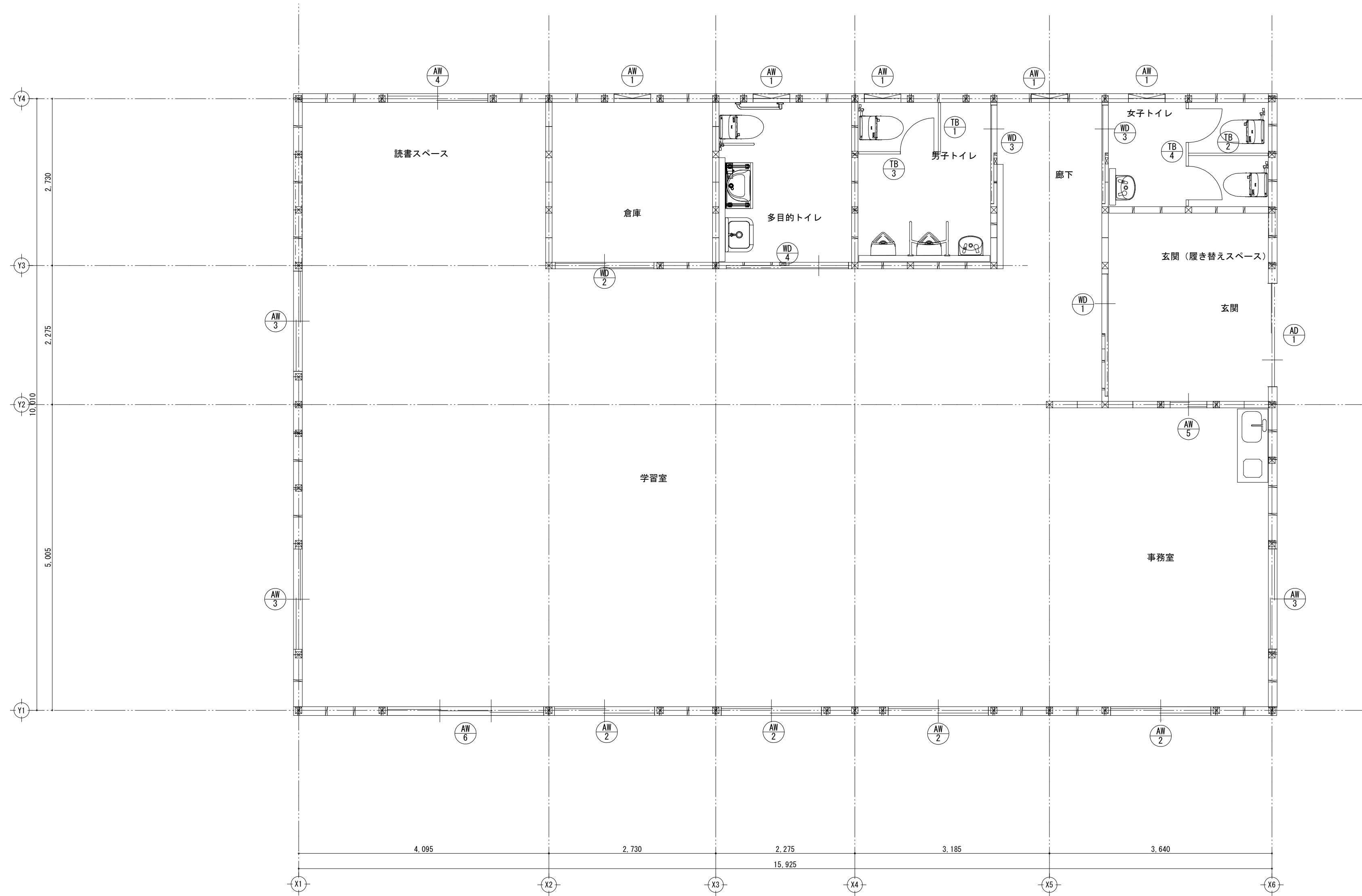


玄関C面



玄関D面

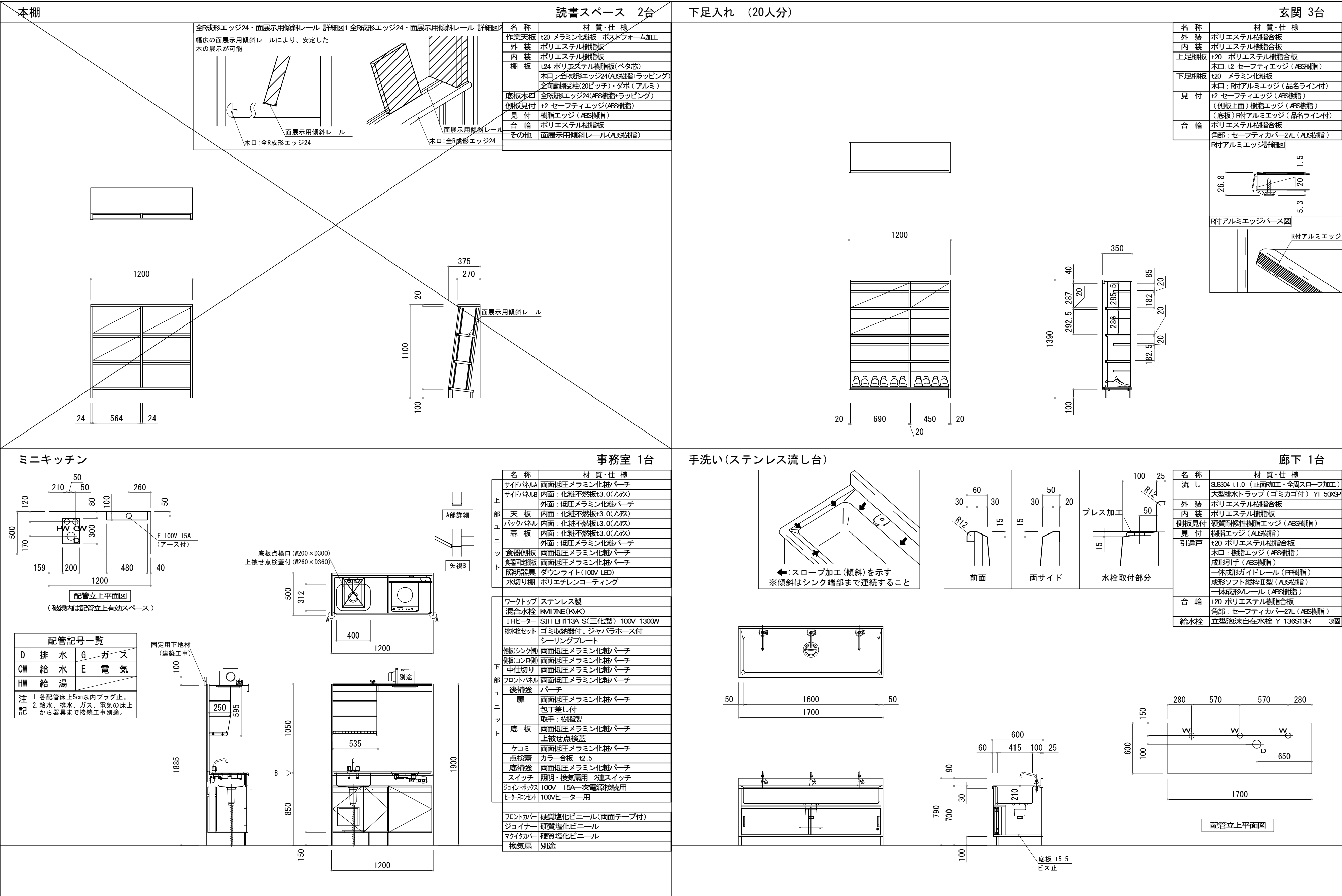
令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事				設計・監理 一級建築士事務所	
1:50		SCALE		野中建築設計事務所	
展開図4 (倉庫、玄関)		SCALE		1級建築士第147931号 野中健一	
DW.	CK.	DATE	07-02	NO.	A-20
				〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20	
				TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408	

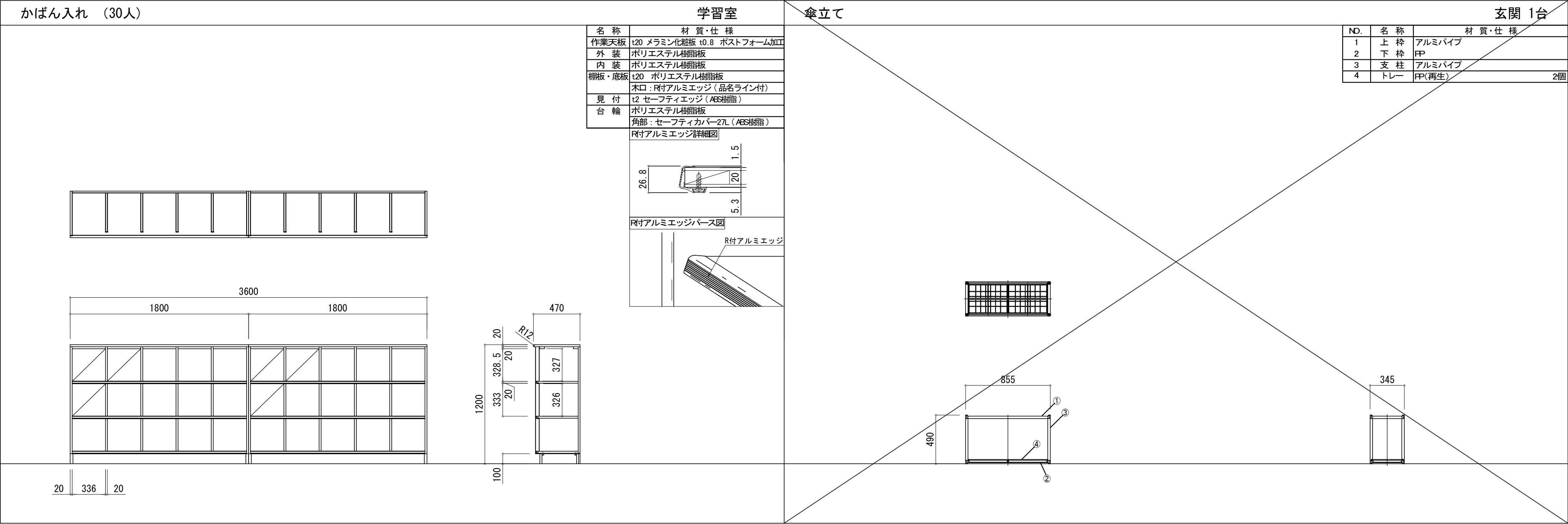


建具位置図 1/50

	令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事				設計・監理 一級建築士事務所	
	1:50	SCALE	SCALE	SCALE	野中建築設計事務所	
	建具位置図					
	DW.	CK.	DATE 07-02	NO. A-21	〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20 TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408	

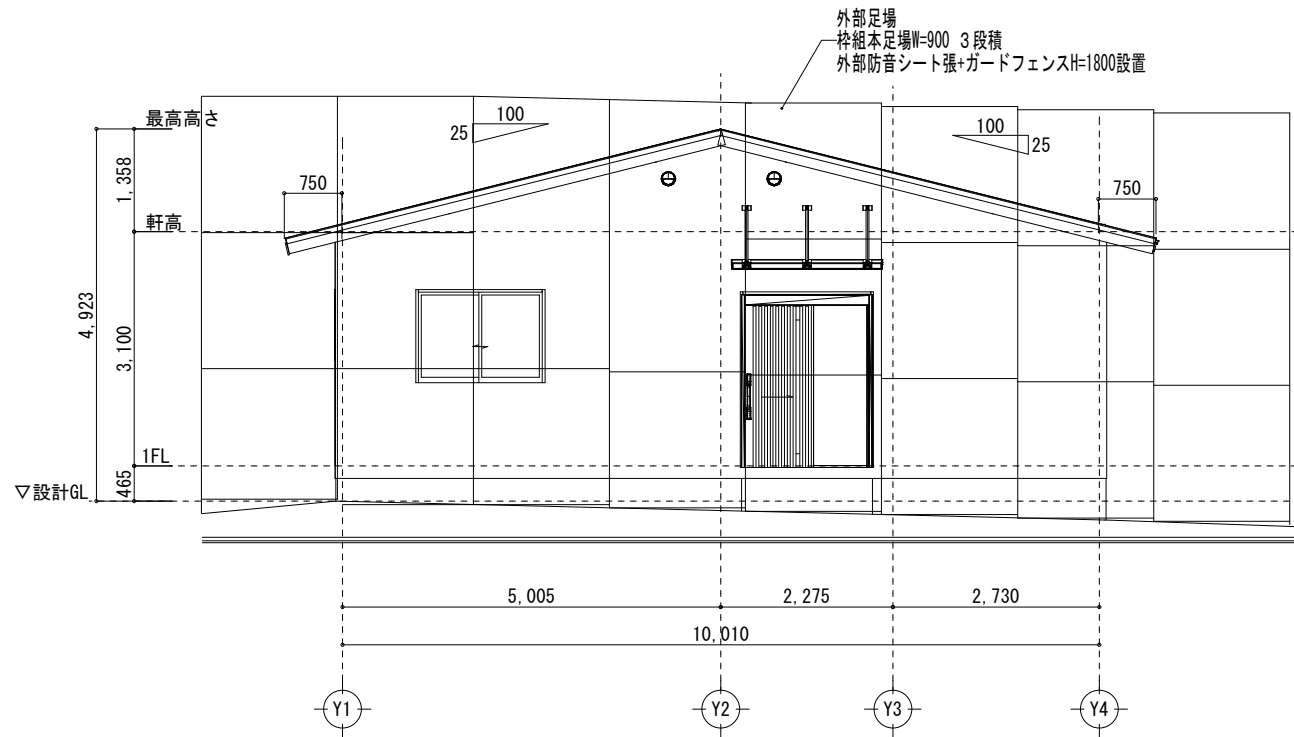
外壁廻り断面詳細図	1/10	室内間仕切り壁断面詳細図	1/10	ライニング詳細図	1/10
ケラバ詳細図	1/10	軒先〜棟詳細図	1/10		
令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事			設計・監理 一級建築士事務所		
1:10、1:30			SCALE SCALE SCALE		
部分詳細図			野中建築設計事務所		
DW.			1級建築士第147931号 野中健一		
CK.			〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20		
DATE 07-02			TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408		
NO. A-23					



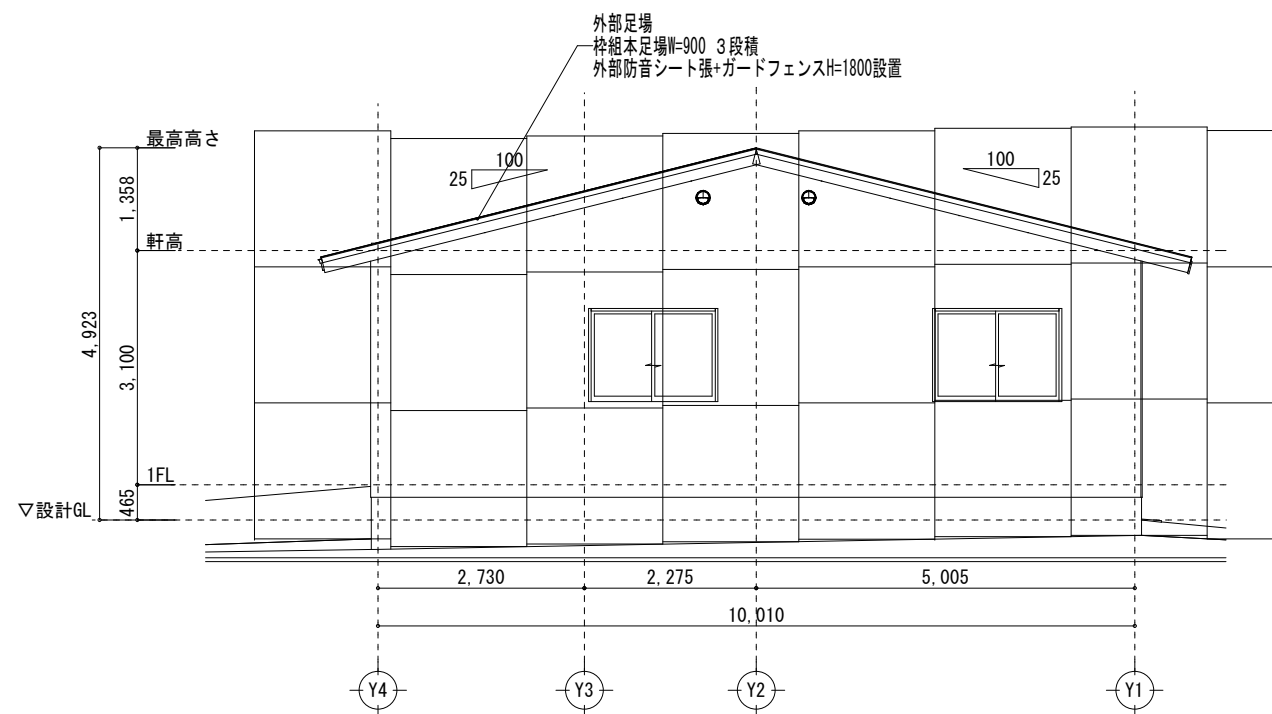


1	館銘板	縮尺 1:20、1:4	数量 1	2	平付型室名札	縮尺 1:4、1:6	数量 1	3	平付型室名札	縮尺 1:4、1:6	数量 1
4	平付型室名札	縮尺 1:4、1:6	数量 1	5	平付型室名札	縮尺 1:4、1:6	数量 1	6	平付型室名札	縮尺 1:4、1:6	数量 1
■サイン特記仕様 [1]使用材料 a. 木材 : VOC商品（ホルムアルデヒド基準F☆☆☆☆対応）とする。 b. アルミ : JIS-H4100 A-6063 S-T5（アルミ押出型材） c. アクリル : JIS-K-6718-1（キャスト板），JIS-K-6718-2（押出板） d. ステンレス : JIS-G4305 SUS304、HL仕上 [2]フォント a. 書体については、丸ゴシックは「スーラDB」、角ゴシックは「新ゴM」を基準とする。 ※ただし、係員より特定の書体の指示があった場合にはこの限りではない。 [3]ピクトグラム a. 図柄については、原稿を作成し係員の承認を受けること。 [4]ユニバーサルデザイン a. ピクトグラム表示や点字サインの導入を推奨する。 b. 多様な色覚に対応した配色や明度差を理解しているCUD賛助会員による製作とする。 [5]取付位置・方法 a. 取付位置については、視認性を考慮し係員と協議の上決定する。 b. 取付方法については、取付位置の地下などを考慮し適切な方法で取り付けを行うこと。 c. 障害者用サインについては、自治体福祉要綱に基づき、係員と協議の上決定する。 [6]その他 a. 室名札については、部屋の移動・名称変更に対応できるよう脱着式を基本とする。 又、室名札脱着の際には スライドロック機構、専用吸盤などを利用し 商品の損傷等がなくスムーズに脱着できる仕様とすること。 b. サイン計画については、当施設他工事と充分に調整協議をすること。											

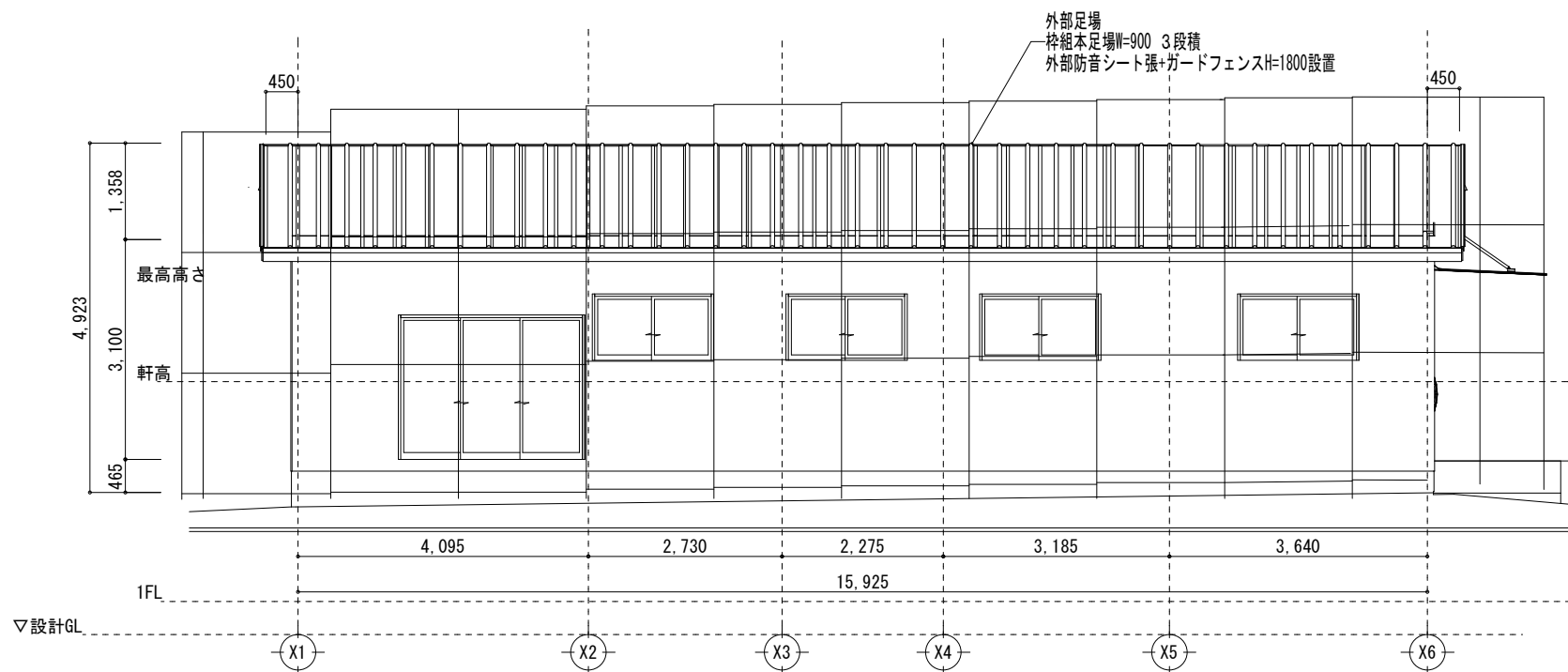
令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事				設計・監理 一級建築士事務所	
各サイン図縮尺参照		SCALE	SCALE	SCALE	野中建築設計事務所
サイン詳細図					
DW.	CK.	DATE	07-02	NO.	1級建築士第147931号 野中健一
			A-26		〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20
					TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



東面仮設計画図 1/100

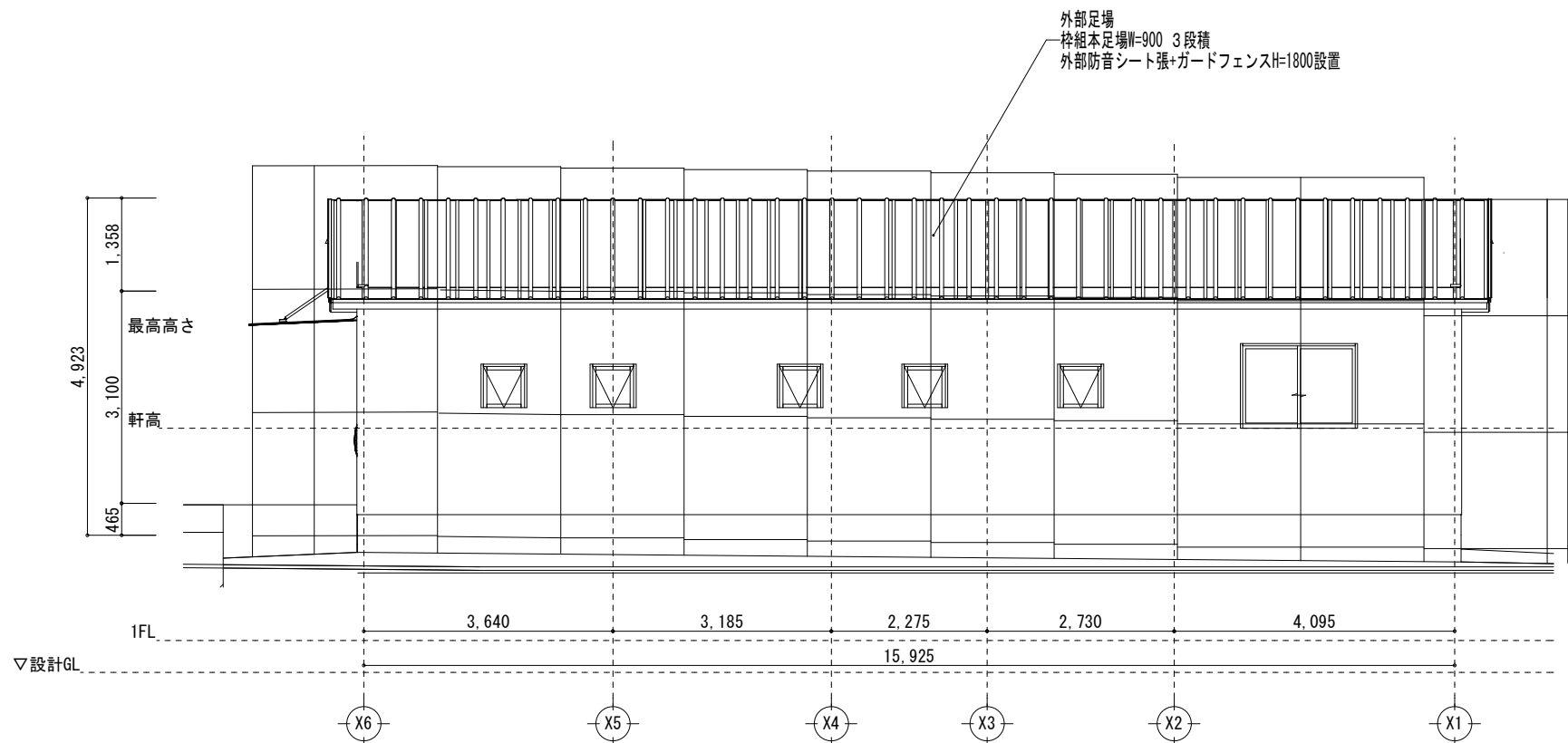


西面仮設計画図 1/100



南面仮設計画図 1/100

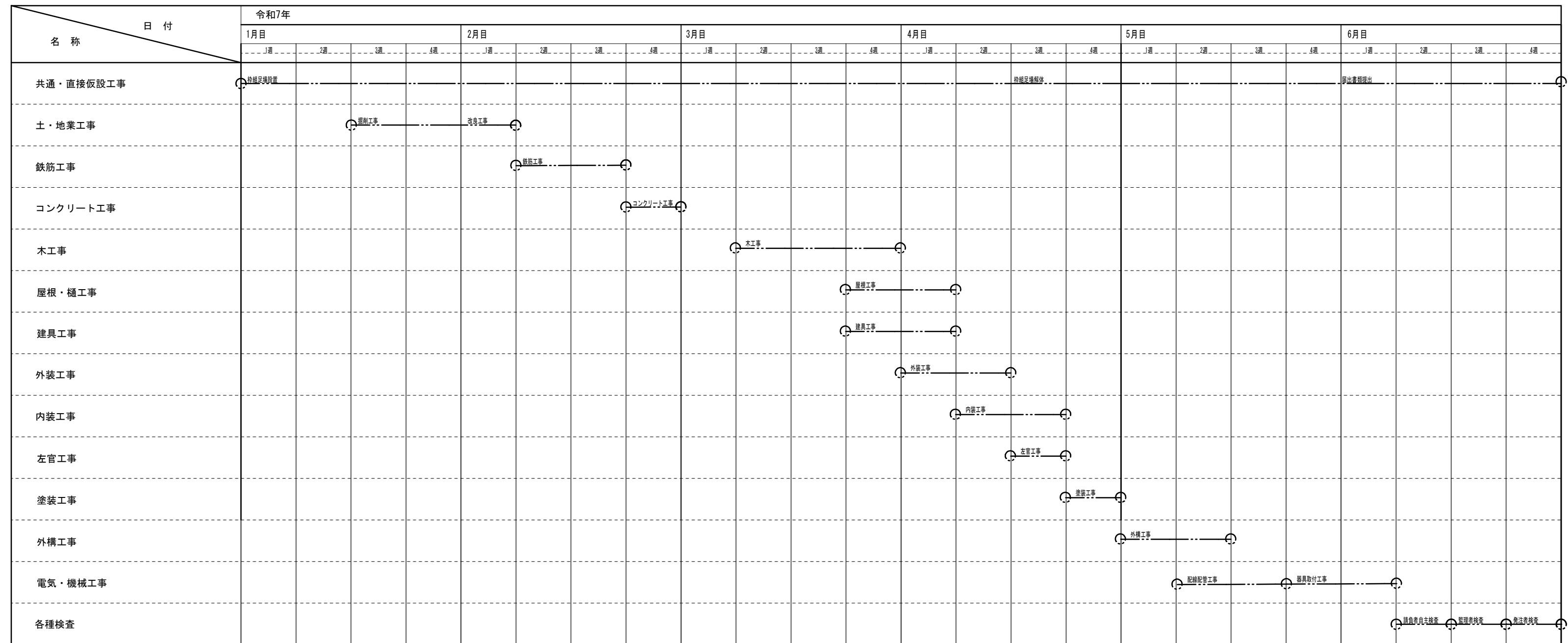
注記 内部足場は脚立足場150・40mとする。



北面仮設計画図 1/100

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事				設計・監理 一級建築士事務所	
1:100		SCALE		SCALE	
仮設計画図 (立面)		SCALE		SCALE	
DW.	CK.	DATE	07-02	NO.	A-27
野中建築設計事務所				1級建築士第147931号 野中健一	
〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20				TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408	

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事



				令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事				設計・監理		一級建築士事務所	
								野中建築設計事務所			
1:non				SCALE		SCALE					
参考工程表										1級建築士第147931号 野中健一	
DW.				CK.		DATE 07-02		NO. A-28		〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20 TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408	

機械設備工事特記仕様書 No.2

項 目		特 記 事 項	
空 気 調 和 設 備	○銅板製煙道 （ボイラー）	厚さ ○3. 2mm ○4. 5mm ○ばい煙濃度計の取付座 ○ばいじん量測定口 ○伸縮継手 ○排除口	
	○ばい煙濃度計 （ボイラー） ○瞬間流量計	※送風機付き ○送風機なし （電源は熱源機器付属制御盤より取出し、配管配線共本工事に含む） ○固定形 個 ○省脱可能形 （測定用タッピング 個 本体 個）	
	●保温 （図面特記部分は除く）	1）冷媒管の保温外装は下記による。 ・屋内 隠べい部 ○不要 ○必要 露 出 部 ○保温化粧ケース（塩化ビニル樹脂製） ○ ・屋外 ○ステンレス鋼板 ○アルミ合金製 ●保温化粧ケース （●樹脂製 ○溶融亜鉛めっき鋼板製） 	

章	項 目	特 記 事 項
給 水 設 備	●水栓柱	●合成樹脂製（70×70×1300H） ○ステンレス製（ ） ○不凍水栓柱（ ） 特記なき場合、水栓取付け高さは約600とする。 1）一般敷地 ●300mm ○ 2）構内車両通路 ○600mm ○ 3）寒冷地では凍結深度以上とする。
	●埋戻し及び盛土	●良質土 ○再生コンクリート砂 ○山砂
	○加入金・負担金	○不要 ○必要（○別途 ○本工事）
	○本管引込工事	○本工事（○舗装本復旧まで ○舗装板復旧まで） ○別途工事
排 水 設 備	●排水方式	汚水と雑排水〔屋内〕 ●分流式 ○合流式 汚水・雑排水と雨水〔屋外〕 ○分流式 ●合流式 ポンプアップ排水 ●有り（○雑排水 ●汚水 ○雨水 ○湧水 ○浄化槽2次側）○無し
	●放流式	汚水 ●直放流下水管 ○浄化槽 ○ 雑排水 ●直放流下水管 ○浄化槽 ○別途樹・側溝 雨水ポンプアップ排水 ○直放流下水管 ○雨水側溝 ○雨水樹 湧水ポンプアップ排水 ○直放流下水管 ○雨水側溝 ○雨水樹
	●配管材料 （図面特記部分は除く）	○水道用亜鉛めっき鋼管 ○配管用炭素鋼鋼管（白）（○ねじ接合 OMDジョイント） ○排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 ●硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP） ○排水・通気用耐火二層管（VP） 屋内汚水管 ○排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 ●硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP） ○排水・通気用耐火二層管（VP）
	○負担金	○不要 ○必要（○別途 ○本工事）
給 湯 設 備	○給湯方式	○中央式 ●局部式
	○配管材料	○水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-HVA） ○一般配管用ステンレス鋼管 ○鋼管（壁又は床埋設をする場合は、保温付被覆鋼管を使用してもよい。） ○被覆鋼管
	○保温	ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇所の保温は、標準仕様書第2編3. 1. 5の表2. 3. 5による。
	○消火設備の種類	○屋内消火栓 ○スプリンクラー ○泡消火 ○不活性ガス消火（ ） ○連結送水管 ○
消 火 設 備	○配管材料 （図面特記部分は除く）	屋内配管 ○配管用炭素鋼鋼管（白） ○圧力配管用炭素鋼鋼管（白 Sch 40） ○一般配管用ステンレス鋼鋼管 地中配管〔屋内〕〔屋外〕 ○消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（SGP-VS）
	○保温	消火用充水タンクの保温を ○施工する（膨張タンクによる） ○施工しない 消火用呼水タンクの保温を ※施工しない ○施工する（膨張タンクによる） 屋外露出管の保温を ○施工しない ○施工する（給水管の保温仕様に準ずる） 屋内露出管の保温を ○施工しない ○施工する（給水管の保温仕様に準ずる） トレンチ内の保温を ○施工しない ○施工する（給水管の保温仕様に準ずる）
	○ガスの種類	○都市ガス （発熱量 ○45. 000kJ／Nm3 ○ kJ／Nm3） ○液化石油ガス （○50kg 本立 ○20kg 本立）
	○ガスメーター	親メーター ○貸与品 ○購入 子メーター ○購入 ○貸与品
ガ ス 設 備	○配管材料 （図面特記部分は除く）	屋内配管 ○配管用炭素鋼鋼管（白） ○ 地中配管〔屋内〕〔屋外〕 ○ポリエチレン被覆鋼管 ○ガス用ポリエチレン管 ○ ○ 都市ガスの場合は、供給者仕様による。
	○地中配管の接合方法	○SGM工法 ○ネジ工法 ○PE管工法
	○ビット内施工法	○溶接工法
	○負担金	○不要 ○必要（○別途 ○本工事）
設 さ く 井	○本管接続工事	○本工事（○舗装本復旧まで ○舗装板復旧まで） ○別途工事
	○掘削工法	○バーカッション式 ○ロータリー式 ○ダウンザホールハンマ式 ○回転振動式
	○孔口保護管	深度（ ）m ※配管用炭素鋼鋼管（黒） ○配管用ステンレス鋼鋼管
	○ケーシング材質	○配管用ステンレス鋼鋼管
設 置 機 器	○地中熱交換井設備	○回転振動式 ○ロータリー式 ○ダウンザホールハンマ式 ○ロータリーバーカッション式
	○掘削工法	○回転振動式 ○ロータリー式 ○ダウンザホールハンマ式 ○ロータリーバーカッション式
	○緊急遮断弁装置	※図面による。
	○量水器	※図面による。

章	項 目	特 記 事 項
浄 化 槽 設 備	○形式	○ユニット形 ○現場施工形
	○処理方法	○小規模合併処理（図面による） ○合併処理（図面による）
医 療 ガ ス 設 備		※図面による。

別表 1 付属品・予備品
○工具箱（ドライバー、モンキーレンチ、組スパンナー、ハンマー） ○マンホールフック ○パイプレンチ ○ポンププライヤー ○ラバーカップ（大、小） ○イージーキャビネット 箱 ○キーボックス ○盤類予備品（ランプ及びヒューズの100%）

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事				設計・監理 一級建築士事務所
- SCALE		SCALE	SCALE	野 中 建 築 設 計 事 務 所
機械設備工事 特記仕様書No. 2				1 級 建 築 士 第 1 4 7 9 3 1 号 野 中 健 一
DW.	CK.	DATE 07-02	NO. M-02	〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20 TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

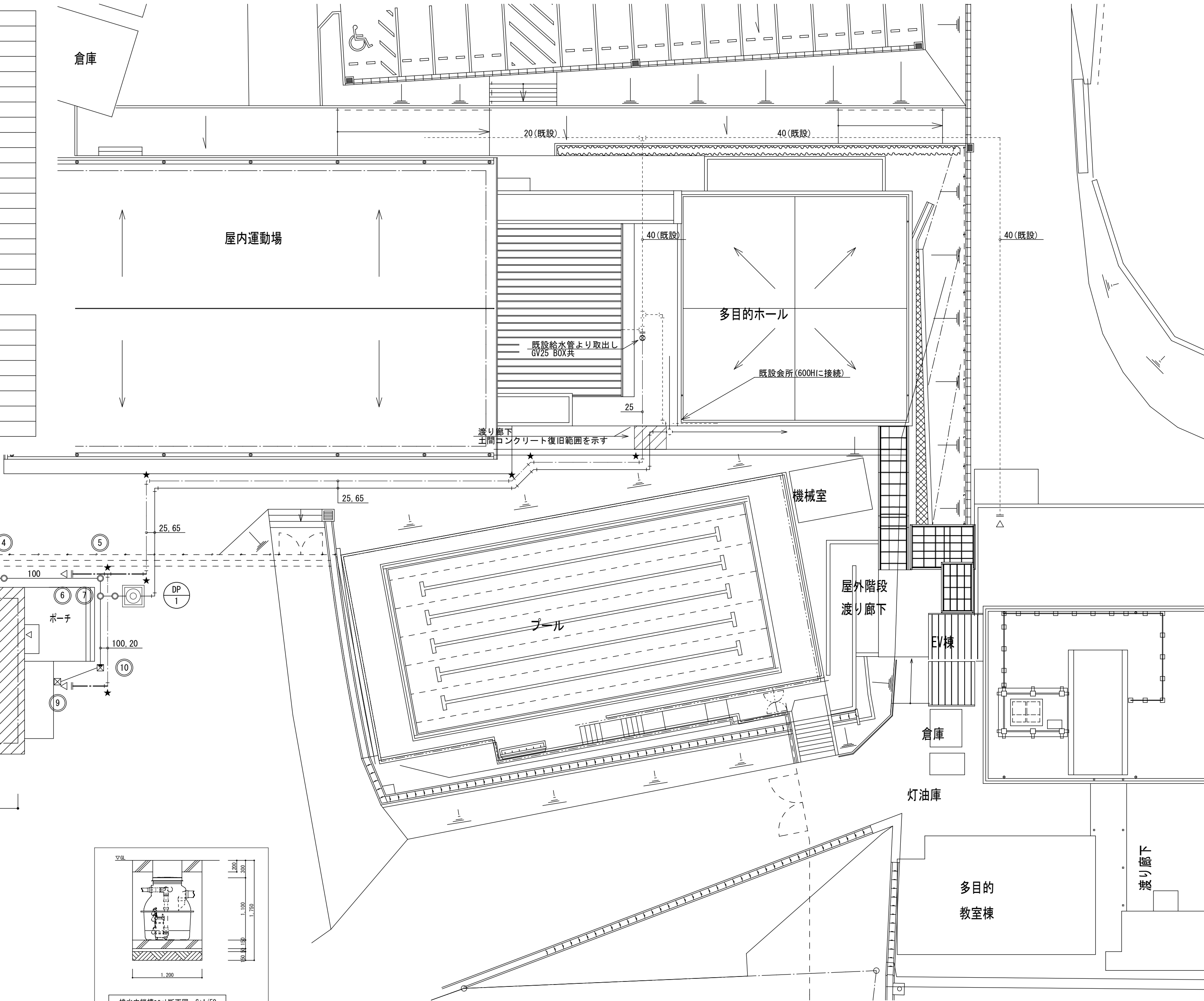
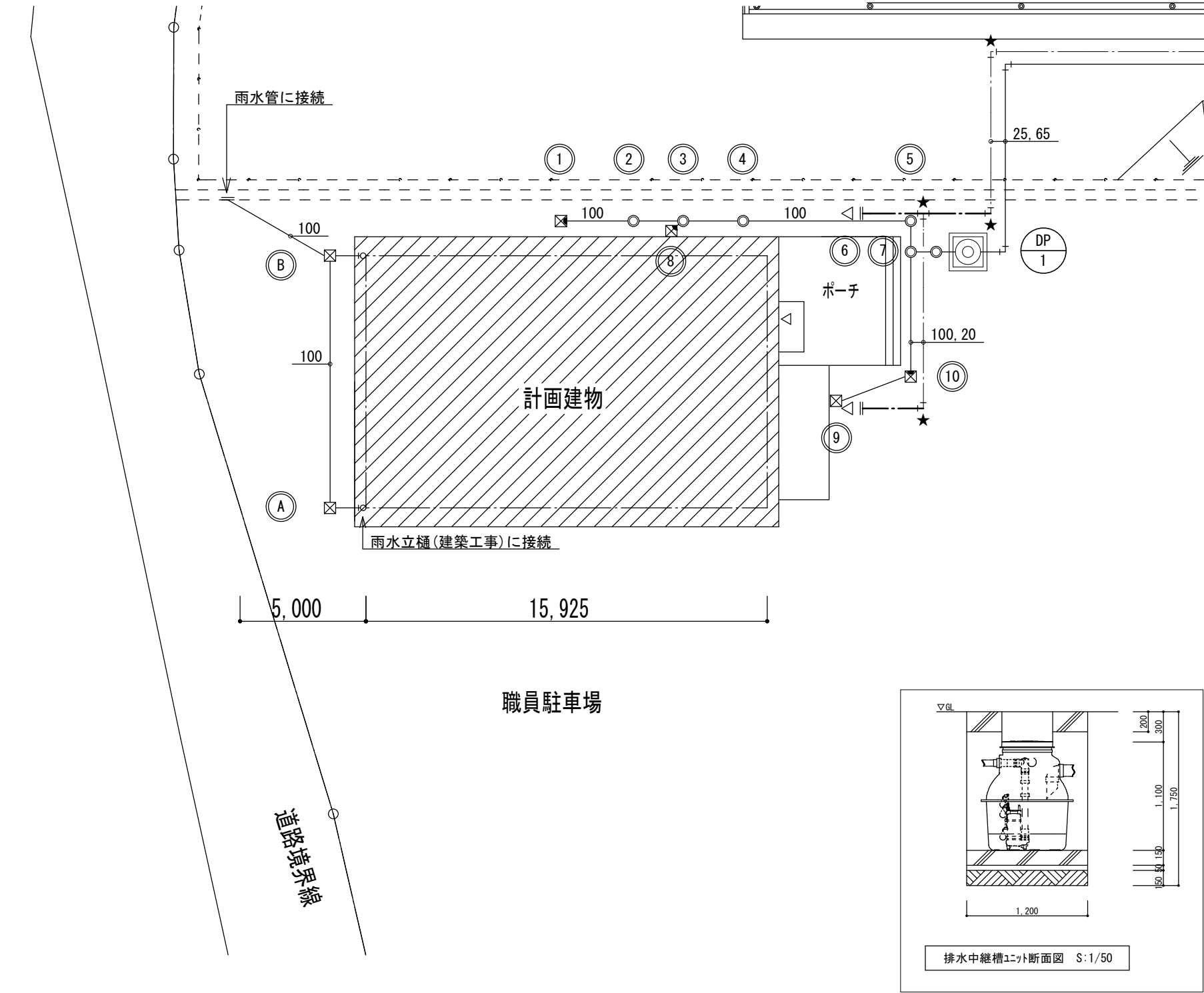
器 具 リ ス ト														
器 具 名	品 番	附 属 品	備 考	1 階										ト ト ア ル
				管理室	廊下	男子トイレ	女子トイレ	多目的トイレ	廊外					
腰 掛 便 器	CS597BCS	SH596BAYR, TCF4724	他附属品一式共			1	2							3
腰 掛 便 器	CS232B	SH232BA, TCF4724	他附属品一式共					1						1
小 便 器	UFH500	自動洗浄, 超節水タイプ, 低リップ	他附属品一式共			2								2
マ ー ブ ラ イ ト カ ウ ン タ ー	MVSB075JA	洗面器, 自動水栓（単水栓）	他附属品一式共					1						1
壁 掛 洗 面 器	L210C	TLS04303JA, TLDP2105JA	他附属品一式共			1	1							2
掃 除 用 流 し	SK22A	T23AEQ20C, TN114, T37SGEP	他附属品一式共					1						1
紙 巻 器	YH51R	一連				1	1	1						3
化 粧 鏡	YM3560A					1	1	1						3
混 合 水 栓	TKS05310J			1										1
横 水 栓	T200SNR13C				3				1					4
水 栓 柱	13A×1200H								1					1
流 し 台		排水トラップ共：建築工事（配管接続・止水栓×2は本工事）		1										1

機 器 リ ス ト ： 衛 生					
記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様	電 源	台 数	備 考
DP-1	排水中継槽ユニット	運転方式：自動交互並列運転 着脱型 水槽容量：300lit 50φ×100（200）lit／min×8mAq×0.4kW×2台 制御盤（警報ブザー付）, 汚物用チェック弁, 樹脂製槽内配管, マンホール蓋 マンホール枠, マンホールかさ上げ用スベーサ 他附属品一式共	1φ100V	1set	TAZE2-30D50G （川本製作所 同等品）
EB-1	電気温水器	据え置きタイプ貯湯式（洗面・手洗い用） 貯湯量：25lit 消費電力：2.0kW 耐震用脚, 密閉式排水ホッパー, アングル形止水栓 他附属品一式共	1φ200V	1	REW25C2BKSCM （TOTO 同等品）

				令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事			設計・監理 一級建築士事務所	
				- SCALE			SCALE	
				機械設備工事 器具・機器リスト（衛生設備）			野 中 建 築 設 計 事 務 所	
				DW.			1 級 建 築 士 第 1 4 7 9 3 1 号 野 中 健 一	
				CK.			〒 6 2 2 - 0 0 1 4 京 都 府 南 丹 市 園 部 町 上 本 町 南 2 - 2 0	
				DATE 07-02			NO. M-03	
							TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408	

樹リスト				
記 号	寸 法	管底深さ	蓋 仕 様	備 考
1	350□	400	鑄鉄製防臭蓋	防臭弁取付
2	200φ	430	密閉式開閉蓋	
3	200φ	450	密閉式開閉蓋	
4	200φ	480	密閉式開閉蓋	
5	200φ	550	密閉式開閉蓋	
6	200φ	560	密閉式開閉蓋	
7	200φ	570	密閉式開閉蓋	
8	350□	400	鑄鉄製防臭蓋	防臭弁取付
9	350□	400	鑄鉄製防臭蓋	
10	350□	430	鑄鉄製防臭蓋	防臭弁取付
A	350□	200	格子蓋	
B	350□	300	格子蓋	

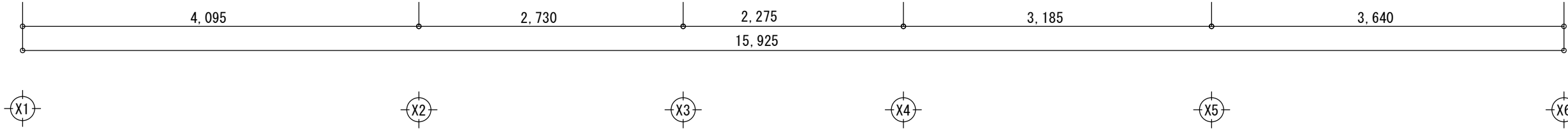
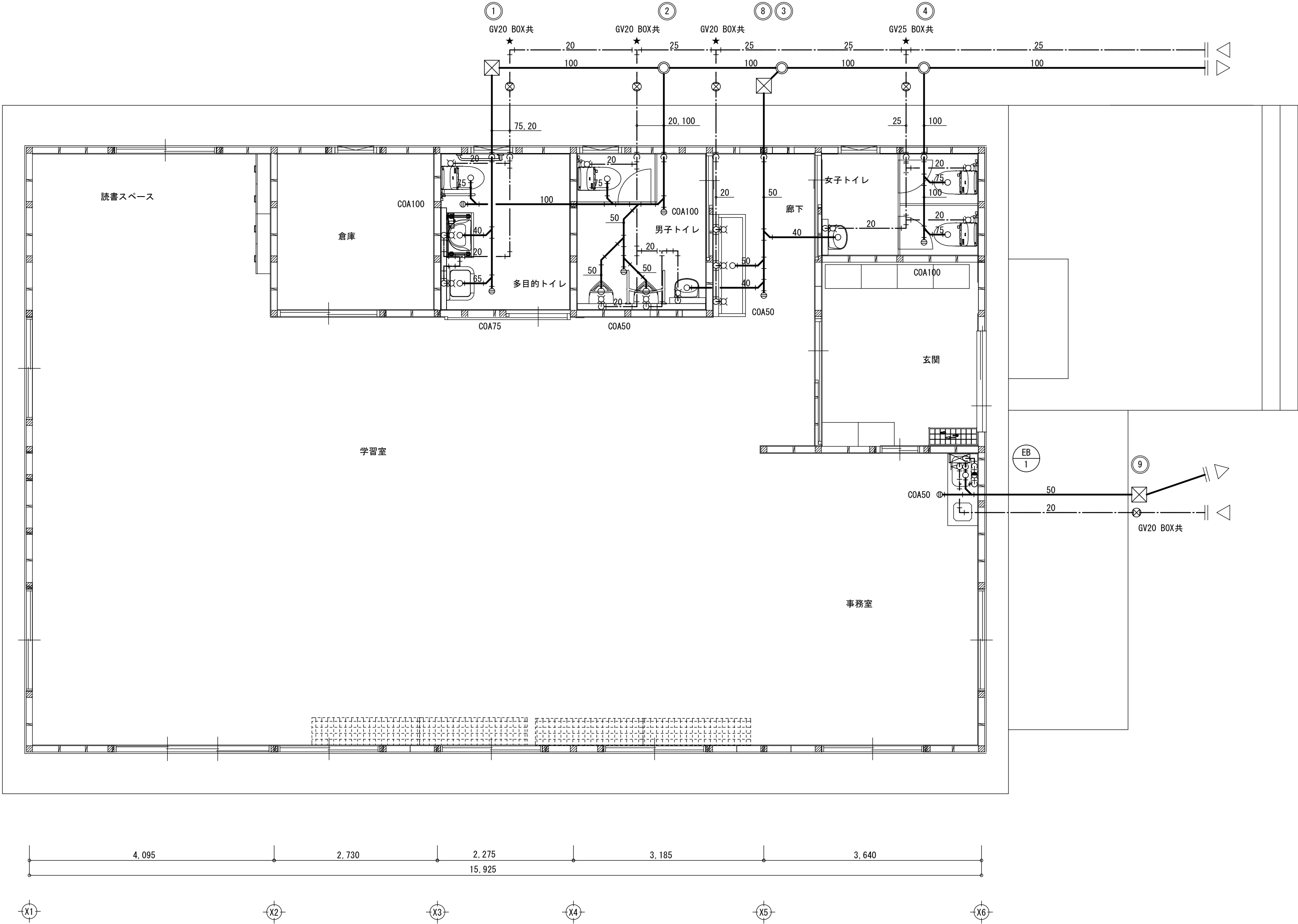
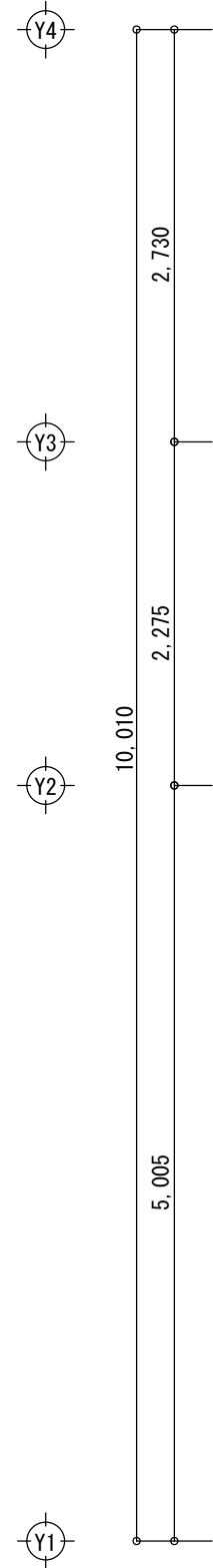
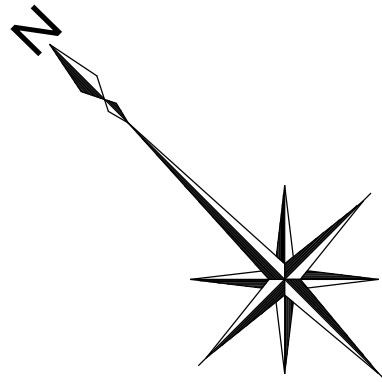
注記事項
1. 樹の管底深さは参考値とし、詳細は現場実測の上最終決定とする。
2. 会所は全て塩ビ製とする。
3. 駐車場・車路部分等、車輛の載荷の可能性のある会所蓋は全て重耐圧仕様とする。
4. 樹の管底深さは、樹設置位置からの深さを示す。
5. 雨水工事は全て建築工事とする。 ただし、取り合い等十分に調整を行う事。
6. 樹は防水・防臭型とする。



配置図 S:1/200

注記事項:1. ★ は埋設表示ピンを示す。

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事				設計・監理 一級建築士事務所
1:200 SCALE		SCALE		野中建築設計事務所
機械設備工事 配置図(衛生設備)		SCALE		1級建築士第147931号 野中健一
DW.	CK.	DATE	NO.	〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20 TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408
		07-02	M-04	



平面図 S:1/50

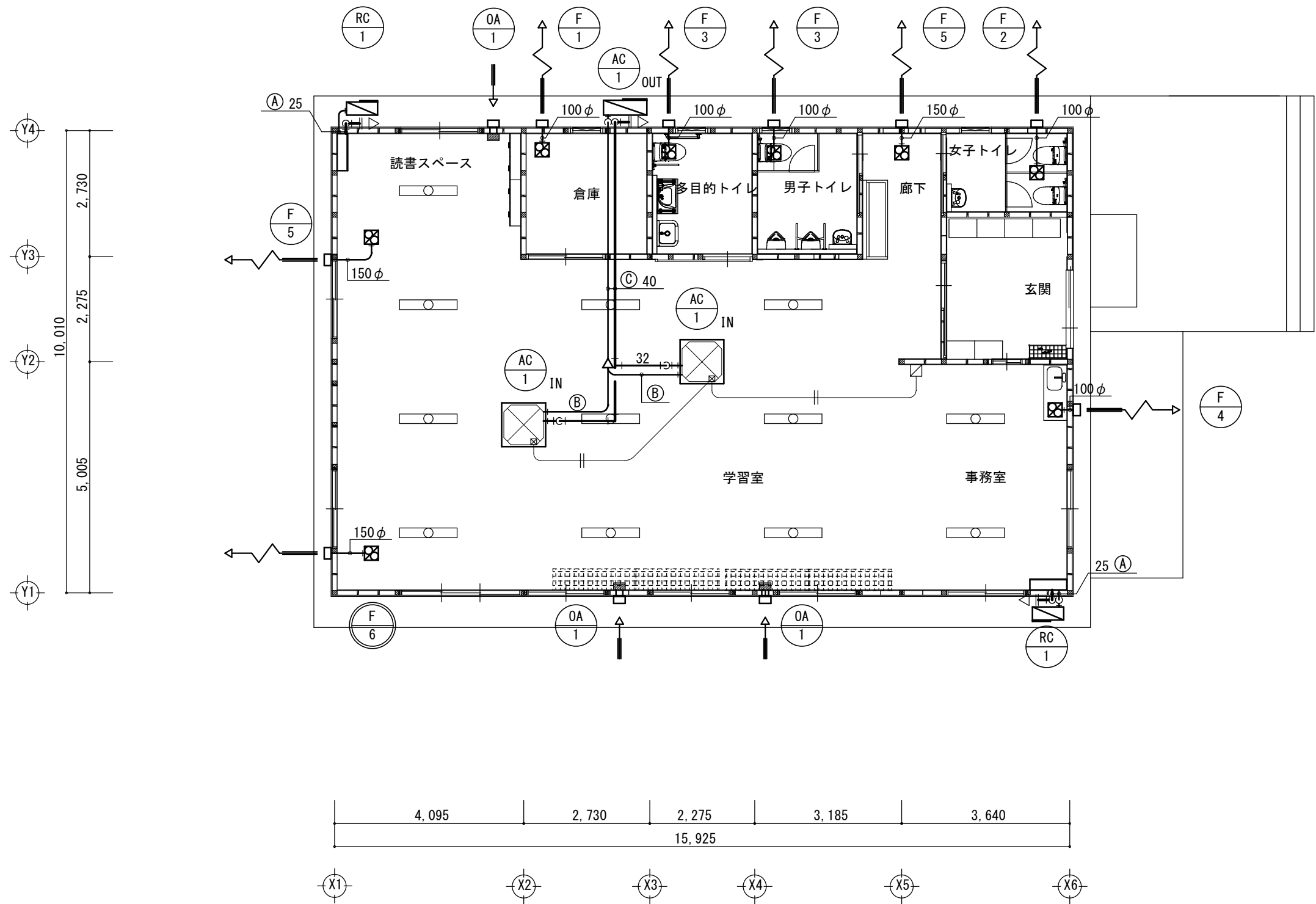
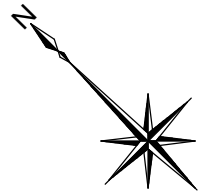
注記事項:1. ★ は埋設表示ピンを示す。

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事				設計・監理	一級建築士事務所
機械設備工事 平面図 (衛生設備)		1:50 SCALE	SCALE	SCALE	野中建築設計事務所
DW.	CK.	DATE	NO.	1級建築士第147931号 野中健一	
		07-02	M-05	〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20	
				TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408	

機 器 リ ス ト ； 空 調 ・ 換 気							
記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様		電 源	台 数	備 考	
R C－1	空冷ヒートポンプ ルームエアコン	壁掛形	冷房能力： 3.6 kW 圧縮機： 0.95 kW ワイヤレスリモコン, 風向調整板, 防振パット	暖房能力： 4.2 kW 送風機： 室内機 27W, 室外機： 25W 他附属品一式共	1φ100V	2	S365ATES (ダイキン 同等品)
A C－1	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン (ツイン同時)	天井カセット形 (ラウンドフロー)	冷房能力： 22.4 kW 圧縮機： 4.61 kW ワイヤードリモコン, 化粧パネル, 風向調整板, 防振パット	暖房能力： 28.0 kW 送風機： 室内機 106W×2, 室外機： 454W 他附属品一式共	3φ200V	1set	SZRC224BAD (ダイキン 同等品)
F－1	換 気 扇	天井埋込形ダクト用 低騒音形 インテリア格子タイプ 60CMH × 40Pa × 9.3W × 22dB SUS製丸形防風板付ベントキャップ100φ	他附属品一式共	1φ100V	1	VD-10ZC14-C (三菱電機 同等品)	
F－2	換 気 扇	天井埋込形ダクト用 低騒音形 140CMH × 40Pa × 15.5W × 28.5dB SUS製丸形防風板付ベントキャップ100φ	他附属品一式共	1φ100V	1	VD-15ZC14 (三菱電機 同等品)	
F－3	換 気 扇	天井埋込形ダクト用 低騒音形 180CMH × 40Pa × 23W × 34dB SUS製丸形防風板付ベントキャップ100φ	他附属品一式共	1φ100V	2	VD-15ZPC14 (三菱電機 同等品)	
F－4	換 気 扇	天井埋込形ダクト用 低騒音形 金属タイプ 180CMH × 40Pa × 24W × 37.5dB SUS製丸形防風板付ベントキャップ100φ	他附属品一式共	1φ100V	1	VD-15ZY14 (三菱電機 同等品)	
F－5	換 気 扇	天井埋込形ダクト用 低騒音形 インテリア格子タイプ 300CMH × 40Pa × 40W × 33dB SUS製丸形防風板付ベントキャップ150φ	他附属品一式共	1φ100V	2	VD-18ZXP14-C (三菱電機 同等品)	
F－6	換 気 扇	天井埋込形ダクト用 低騒音形 インテリア格子タイプ 24時間換気機能付 300(150)CMH × 40(20)Pa × 40W × 33dB SUS製丸形防風板付ベントキャップ150φ, 強弱スイッチ (電気工事へ支給)	他附属品一式共	1φ100V	1	VD-18ZLXP14-CS (三菱電機 同等品)	
O A－1	給 気 口	自然給気ユニット (角形・壁取付タイプ) 150φ 不織布フィルター付 SUS製丸形防風板付ベントキャップ150φ	他附属品一式共	―――	3	AT-150QRKF4 (メルコエアテック 同等品)	

注記事項
1. エアコンの室内外渡り配線 (電源配線共) 及びリモコンスイッチ取付 (配線共) は全て本工事とする。
2. エアコンの能力表示は日本産業規格JIS B 8616及びJIS C 9612に準じて計測した値を示す。
3. 機器用室外機架台は本工事とする。
4. 屋外露出部分のベントキャップ・ガラリ等は指定色焼付仕上げ (防虫網・水切付) とする。
5. 換気扇の能力特性はJIS B 8330及びJIS C 9603による。
6. ベントキャップ100φは防火覆いとする。

	令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事			設計・監理 一級建築士事務所	
	- SCALE			野 中 建 築 設 計 事 務 所	
	機械設備工事 機器リスト (空調・換気設備)			1級建築士第147931号 野中健一	
	DW.	CK.	DATE 07-02	NO. M-06	〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20 TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



平面図 S:1/100

冷媒管口径	
Ⓐ	CUP 6.4φ × 9.5φ
Ⓑ	CUP 9.5φ × 15.9φ
Ⓒ	CUP 9.5φ × 25.4φ

- ※室内外渡り配線共本工事
※冷媒管サイズについては、メーカー基準により施工する事
※ドレン管は最寄り雨水樹又は側溝へ放流
※——は個別リモコン用配線【EM-CEE1.25-2C】を示す
※エアコンの室内外渡り配線は空調配管と共巻きとする
※□はエアコン用リモコン位置を示す。(取付・配線共本工事)

注記事項:1.  は24時間換気用を示す。

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事				設計・監理 一級建築士事務所
機械設備工事 平面図 (空調・換気設備)		SCALE	SCALE	SCALE
DW.	CK.	DATE	NO.	
		07-02	M-07	
野中建築設計事務所				1級建築士第147931号 野中健一
〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20				TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

一般事項

- (1) コンクリート
- コンクリートはJIS認定工場の製品とする
- セメントはJIS R 5210の普通ポルトランドセメントとする
- 調査計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること
- ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打設する
- 打設継続中における打ち継ぎ時間の限度は、外気温が25℃未満の場合は150分
- 25℃以上の場合は120分以内とする

- (2) 鉄筋
- 鉄筋はJIS G 3112の規格品を標準とする

- (3) 型枠
- 合板を使用する場合は12mm厚を標準とする
- 型枠在置期間は、平均気温が15℃以上の場合は3日、5℃～15℃の場合は5日、5℃未満の場合は9日とする

- (4) その他
- 基礎に設備孔を設ける場合は、基礎梁せいの中央付近150φ以下とし、スタラップ間隔内に設ける
- 150φを超える設備孔を設ける場合は設計者の承認を得て、適切な開口補強を施すこと
- コンクリート打設前に型枠内の十分な清掃を行うこと

鉄筋加工

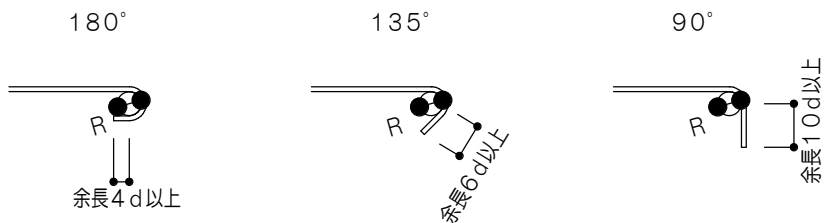
- (1) 鉄筋のかぶり厚さ
- 基礎梁上部・側面
- 40mm
- 基礎梁下部・耐圧スラブ・布基礎ベース部
- 60mm
- 土に接しない耐圧スラブ上部
- 40mm

- (2) 鉄筋のあき（異形鉄筋）
- 呼び名の数値の1.5倍、粗骨材最大寸法の1.25倍、のうちの大きい方の数値

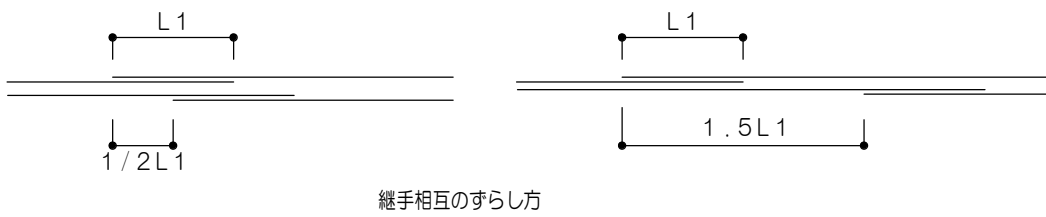
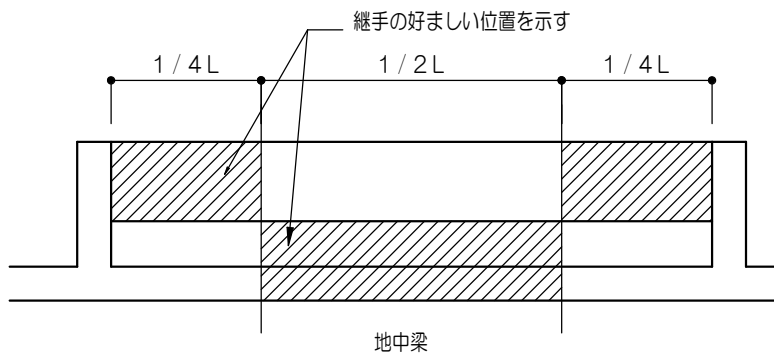
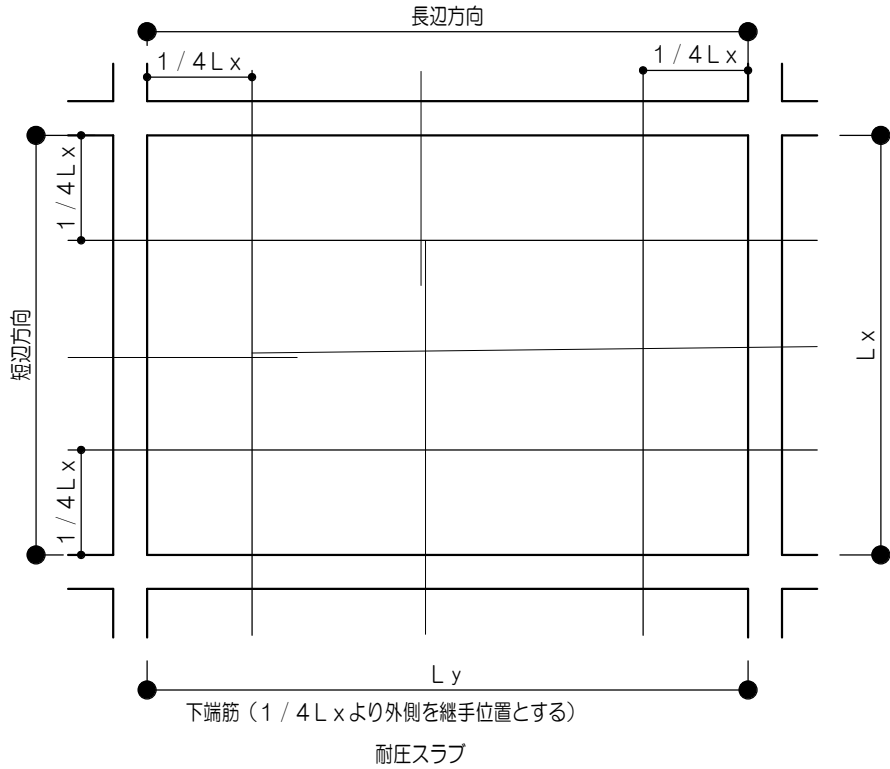
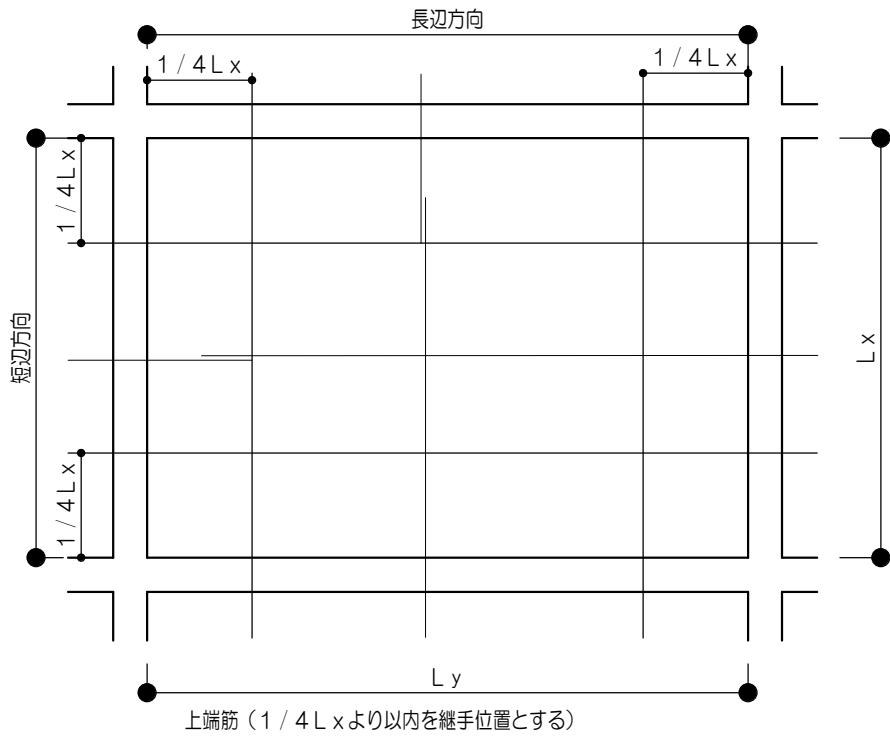
- (3) 重ね継手の長さ（L1）
- L1
- 45d（Fc=180）、40d（Fc=210）を標準とする

- (4) 定着長さ
- L2
- 40d（Fc=180）、35d（Fc=210）を標準とする
- L3
- 10dかつ15cm以上

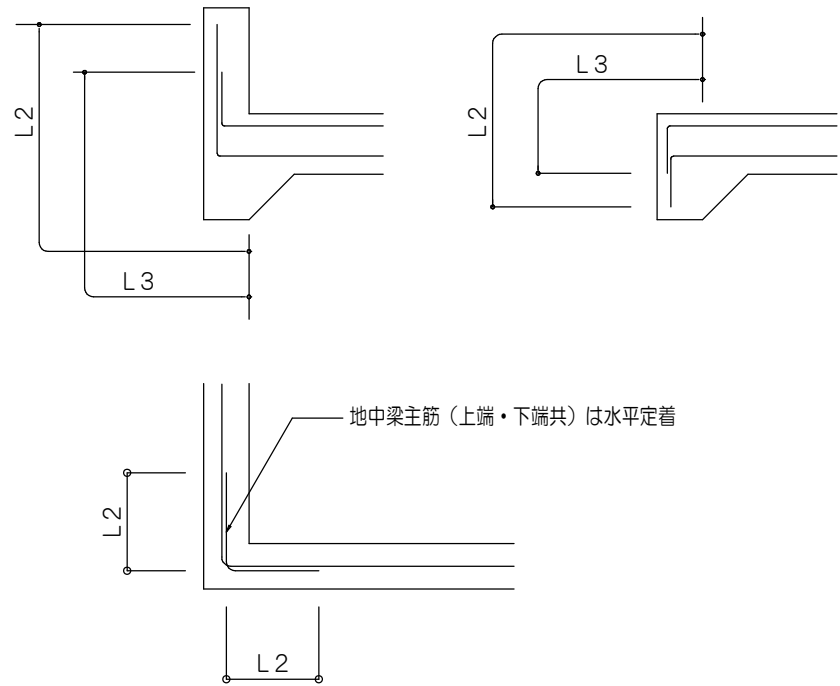
- (5) 末端部折り曲げ形状
- 折り曲げ内のり直径Rは3d以上（D16以下）とする



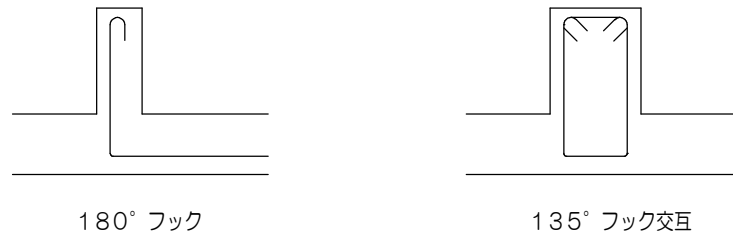
鉄筋継手位置



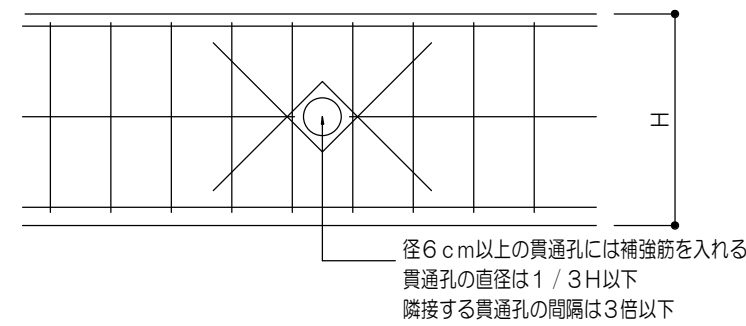
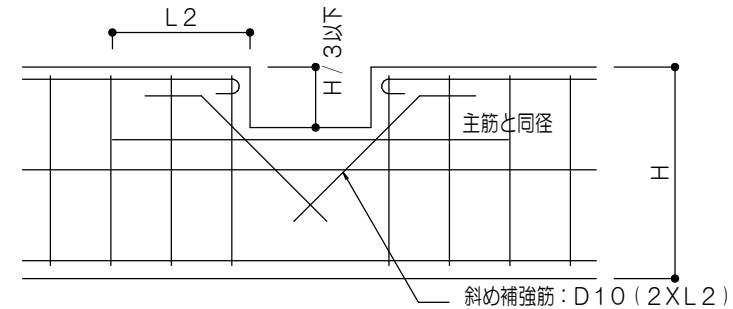
基礎端部の定着



スタラップ フック形状



開口補強



特記事項

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事

構造詳細図 RC関連詳細図

DW.

CK.

DATE

07-02

NO.

S-02

設計・監理

一級建築士事務所

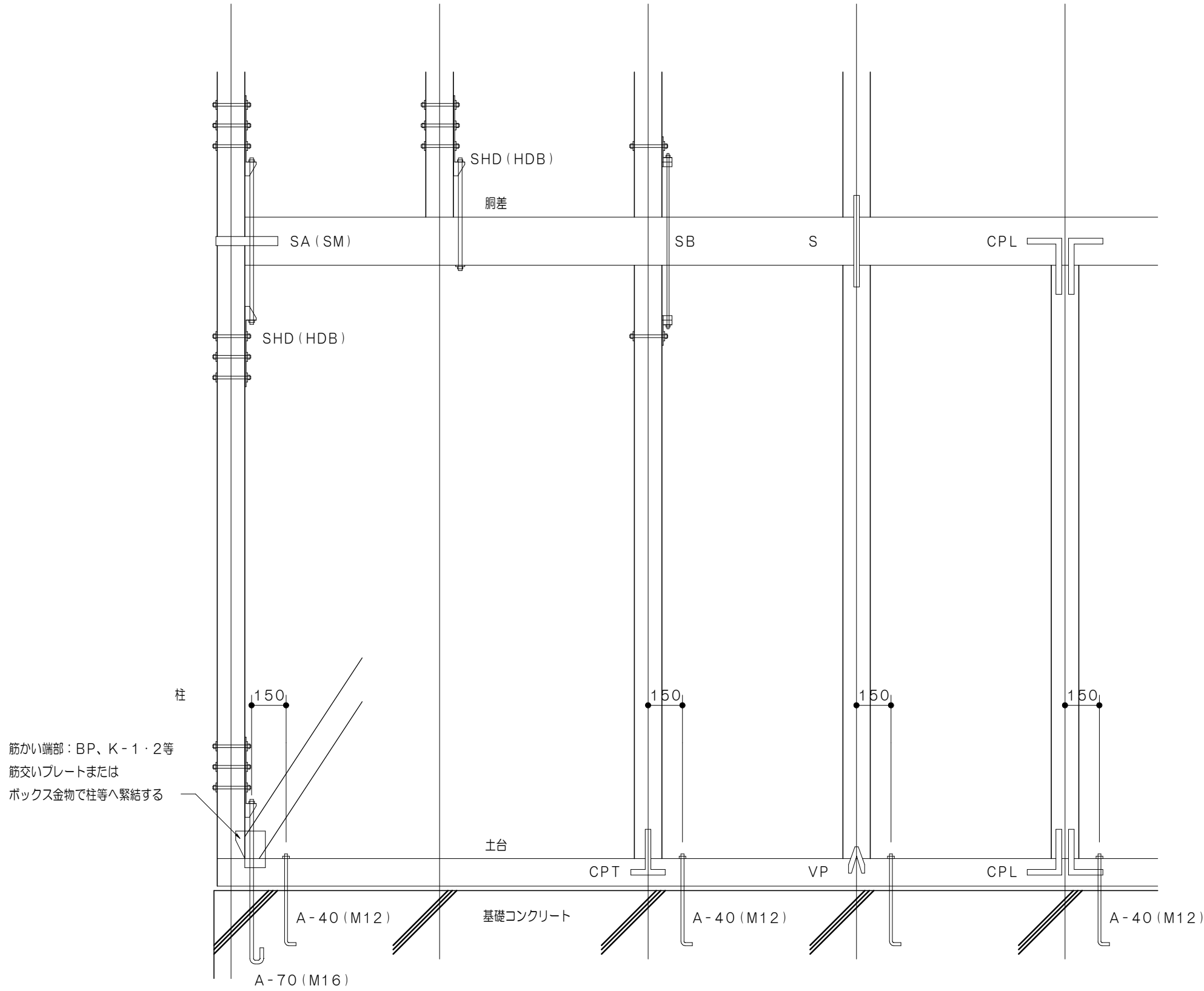
野中建築設計事務所

1級建築士第147931号 野中健一

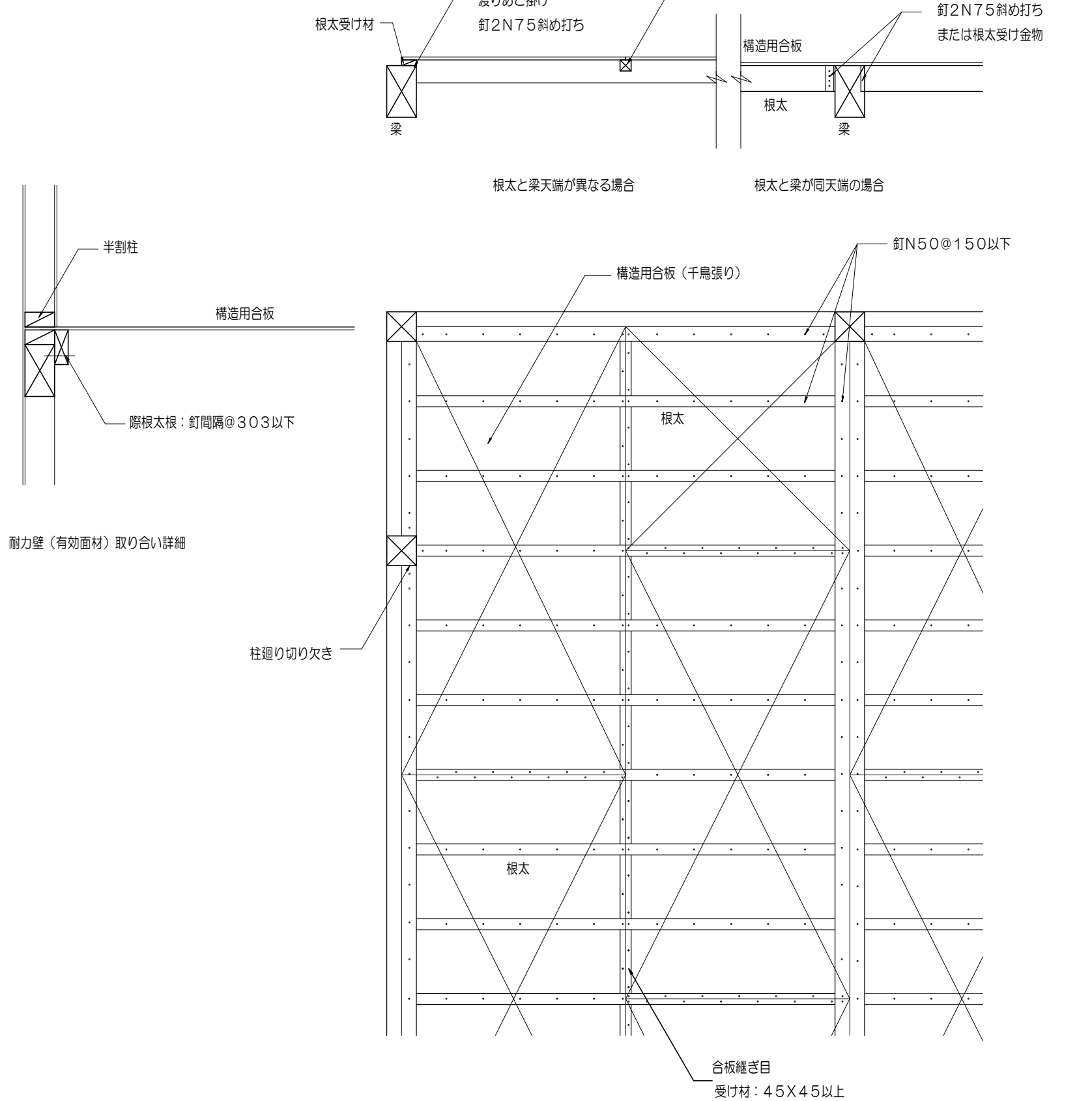
〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20

TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

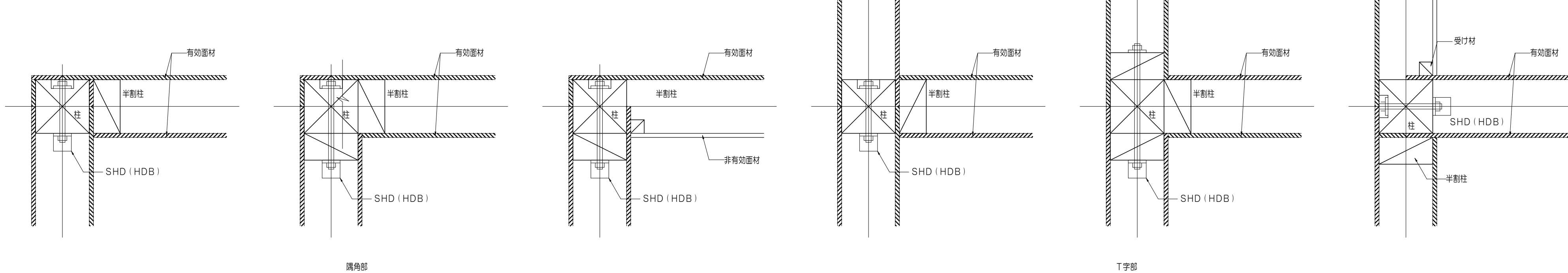
柱頭・柱脚金物取付詳細図



剛床組詳細 (2・3・PH階)



耐力壁納まり詳細



特記事項

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事

設計・監理

一級建築士事務所

構造標準図 軸組構造詳細図1

野中建築設計事務所

1級建築士第147931号 野中健一

DW.

CK.

DATE

NO.

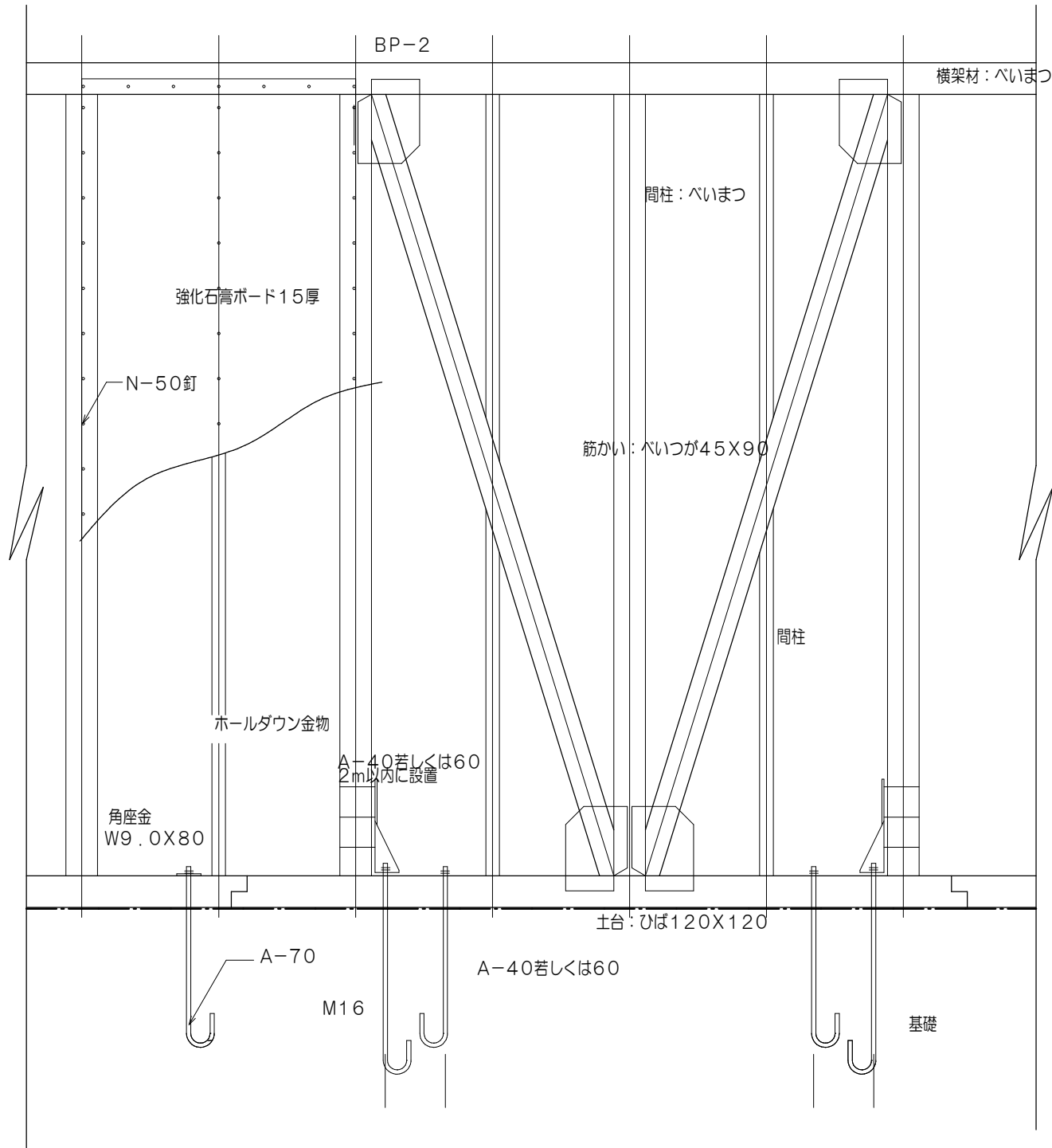
07-02

S-03

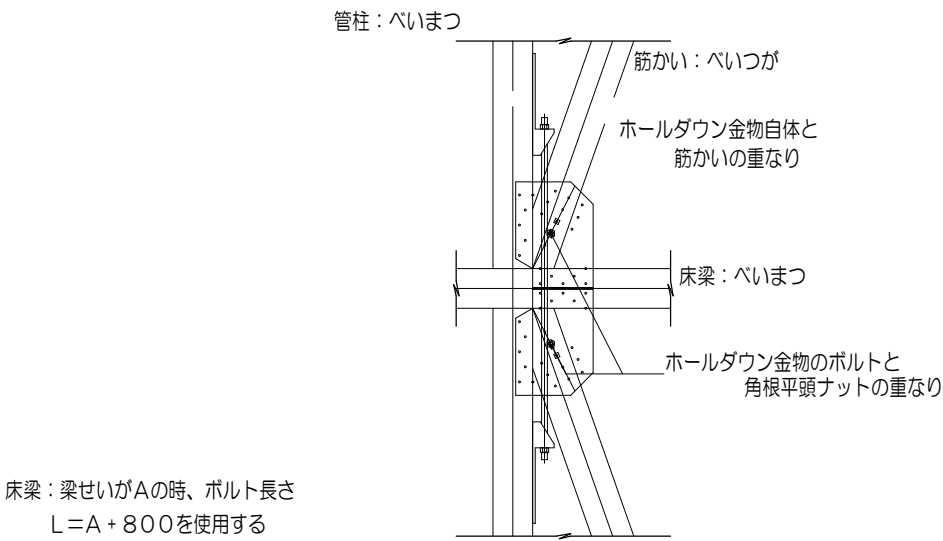
〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20

TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

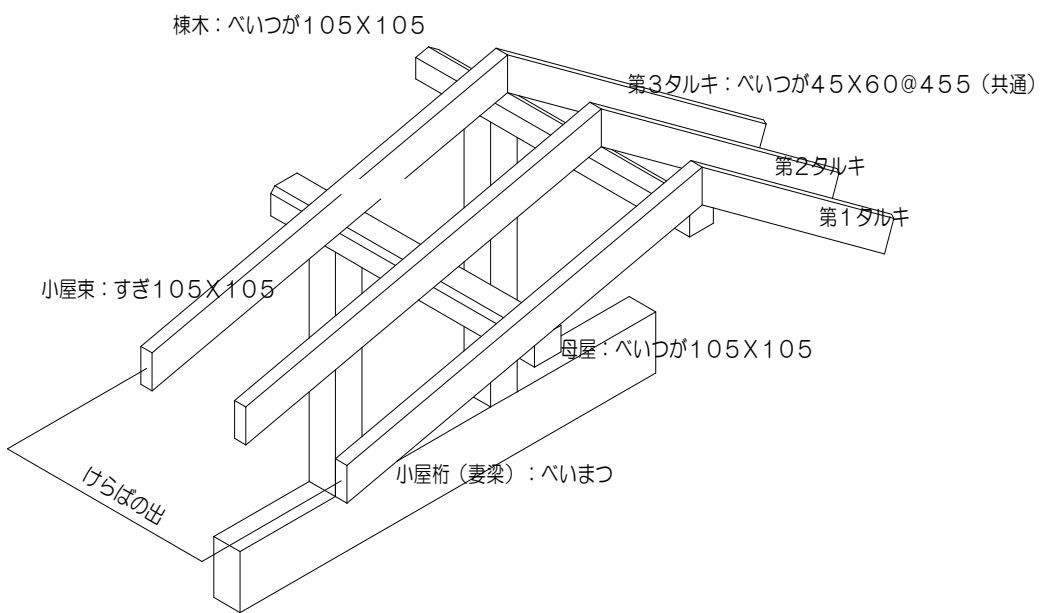
標準納まり（アンカー、ホールダウン、筋かい）



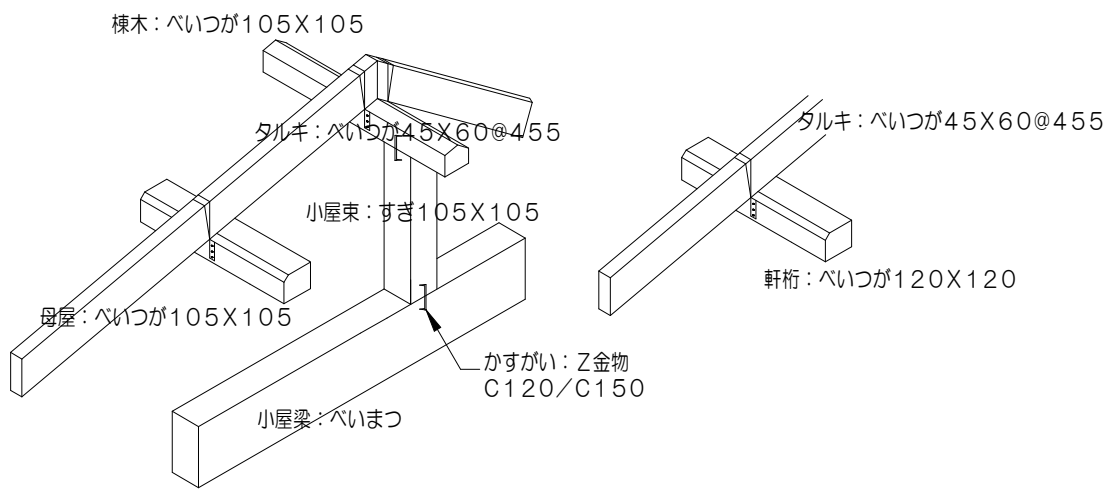
ホールダウン金物周辺納まり詳細



小屋組の各部



接合金物による繋結



特記事項	令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事				設計・監理	一級建築士事務所
	構造標準図 軸組構造材詳細図2				野中建築設計事務所	
	1:100 SCALE		SCALE		1級建築士第147931号 野中健一	
	DW.	CK.	DATE	NO.	〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20	
			07-02	S-04	TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408	

深層混合処理工事 特記仕様書

(ソイルコラム 柱状改良工事)

1. 工事概要

本工事は、地盤改良工事であり、地中にスラリー状のセメント系固化材を注入し、原土を機械的に混合・攪拌し、当該計画建築物基礎下部の土中に、円柱状の改良体を構築することにより、所定の強度を有した地盤を築造するものである。また、技術基準は〔改定版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針 ―セメント系固化材を用いた深層及び浅層混合処理工法―〕※（附）日本建築センター 著 に準ずるものとする。

2. 特記概要

- 1：本工事を施工する施工業者は 本工事の施工作業に精通したものとする。
2：改良径、改良長、掘削深度、改良ヶ所数、配置等は 設計図書による。

3. 一般事項

- 1：改良の径、長さ、ヶ所数、位置及び固化材の配合等は、土中の地盤状況により変更することがある。
2：改良の設計基準強度、改良数量は右表に記載する。
3：本工事に先立ち、施工計画書を提出する。
施工計画書には以下の内容を明記するものとする。

- ① 工事内容（改良仕様、設計基準強度等の内容）
② 施工方法
③ 施工機械・器具
④ 配合管理（使用固化材、配合量、水セメント費等）
⑤ 施工手順
⑥ 品質管理方法

設計基準強度		Fc = 800 kN/m ²			
改良仕様					
改良径 (φ = mm)	掘削長 (m)	空堀長 (m)	改良長 (m)	改良ヶ所数 (ヶ所)	
500	2.00	0.24	1.76	61	
合計	122.00	14.64	107.36	61	

4. 固化材

- 1：本工事に使用する固化材は六価クロム対応型セメント系固化材とする。（原則）
2：固化材の添加量は、原則として、事前に室内配合試験を行い、以下の室内配合強度の設定にて 添加量を決定するものとする。
※但し、諸条件により配合試験を行わない場合は、管理者の判断により、配合量を想定して改良計画を進めることが出来るものとする。

3. 室内配合強度の設定

$$Xf = \alpha f \cdot Fc$$
$$Xf = 3965 \text{ kN/m}^2$$

※採取ヶ所数 1ヶ所の場合

Xf : 配合強度 (kN/m²)
 αf : 割増係数(右表による)
 Fc : 設計基準強度 (kN/m²)

変動係数	割増係数 (合格率 = 80%とする)					
	採取ヶ所数 (ヶ所)					
	1	2	3	4～6	7～8	9～
0.45	4.926	3.898	3.510	3.189	2.844	2.762

$$Xl = Xf / \alpha f1$$
$$Xl = 6665 \text{ kN/m}^2$$
$$= 3907 \text{ kN/m}^2$$

※28日強度の場合の室内配合強度 $Xl/1.46$ (粘性土の場合)

Xl : 室内配合強度 (kN/m²) ※28日強度
 $\alpha f1$: 現場/室内強度比 ($\alpha f1 = 0.7$)
※室内配合強度 Xl は、配合強度 Xf を現場/室内強度比 $\alpha f1$ で除して算出する。

4：固化材

固化材名称	ハードキープ P-530	株式会社 トクヤマ (六価クロム対応)
-------	--------------	---------------------

想定計画固化材添加量	300 kg/m ³	想定計画固化材使用量	6.5 t	水セメント比	60 ～ 100 %
------------	-----------------------	------------	-------	--------	------------

※他、上記設定は、事前の試験等により、土質を確認し、強度を低下させられる状況（腐食土、地下水等）が確認された場合、管理者と協議の上、変更することが可能なものとする。

5. 施工機械

- 1：本工事の仕様を満足出来る施工機械・器具を選択し、施工するものとする。
3：スラリー（セメントミルク）作成用の混合プラントは、吐出量を十分に供給できるものとする。

6. 施工

- 1：本工事により発生、排出された土砂は、現場場内にて処理とする。
2：改良頭部のずれは、±100mm以内とする。
3：施工に対して何らかの変更・異常が生じた場合は、すみやかに監督員と協議し、その指示を受けるものとします。

7. 施工管理

- 1：施工計画に沿って 以下の項目について管理を行う。

- ① 改良径
② 改良深度
③ 固化材使用量

8. 品質管理

- 1：改良体の強度管理試験（一軸圧縮試験）
未固化の改良土を供試体（モールド φ50×100）に充填し、一定期間の室内空中養生後、一軸圧縮試験（JIS A 1216）を行う。

※供試体作成本数は、採取ヶ所1ヶ所当り
3本作成するものとします。

採取位置	採取ヶ所数	作成総本数	養生期間
頭部	1	3	7日or28日以上
合計	1	3	

2. 合格の判定

一軸圧縮試験結果（平均）から、下式（検査手法A）を満足する場合を合格と判定する。

$$Xn \geq Xl = Fc + ka \cdot \sigma d = Fc + kn \{ Fc \cdot Vd / (1 - 1.3 Vd) \}$$
 ※資2.1.3

Xn : N ヶ所の一軸圧縮強度の平均値 (kN/m²)
 Xl : 合格判定値 (kN/m²)
 Fc : 設計基準強度 (kN/m²)
 kn : 合格判定係数 (下表による)
 σd : 標準偏差
 Vd : 変動係数 (0.45とする)

採取ヶ所数 N	1	2	3	4～6	7～8	9～
合格判定係数 ka	1.7	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3

以下 本工事の設定数値を示す

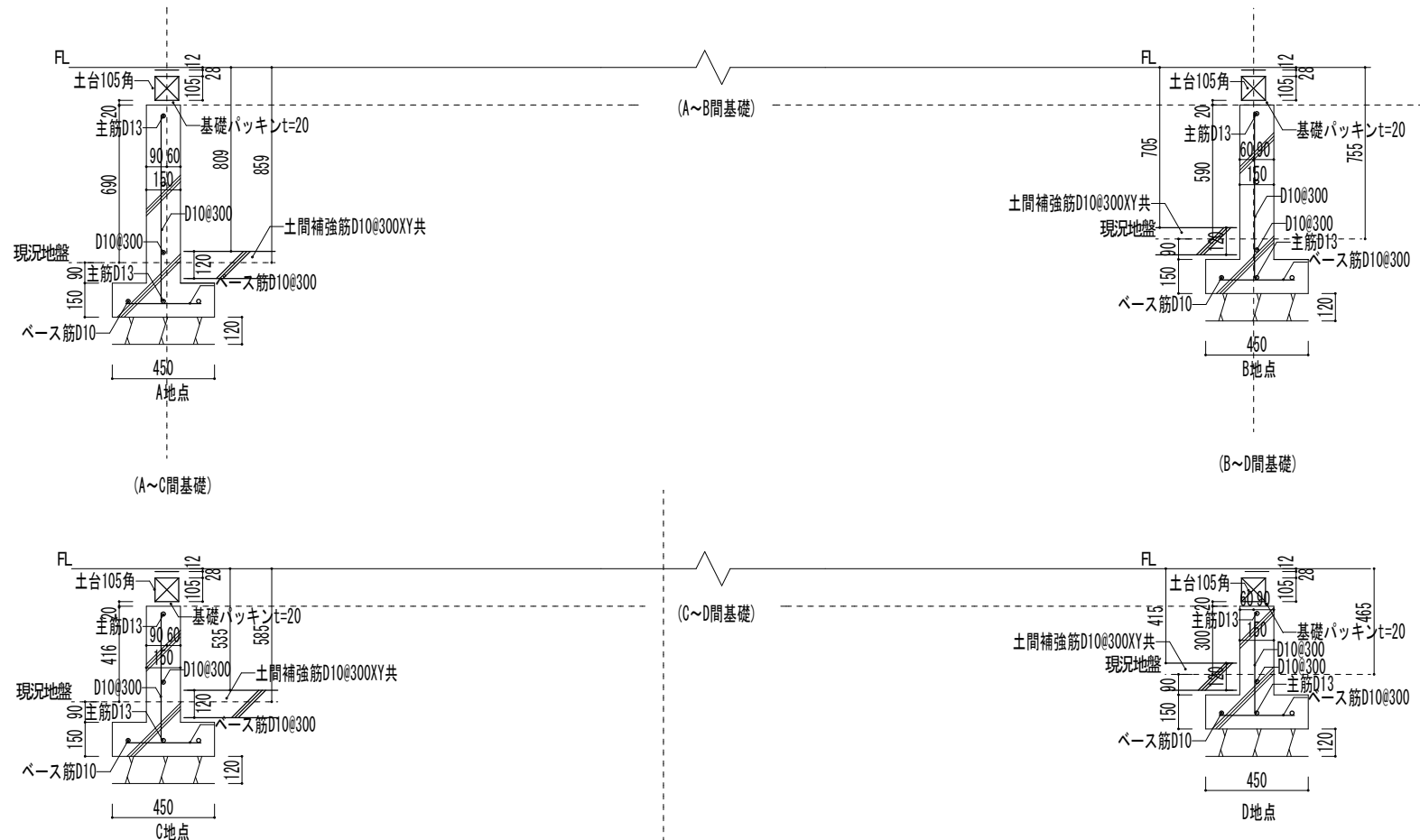
採取ヶ所数 N	1ヶ所	合格判定係数 ka	1.9
設計基準強度 Fc	800 kN/m ²	合格判定値 Xl	2449 kN/m ²

9. 結果及び報告

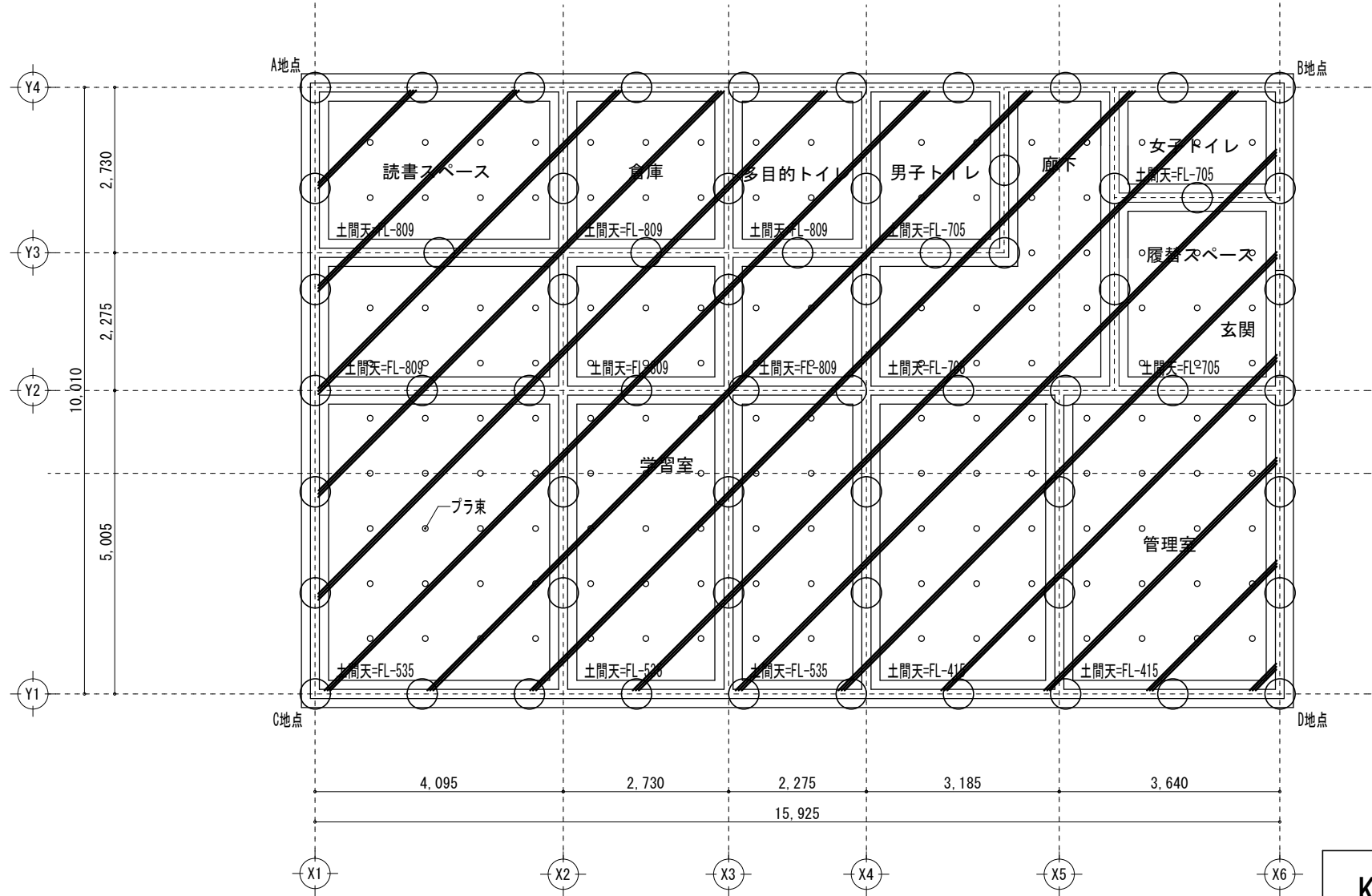
工事完了、品質管理結果確定後、次の項目について 報告書まとめ、正1部 副2部を作成し、すみやかに提出する。

- ①工事内容
②工事日報
③改良施工図
④施工記録表
⑤施工管理写真
⑥品質管理結果
⑦固化材納品票

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事				設計・監理 一級建築士事務所	
				野中建築設計事務所	
				1級建築士第147931号 野中健一	
柱状改良特記仕様書				〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20 TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408	
DW.	C.K.	DATE 07-02	N.O. S-05		



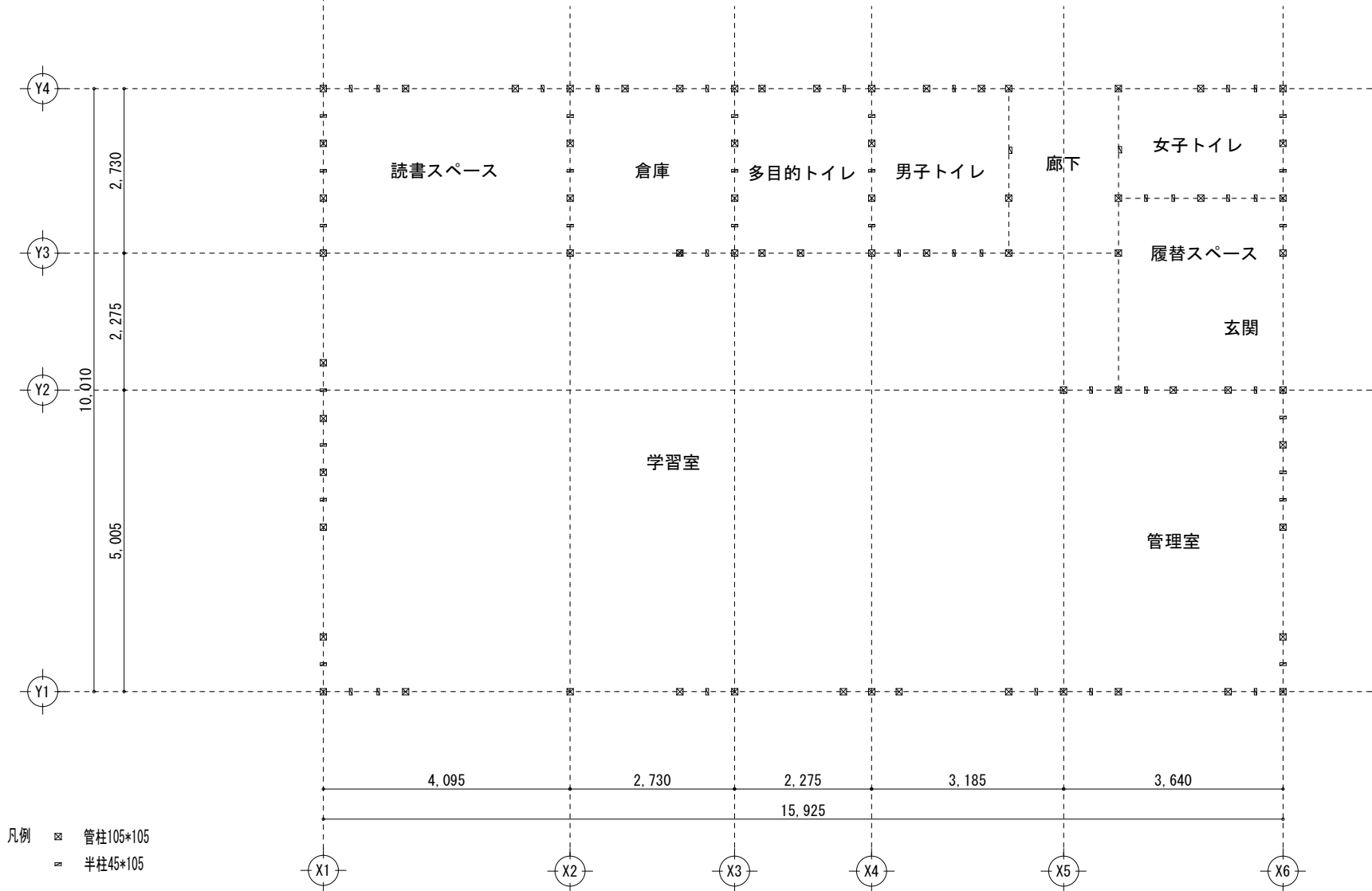
基礎詳細図（布基礎） 1/30



注記 布基礎の立上りは周囲の地盤面より300以上とする。
布基礎の掘入れ深さは周囲の地盤面より240以上とする。

柱状改良伏図 1/100

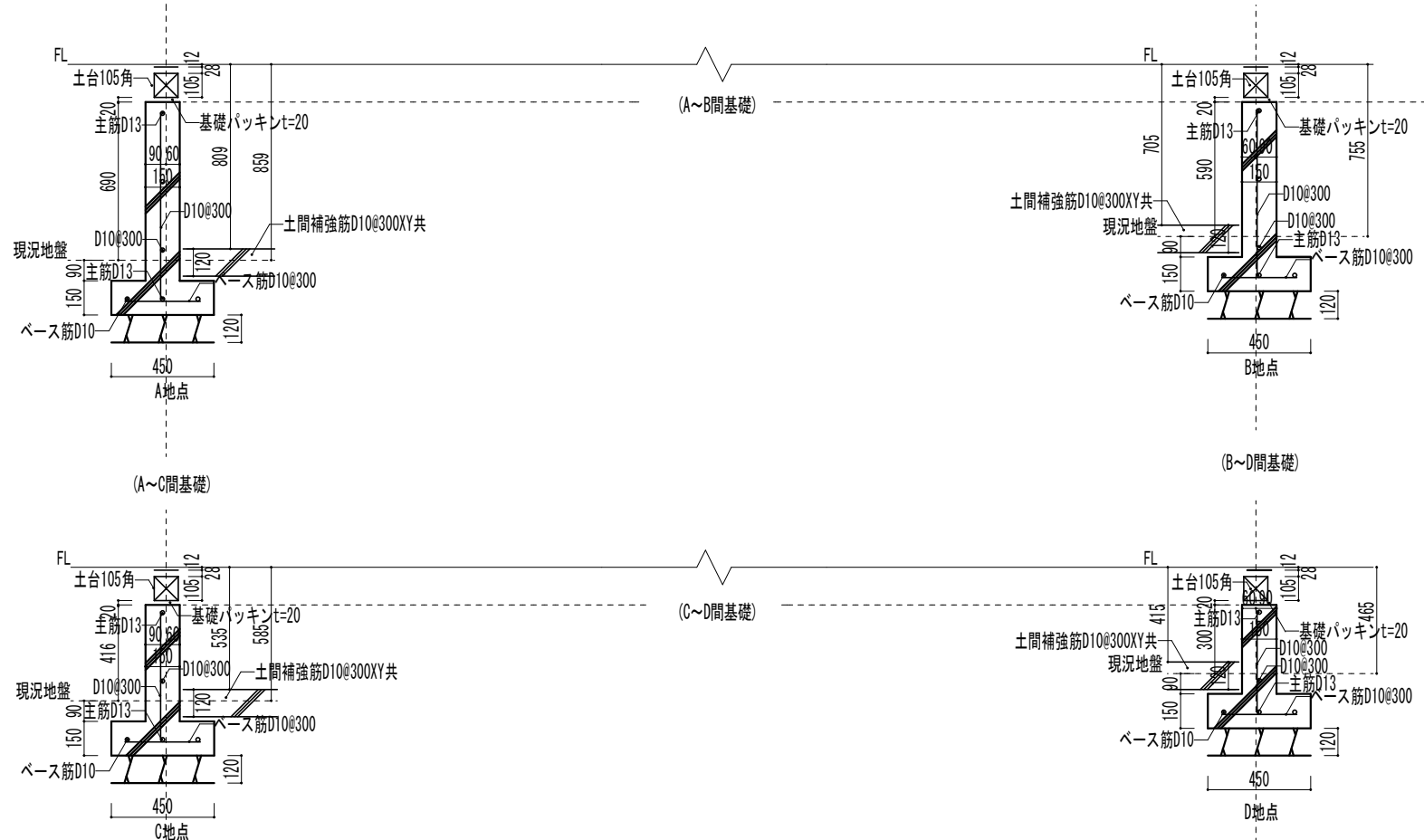
KBM=SGLとする
φ 500mm
L=SGL-2.0m*61本



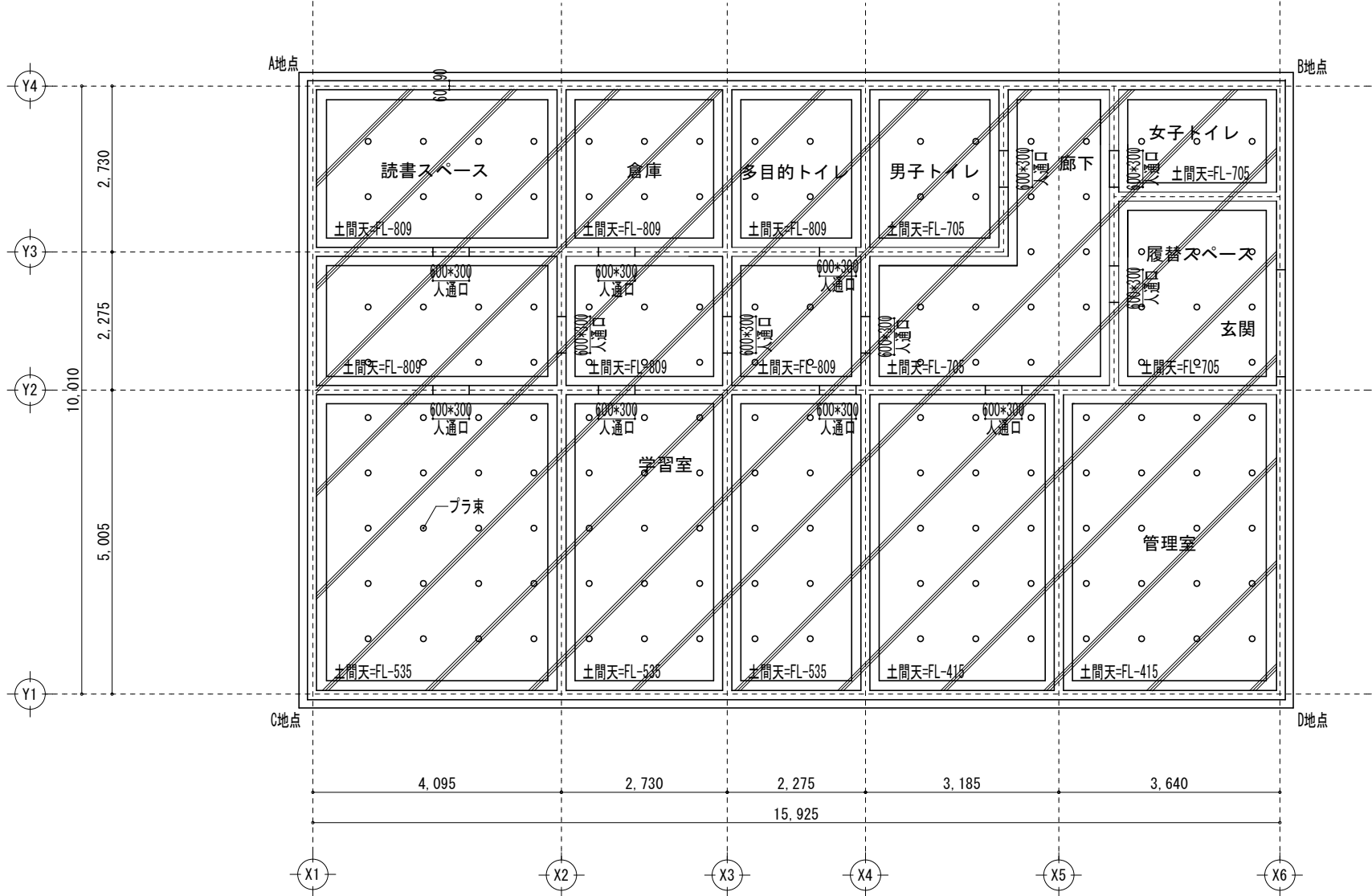
凡例 □ 管柱105*105
○ 半柱45*105

柱伏図 1/100

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事				設計・監理 一級建築士事務所	
				野中建築設計事務所	
1:100 SCALE		SCALE		1級建築士第147931号 野中健一	
柱状改良伏図				〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20	
D.W.	C.K.	DATE	07-02	NO.	S-06
				TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408	

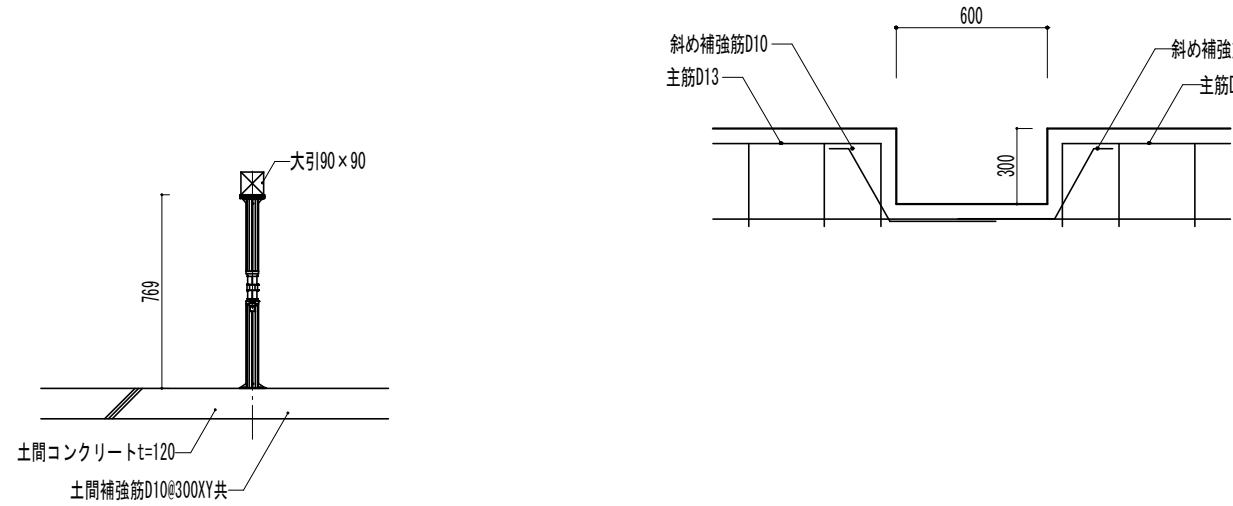


基礎詳細図（布基礎） 1/30



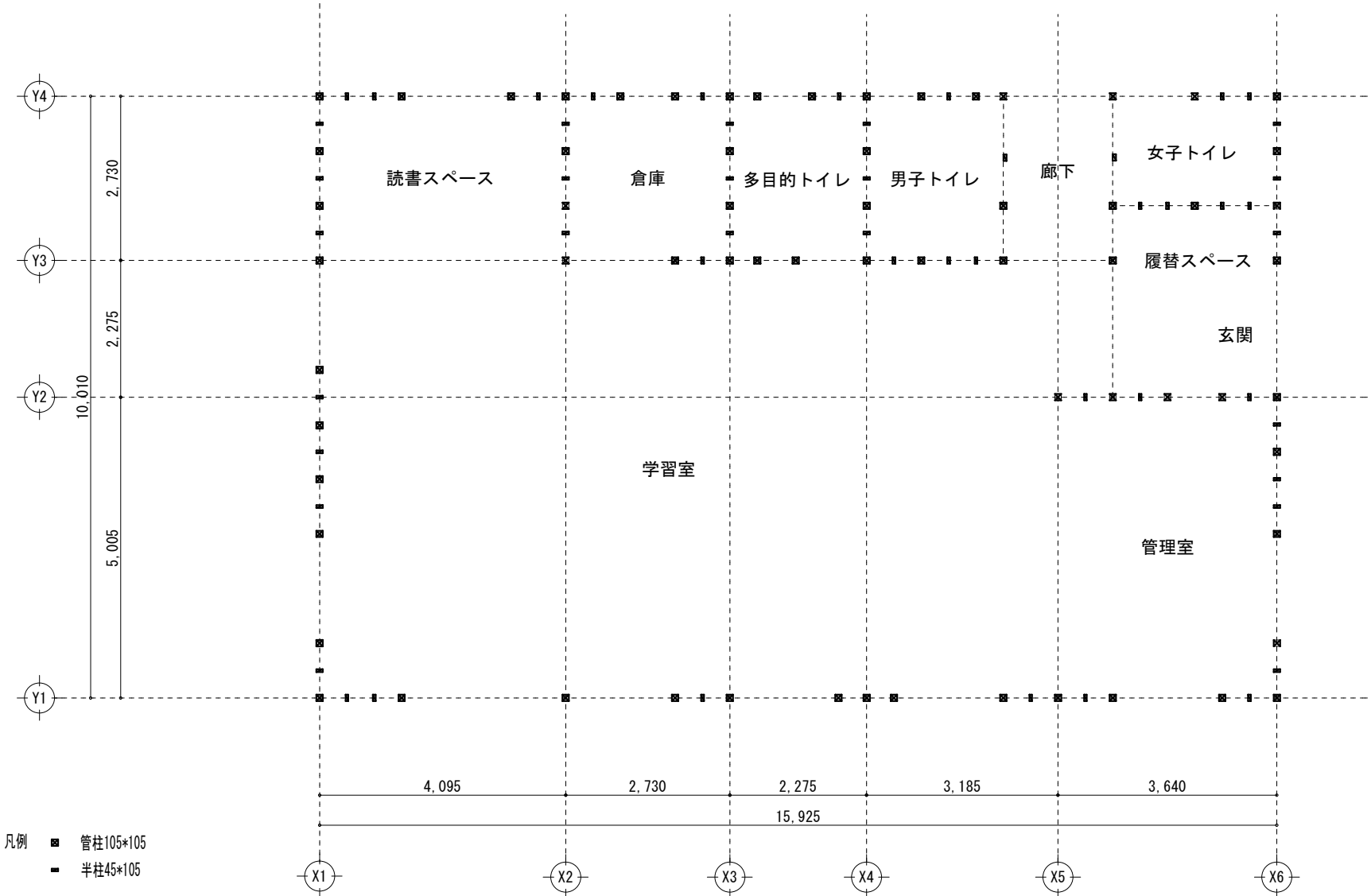
注記 布基礎の立上りは周囲の地盤面より300以上とする。
布基礎の掘入れ深さは周囲の地盤面より240以上とする。

基礎伏図（布基礎） 1/100



人通口詳細図

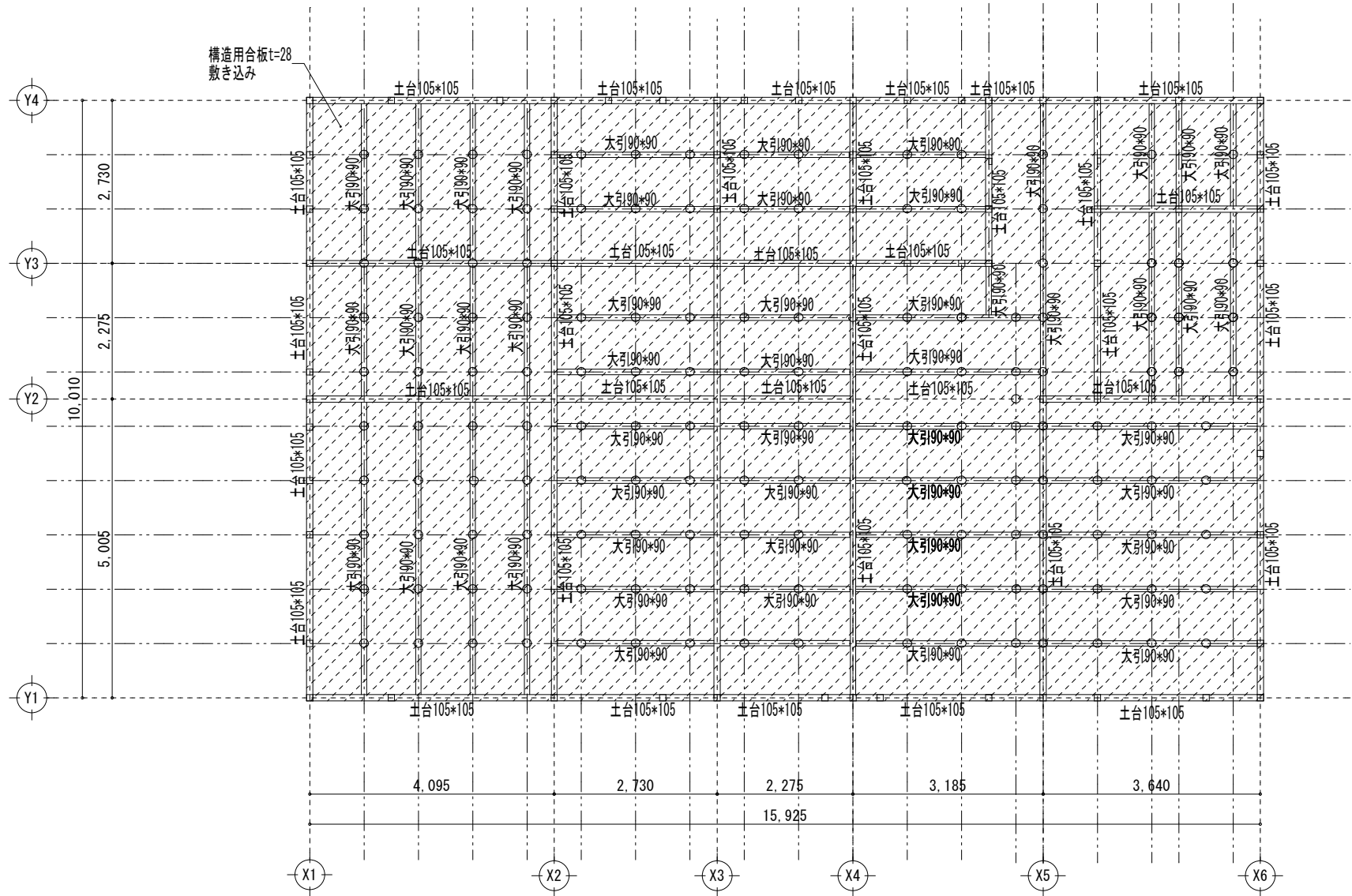
(土間天=FL-809範囲のプラ東詳細)



凡例 ■ 管柱105×105
■ 半柱45×105

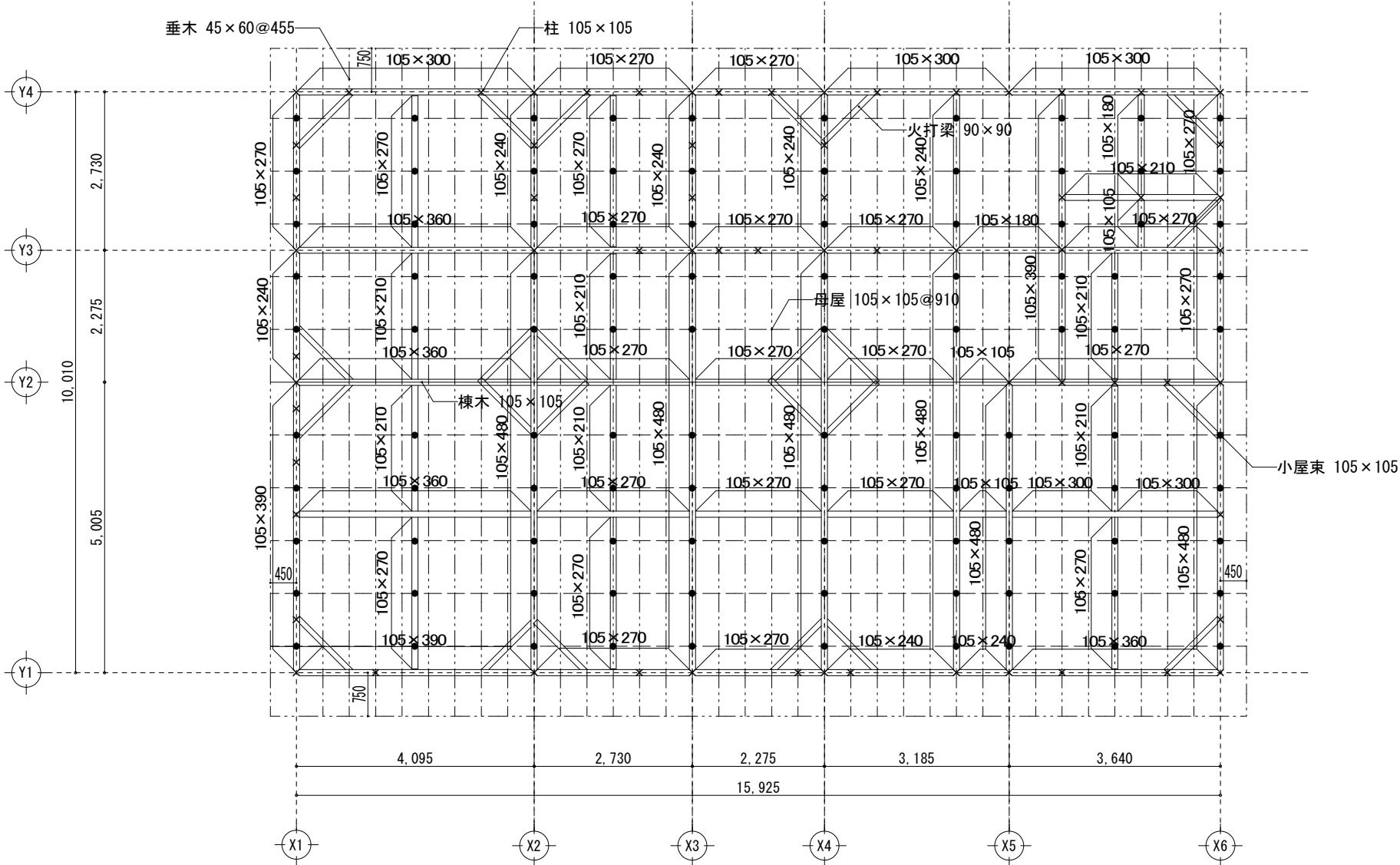
柱伏図 1/100

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事				設計・監理 一級建築士事務所	
1:100	1:30 SCALE	1:100 SCALE	SCALE	野中建築設計事務所	
基礎伏図	基礎詳細図	柱伏図		1級建築士第147931号 野中健一	
DW.	CK.	DATE 07-02	NO. S-07	〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20	
				TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408	

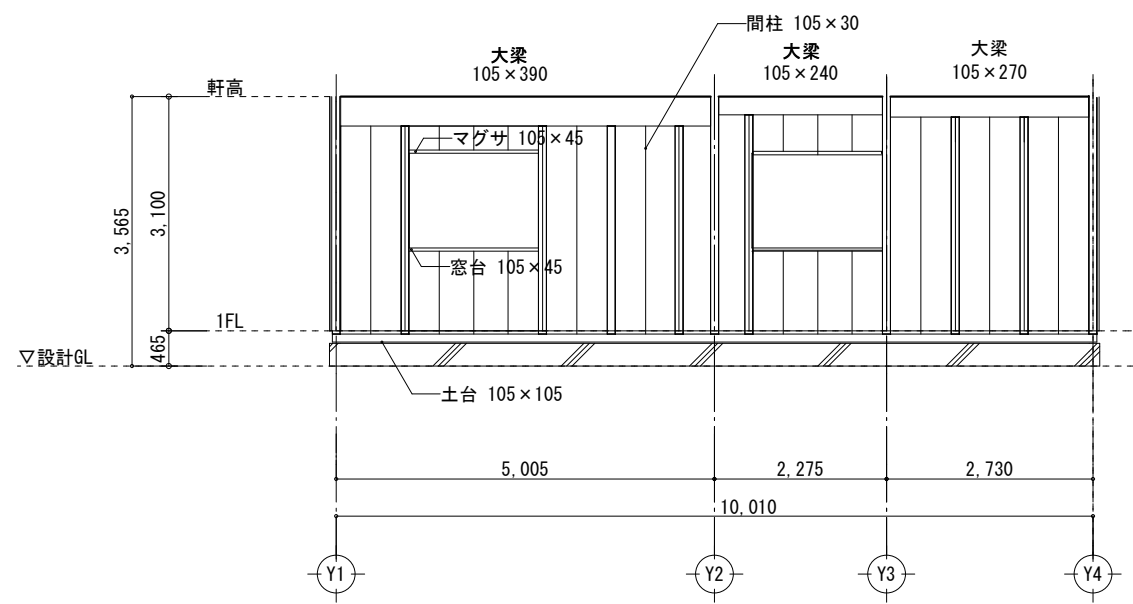


床伏図 1/100

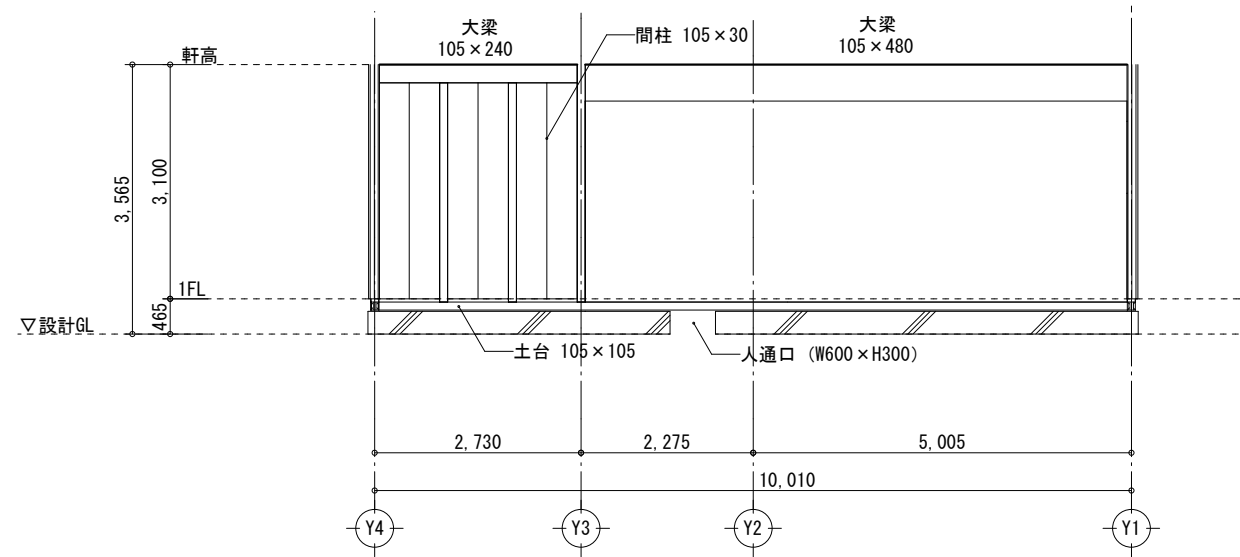
部位	樹種	等級	備考
柱	檜	KD	105角 3本のもの
梁・桁	米松	KD	
小梁・頭繋ぎ	米松	KD	
母屋	米松	KD	
火打梁	米松	KD	
束	米松	KD	
筋違	米松	KD	
垂木	米松	KD	
鼻隠し・ケラバ	米松 14×180	KD	
胴縁	米松 15×45	KD	
野地板	構造用合板 t=12		
壁面材	構造用合板 t=9 耐水仕様		
内壁下地	PG-G t=12.5		
特記事項			
断面、長さは伏図参照			



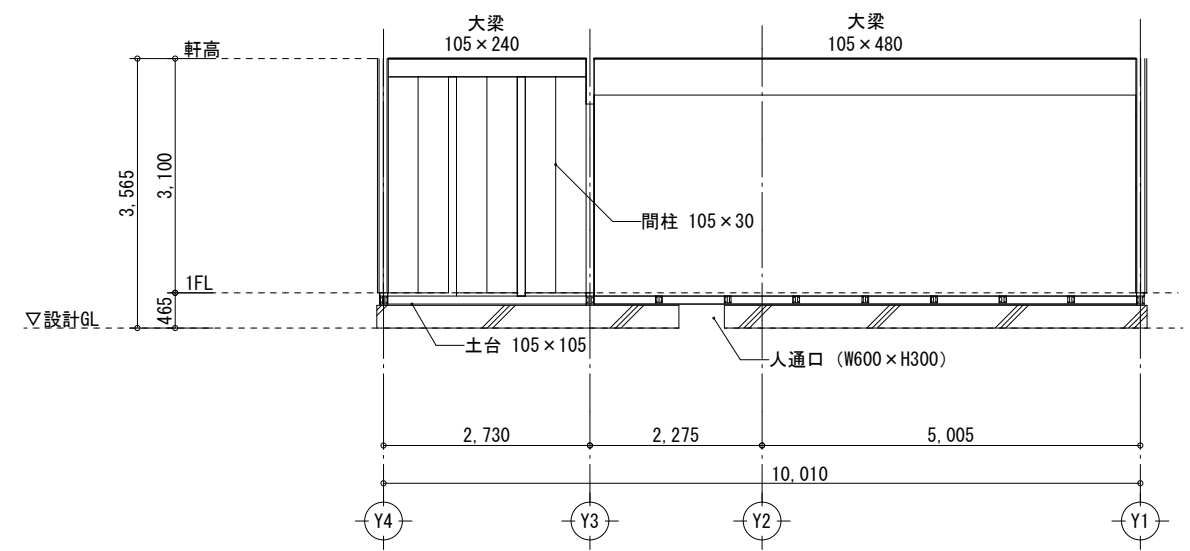
梁伏図兼小屋伏図 1/100



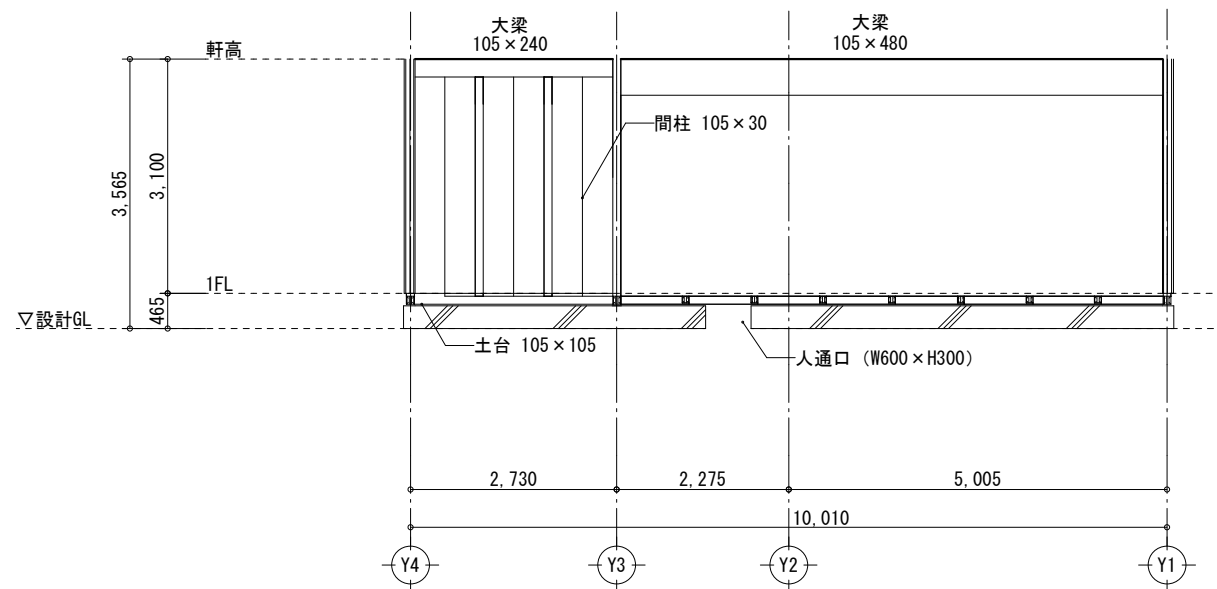
X1木造軸組図 1/100



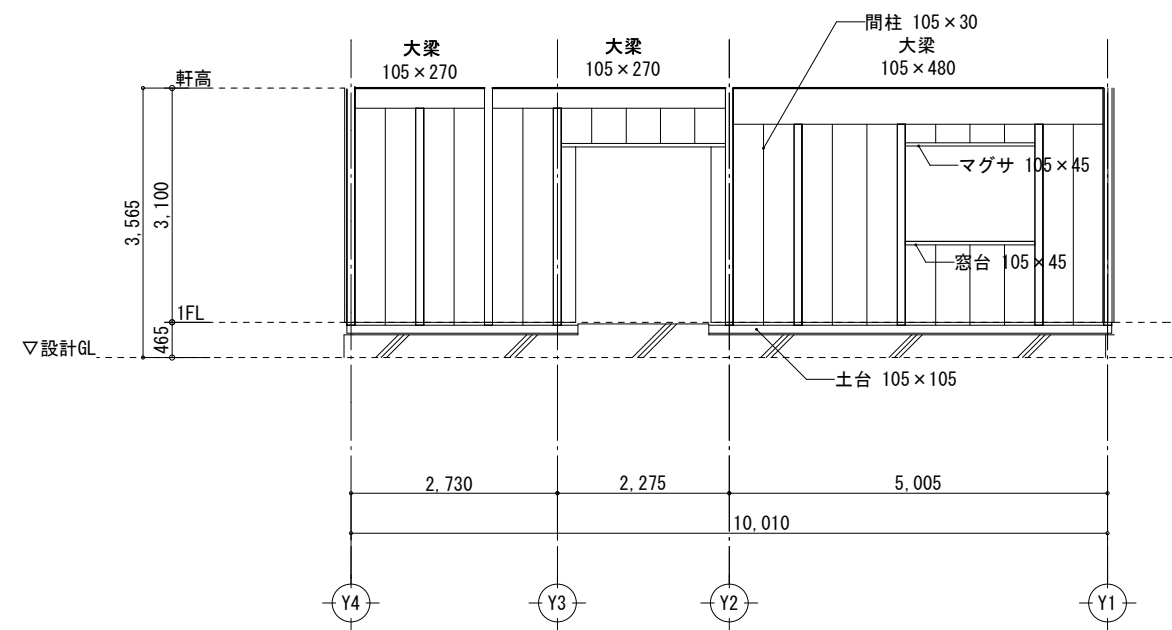
X2木造軸組図 1/100



X3木造軸組図 1/100

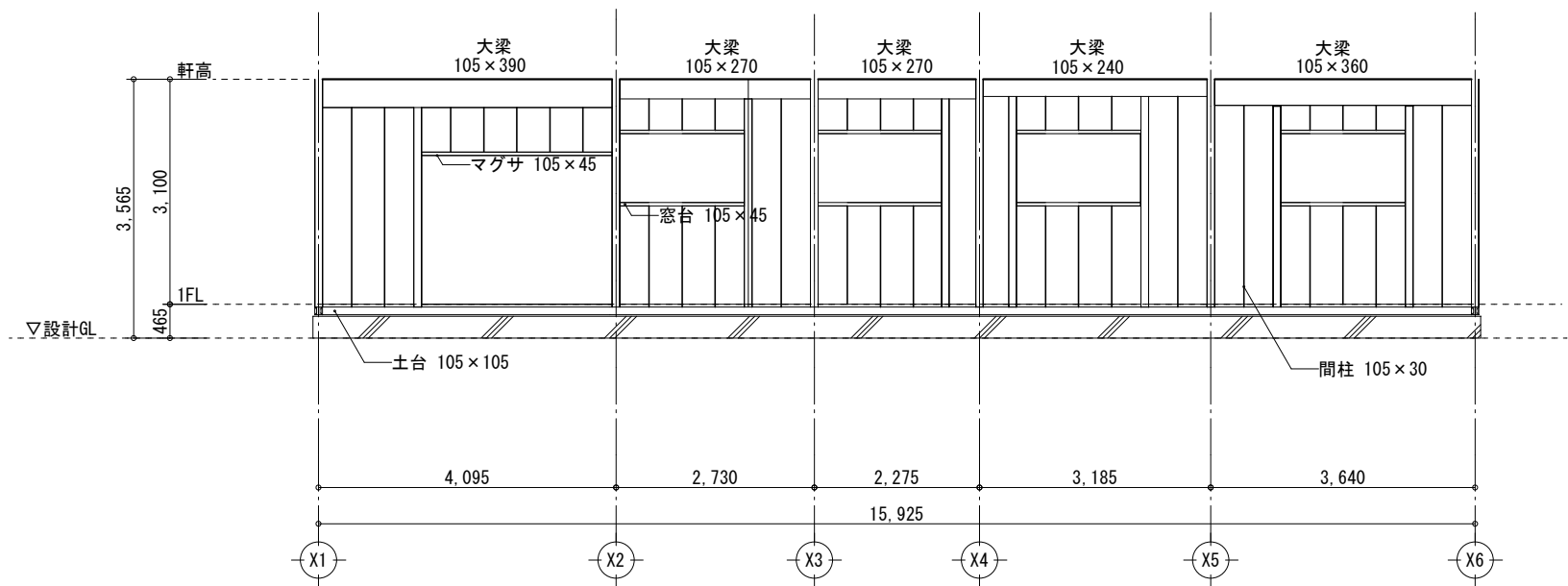


X4木造軸組図 1/100

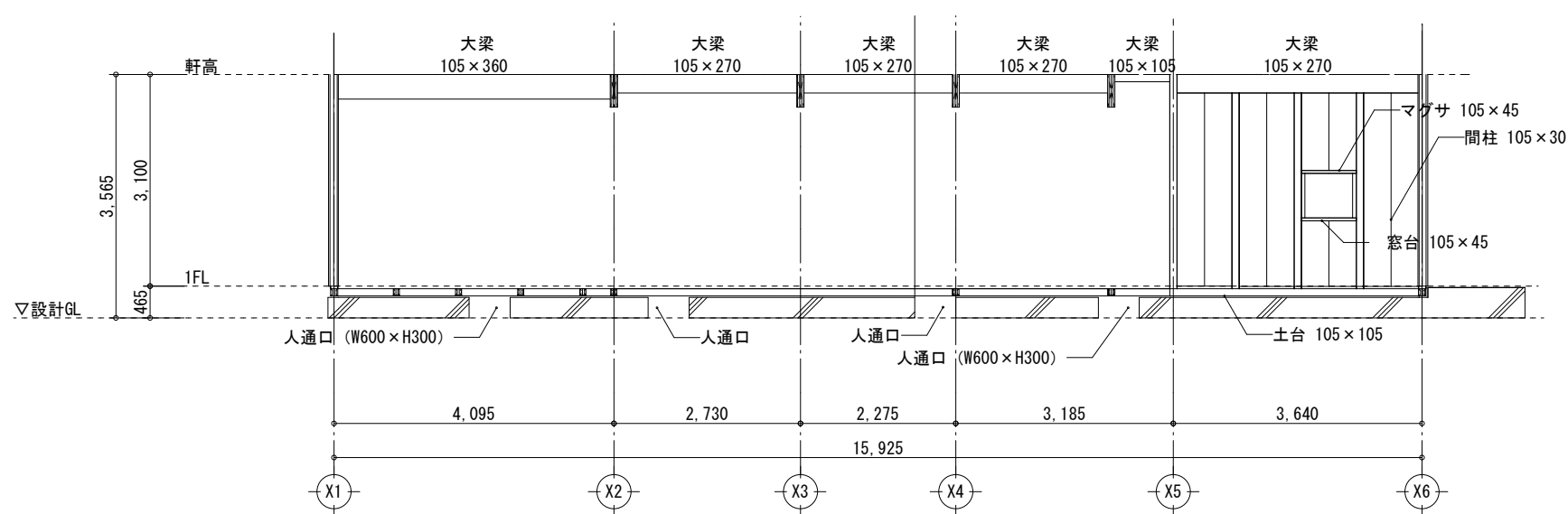


X6木造軸組図 1/100

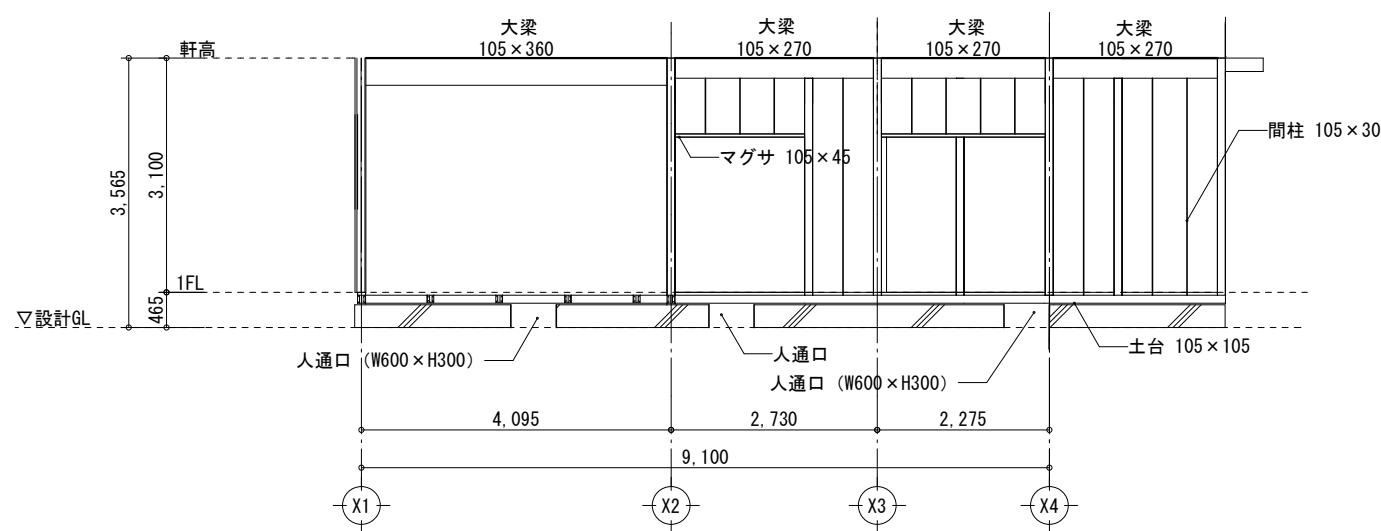
令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事				設計・監理 一級建築士事務所	
1:100	SCALE	SCALE	SCALE	野中建築設計事務所	
軸組図1				1級建築士第147931号 野中健一	
DW.	CK.	DATE 07-02	NO. S-09	〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20	
				TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408	



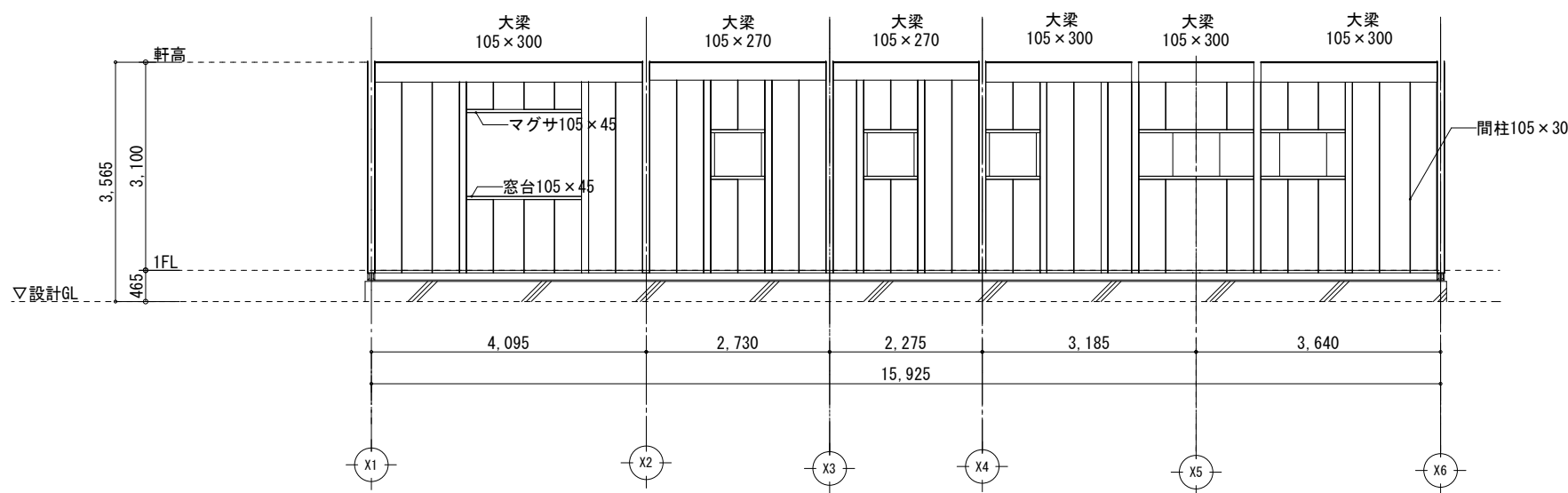
Y1木造軸組図 1/100



Y2木造軸組図 1/100

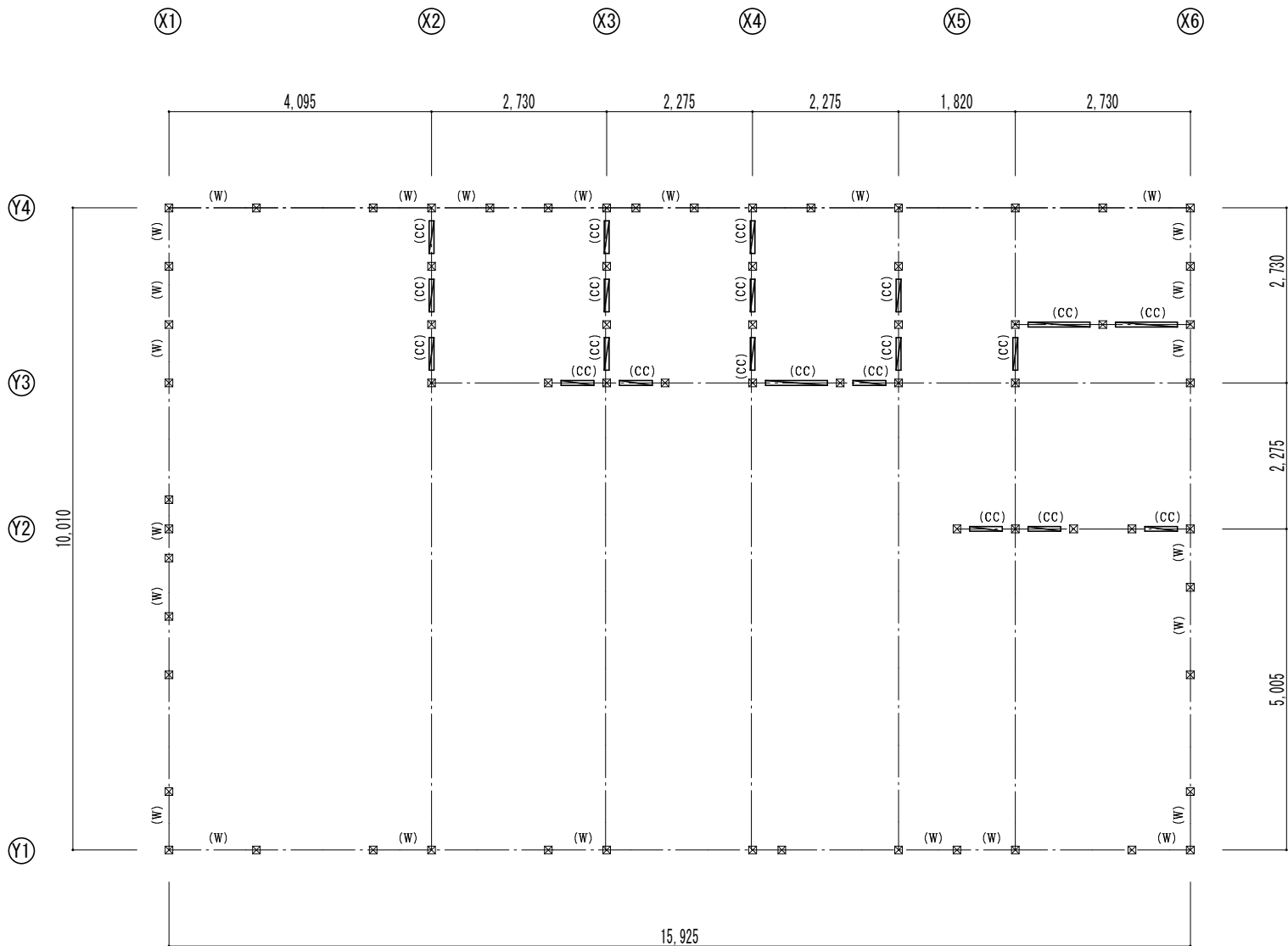


Y3木造軸組図 1/100



Y4木造軸組図 1/100

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事				設計・監理 一級建築士事務所	
1:100		SCALE		SCALE	
軸組図2		SCALE		SCALE	
DW.	CK.	DATE	07-02	NO.	S-10
野中建築設計事務所				1級建築士第147931号 野中健一	
〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20				TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408	



耐力壁・金物伏図 1/100

Zマーク表示金物又は同等認定金物を使用	
柱頭、柱脚金物は同じとする	
特記無き場合は、すじかい付き管柱の柱頭、柱脚にC P-L (ろ) 以上を取り付ける	
柱脚方向を示す	柱頭方向を示す
1階より2階柱脚金物が大きい場合は 1階柱頭金物として取り付ける	
	通し柱 105×105
	管 柱 105×105
アンカーボルトは筋違いつけ付け柱には200mm以内に設置すること(隅柱には120mm内外)	
ホールダウン金物取り付け部のアンカーボルトはA-60、70 (M16) 設置	
筋違いつけ付け部、その他 @1、800内外 (M12) 設置	
*ホールダウン金物は直接基礎に埋め込む。但し、10kN用は土台アンカーとしても良い(土台105角)	
基本的に筋違端部には筋違プレートを取り付ける	

耐力壁の仕様

略称	壁倍率	筋かい区分	仕様
K	0.50		木ずりその他これに類するものを柱及び隅柱の片面に打ち付けた壁を設けた軸組
K K	1.00		木ずりその他これに類するものを柱及び隅柱の両面に打ち付けた壁を設けた軸組
A	1.00		厚さ1.5cm以上幅9cm以上の木材の筋かい又は径9mm以上の鉄筋の筋かいを入れた軸組
B	1.50		厚さ3cm以上幅9cm以上の木材の筋かいを入れた軸組
K A	1.50		木ずり+厚さ1.5cm以上幅9cm以上の木材の筋かいを入れた軸組
K B	2.00		木ずり+厚さ3.0cm以上幅9cm以上の木材の筋かいを入れた軸組
A A	2.00		厚さ1.5cm以上幅9cm以上の木材の筋かいをたすき掛け入れた軸組又は径9mm以上の鉄筋の筋かいをたすき掛けに入れた軸組
C	2.00		厚さ4.5cm以上幅9cm以上の木材の筋かいを入れた軸組
W	2.50		構造用合板等を昭和56年国土交通省告示第1100号別表第1(一)項又は(二)項に定める方法で打ち付けた壁を設けた軸組
K C	2.50		木ずり+厚さ4.5cm以上幅9cm以上の木材の筋かいを入れた軸組
K A A	2.50		木ずり+厚さ1.5cm以上幅9cm以上の木材の筋かいをたすき掛けに入れた軸組
B B	3.00		厚さ3.0cm以上幅9cm以上の木材の筋かいをたすき掛けに入れた軸組
D	3.00		厚さ9cm以上幅9cm以上の木材の筋かいを入れた軸組
K B B	3.50		木ずり+厚さ3cm以上幅9cm以上の木材の筋かいをたすき掛けに入れた軸組
K D	3.50		木ずり+厚さ9cm以上幅9cm以上の木材の筋かいを入れた軸組
C C	4.00		厚さ4.5cm以上幅9cm以上の木材の筋かいをたすき掛けに入れた軸組
W B	4.00		構造用合板+厚さ3cm以上幅9cm以上の木材の筋かいを入れた軸組
K C C	4.50		木ずり+厚さ4.5cm以上幅9cm以上の木材の筋かいをたすき掛けに入れた軸組
W C	4.50		構造用合板+厚さ4.5cm以上幅9cm以上の木材の筋かいを入れた軸組
D D	5.00		厚さ9cm以上幅9cm以上の木材の筋かいをたすき掛けに入れた軸組
W C C	5.00		構造用合板+厚さ4.5cm以上幅9cm以上の木材の筋かいをたすき掛けに入れた軸組
K D D	5.00		木ずり+厚さ9cm以上幅9cm以上の木材の筋かいをたすき掛けに入れた軸組

接合部の仕様 (告示表三に対応)

略称	Nの値	告示表三	必要耐力 kN	金物等 (これらと同等以上の接合方法を含む)
S-HOZO	0.0 以下	(い)	0.0	短ぼぞ差し、かすがい打又はこれらと同等以上の接合方法としたもの
CP-L	0.65以下	(ろ)	3.4	長ぼぞ差し込み栓打若しくは、L字形かど金物くぎCN65×5本
CP-T	1.0 以下	(は)	5.1	T字形かど金物くぎCN65×5本、山形プレート金物くぎCN90×8本
HAGOITA	1.4 以下	(に)	7.5	羽子板ボルトφ12mm、短冊金物
HAGOITA-S	1.6 以下	(ほ)	8.5	羽子板ボルトφ12mmに長さ50mm径4.5mmのスクリー釘
SHD-10	1.8 以下	(へ)	10.0	10kN用引き寄せ金物
SHD-15	2.8 以下	(と)	15.0	15kN用引き寄せ金物
SHD-20	3.7 以下	(ち)	20.0	20kN用引き寄せ金物
SHD-25	4.7 以下	(り)	25.0	25kN用引き寄せ金物
SHD-30	5.6 以下	(ぬ)	30.0	30kN用引き寄せ金物
2-(SHD-15)	5.6 超	—	N×5.3	N×5.3以上となる金物を使用する
	5.6 以下	(ぬ)	30.0	15kN用引き寄せ金物を2組用いたもの

電気設備工事特記仕様書 No.2

章	項 目	特 記 事 項
電力貯蔵設備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○直流電源装置	用途 ○建築基準法用 ○消防法用 ○受変電設備専用 その他 ○過放電防止保護装置（直流不足電圧継電器）の設定電圧は、90Vとする。
発電設備	○交流無停電電源装置（UPS）	用途（ 方式 ○一般形 ○簡易形
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
電 機 設 備	○形式	○オープン形 ○簡易形 ○キュービクル
	○連続運転可能時間	○10時間（乙） ○72時間（甲） ○
発 電	○発電機	電気方式 三相3線式 電 圧 ○210V ○6.6kV ○415V 定格出力 kVA以上 力率 0.8
	○原動機	種 別 ○ガスタービン ○ディーゼル機関 ○ガスエンジン ○マイクロガスタービン ○燃料電池 ○コージェネレーション 定格出力 kW（ PS）以上 始動方式 ○電気式 ○空気式 冷却方式 ○ラジエーター式 ○水循環環式 現地負荷試験 ○行う ○行わない
電 機 設 備	○燃料	種類 ○重油 ○軽油 ○灯油 ○ガス（ ） ○燃料小出槽 注 ○主燃料槽 注
	○監視方式	○警報盤による代表監視 ○中央監視盤による監視
電 機 設 備	○太陽光発電装置	太陽電池 アレイ 公称最大出力 kW以上 設置可能建築面積 m ² 以下（長辺 m x 短辺 m） 系統連系 ○受動 ○能動 パワーコンディショナ出力 相 線式 V kW以上 逆潮流 ○有 ※無 交流出力電圧 ○100V ○200V 出力電気方式 ○三相3線式 ○単相3線式 ○単相2線式
	○外部移相	○有 ○無
通信機設備	●工事範囲	●配管 ●配線 ●機器取付（モジュラージャックのみ）
	●施工方法	○金属管配線 ●ケーブル配線 ●合成樹脂管配線
構内交換設備	●工事範囲	●配管 ○配線 ○機器取付
	○保安器用接地	○本工事 ○別途工事
情報表示設備	○形式	○電子交換機 ○ボタン電話装置
	○工事種類	○マルチサイン装置 ○出退表示設備 ○時刻表示設備
映像装置	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○親時計及び付属装置	○CR -P M ○CW -P M ○プログラムタイマ（○カード式 ○キー式 ○ ）
拡声設備	○子時計	特記なきものは ○SWA ₃₃ -GrB ₂ ○
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
誘導支援設備	○施工方法	○金属管配線 ○ケーブル配線 ○合成樹脂管配線
	●工事範囲	●配管 ●配線 ●機器取付 ●既設設備に接続
テレビ共用受信設備	○増幅器	用途 ●全館放送用（○一般放送 ●非常放送） ○ローカル放送用 ●自動放送はアッテネーターを経由した回路とする。
	○スピーカ	特記なきものは ○SC ₂ Hi-1V ₃ -M ●変図参照
誘導支援設備	●工事範囲	●配管 ●配線 ●機器取付
	●工事内容	○音声誘導装置 検出方式（○磁気式 ○無線式 ○画像認識） ○インターホン ○電話式 ○相互式 ●テレビインターホン ●親機に子機カメラ角度調整機能（上下）を設ける。 ●同時通話 ●トイレ等呼出し装置 ●1窓 ○3窓 ○5窓 ○ ●変図参照 呼出しボタン ○壁付ボタン（プルスイッチの長さは0.2m程度とする） ○壁付握りボタン（握りボタンの長さは1.2m程度とする） ○通話機能 ○受付呼出し装置 ○誘導音
テレビ共用受信設備	●工事範囲	●配管 ●配線 ●機器取付
	●アンテナ	○UHF用 ○BS用 ○CS用 ○AM用 ○FM用 ●既設設備に接続
テレビ共用受信設備	○アンテナマスト	○壁面取付形 ○自立形 ○配管用ステンレス鋼鋼管 ○一般構造用炭素鋼鋼管（溶融亜鉛メッキ仕上げ） ○圧力配管用炭素鋼鋼管（溶融亜鉛メッキ仕上げ）
	○電界強度測定	電界強度及び面質は、最上階が仕上がったときに、アンテナ取付予定位置、またその周辺で測定し、その測定記録を監督職員に速やかに提出すること。 測定チャンネルは、監督職員と協議する。

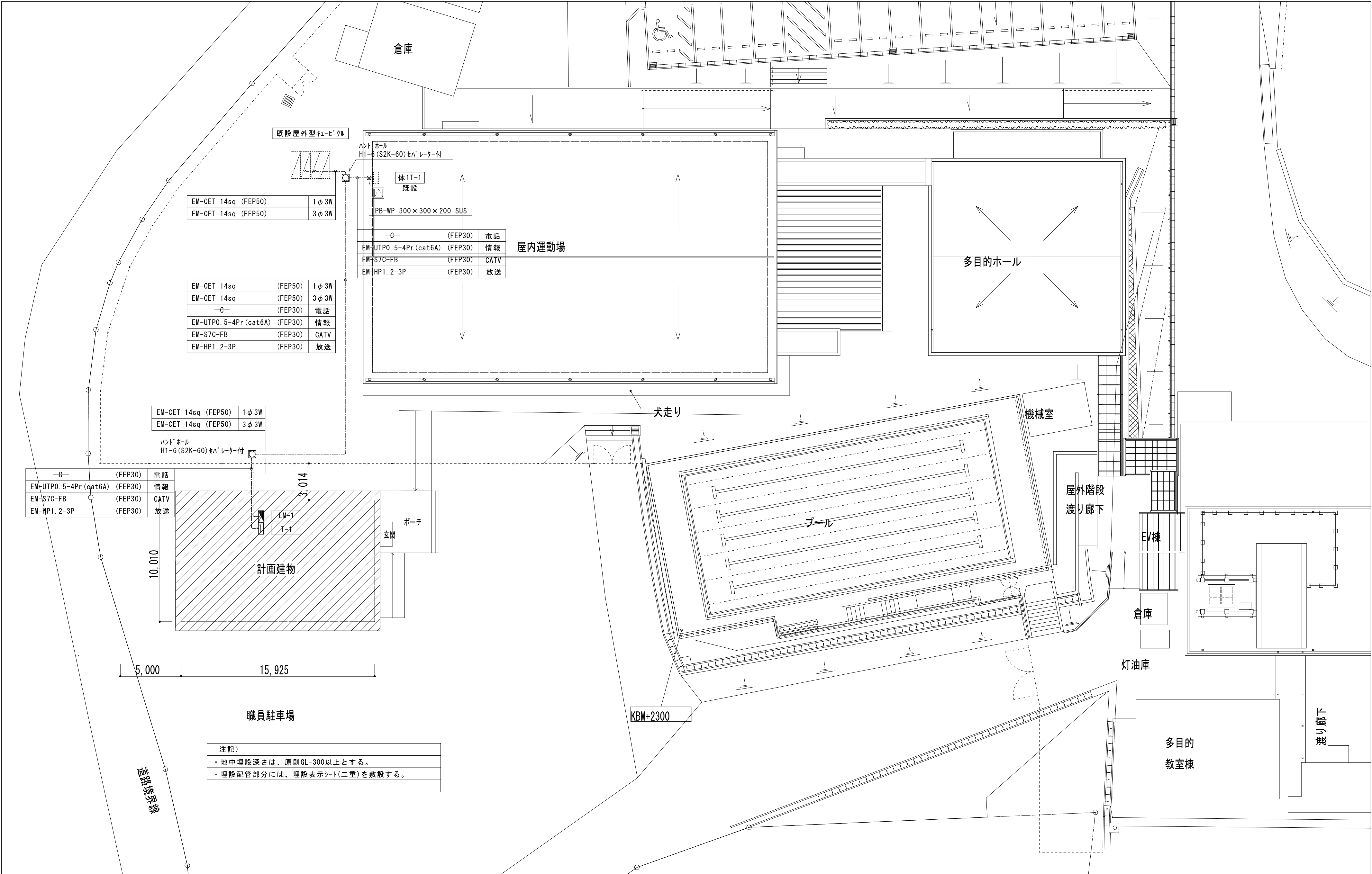
章	項 目	特 記 事 項
監視カメラ設備	●工事範囲	●配管 ●配線 ●機器取付
	●画像	●カラー ○白黒 ●変図参照
管制設備	○伝送方式	○ネットワーク伝送方式 ○デジタル同軸伝送方式 ○
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
管制設備	○車両検出方式	○ループコイル方式 ○光線方式
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
防火報知設備	○工事種類	○機械警備用配管 ○防犯装置 ○入退室管理制御装置
	○自動火災報知装置	○工事範囲 ○配管 ○配線 ○機器取付 ○受信機 ○形 級 回線 ○壁掛形 ○自立形 ○単独形 ○複合形 ○割受信機 窓 ○盤面に消火ポンプ運転表示灯を設ける。 ○光警報装置 ○ ○消火ポンプ始動 ○消火栓箱内押ボタン ○発信機と連動（総合盤に始動表示灯を設ける。） ○機器収容箱 ○消火栓一体形 ○単独形 ○工事範囲 ○配管 ○配線 ○機器取付 ○運動制御器 回線 【予備電源（蓄電池）内蔵】 ○単独 ○自火報受信機と一体 ○自動閉鎖装置 ○防火戸用【DC24V ○.6A以下電磁式またはラッチ式】 ○防煙ダンパ用 遠方復帰機構（電動式）DC24V ○.7A以下 ○防火シャッター用 【別途工事 DC24V ○.6A以下】
防火報知設備	●非常警報装置	●工事範囲 ●配管 ●配線 ●機器取付 ○電気方式 DC24V ●電源装置 ●非常電源（蓄電池） ○自動火災報知設備と兼用 ○工事範囲 ○配管 ○配線 ○機器取付 ○受信機 ○単独形 ○自火報受信機と一体 ○ガスの種類 ○都市ガス（13A） ○液化石油ガス
	○ガス漏れ火災警報装置	○工事範囲 ○配管 ○配線 ○機器取付 ○受信機 ○単独形 ○自火報受信機と一体 ○ガスの種類 ○都市ガス（13A） ○液化石油ガス
中央監視設備	○諸警報表示	受信機に諸警報表示窓（ 窓）を設ける。
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
中央監視設備	○監視方式	○警報盤 ○監視制御装置
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
医療関係設備	○非接地電源用分電盤	キャビネット ○鋼製 ○ステンレス製
	○ナースコール装置	トイレ及び浴室等の呼出押ボタン ○有線式 ○無線式 ○防潮 ○防湿
医療関係設備	○その他	○オプション等の試験は、監督職員の指示による。
	●工事範囲	●配管 ●配線 ●機器取付
電 機 設 備	●電気方式	高圧 ○三相3線式 6kV 低圧 ●三相3線式 200V ○ ●単相3線式 100/200V ○単2線式（○100V ○200V）
	●ふ設方式	●地中線 ●管路式 ●波付硬質合成樹脂管（FEP） ○ポリエチレン被覆管（PLP） ○埋設深さ 特記なきものはGL（舗装がある場合は、舗装下面）から300mm以上とする。 ○架空線 電柱 ○遠心力プレストレストコンクリートボール ○高圧負荷開閉器 7.2kV 300A 用途 ○架空引込用 ○地中引込用 構 ○耐中塩じん用 ○耐重塩じん用 形式 ○引外し装置付き（SOG形） ○引外し装置なし ○避雷器内蔵 ○制御電源用変圧器内蔵
電 機 設 備	○区分開閉器	○高圧負荷開閉器 7.2kV 300A 用途 ○架空引込用 ○地中引込用 構 ○耐中塩じん用 ○耐重塩じん用 形式 ○引外し装置付き（SOG形） ○引外し装置なし ○避雷器内蔵 ○制御電源用変圧器内蔵
	●マンホール及びハンドホール	構造・寸法 ○標準図による ●図示による。 蓋の文字 ●蓋の用途表示は電力とする。 ○ ハンドホールにおいてもケーブル支持材を設ける。 ケーブルが直接接触しない場合の金物は、接地を省略してもよい。
電 機 設 備	○高压ケーブル	屋外に使用する高压ケーブルはEM-高压架構ポリエチレンケーブルは、JCS 4395「6600V 架構ポリエチレンケーブル（3層押出型）」に（※よる ○よらない）
	○余長	高压ケーブルは、受変電設備までの配線経路中、1ヶ所以上で3m余長をとる。
電 機 設 備	○端子、高压ケーブル	○一般用 ○耐塩用 ○重耐塩用
	○末端処理	○屋外形 ○耐塩形 ○装柱材 ○一般用 ○耐塩形 ○外灯 基礎 ○本工事 ○別途工事 ○外灯ボールの材質が鋼製（SPC）の場合で特記がない場合は溶融亜鉛メッキとし、指定色塗装とする。
構内通信線路	●工事範囲	●配管 ●配線 ○機器取付
	●ふ設方式	●地中線 ●管路式 ●波付硬質合成樹脂管（FEP） ○ポリエチレン被覆管（PLP） ○埋設深さ 特記なきものはGL（舗装がある場合は、舗装（表層）下面）から300mm以上とする。 ○架空線 電柱 ○遠心力プレストレストコンクリートボール
構内通信線路	●マンホール及びハンドホール	構造・寸法 ○標準図による ●図示による。 蓋の文字 ●蓋の用途表示は通信とする。 ○ ハンドホールにおいてもケーブル支持材を設ける。 ケーブルが直接接触しない場合の金物は、接地を省略してもよい。

章	項 目	特 記 事 項
調査	○調査範囲	○測定のみ ○対策工事実施設計書作成まで
	○測定時期	○工事前 ○工事中 ○完成後
調査	○測定箇所	箇所
	○測定内容	受信可能な全チャンネルとし、結果報告書を提出する。

別表 1 付属品・予備品

○イージーキャビネット	箱	○キーボックス	○テスター	○マンホールフック
○工具箱（ドライバー、モンキーレンチ、組スパー、ハンマー）				
受変電設備・盤	ランプ及びヒューズの予備品は、20%とする。			

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事				設計・監理 一級建築士事務所	
NON		SCALE		SCALE	
電気設備特記仕様書 (NO-2)				野 中 建 築 設 計 事 務 所	
DW.		CK.		1級建築士第147931号 野中健一	
DATE		07-02		NO. E-02	
				〒622-0014 京都府南丹市国府町上本町南2-20	
				TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408	



注記)	
・	地中埋設深さは、原則GL-300以上とする。
・	埋設配管部分には、埋設表示シート(二重)を敷設する。

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事				設計・監理 一級建築士事務所	
1/200		SCALE		SCALE	
配置図		SCALE		SCALE	
DW.	CK.	DATE	07-02	NO.	E-03
野中建築設計事務所				1級建築士第147931号 野中健一	
〒622-0014 京都府南丹市国部町上本町南2-20				TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408	

既設屋外型キュービクル改修図



既設受変電設備低圧盤

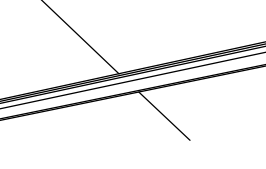
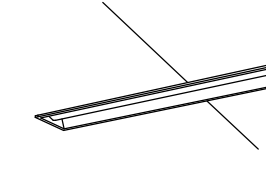
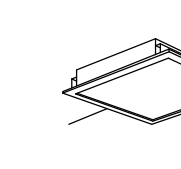
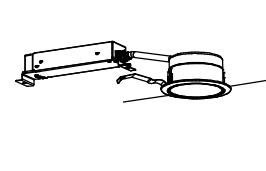
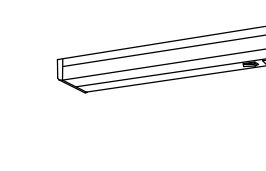
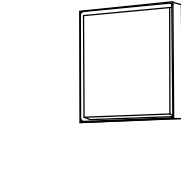


改修受変電設備低圧盤

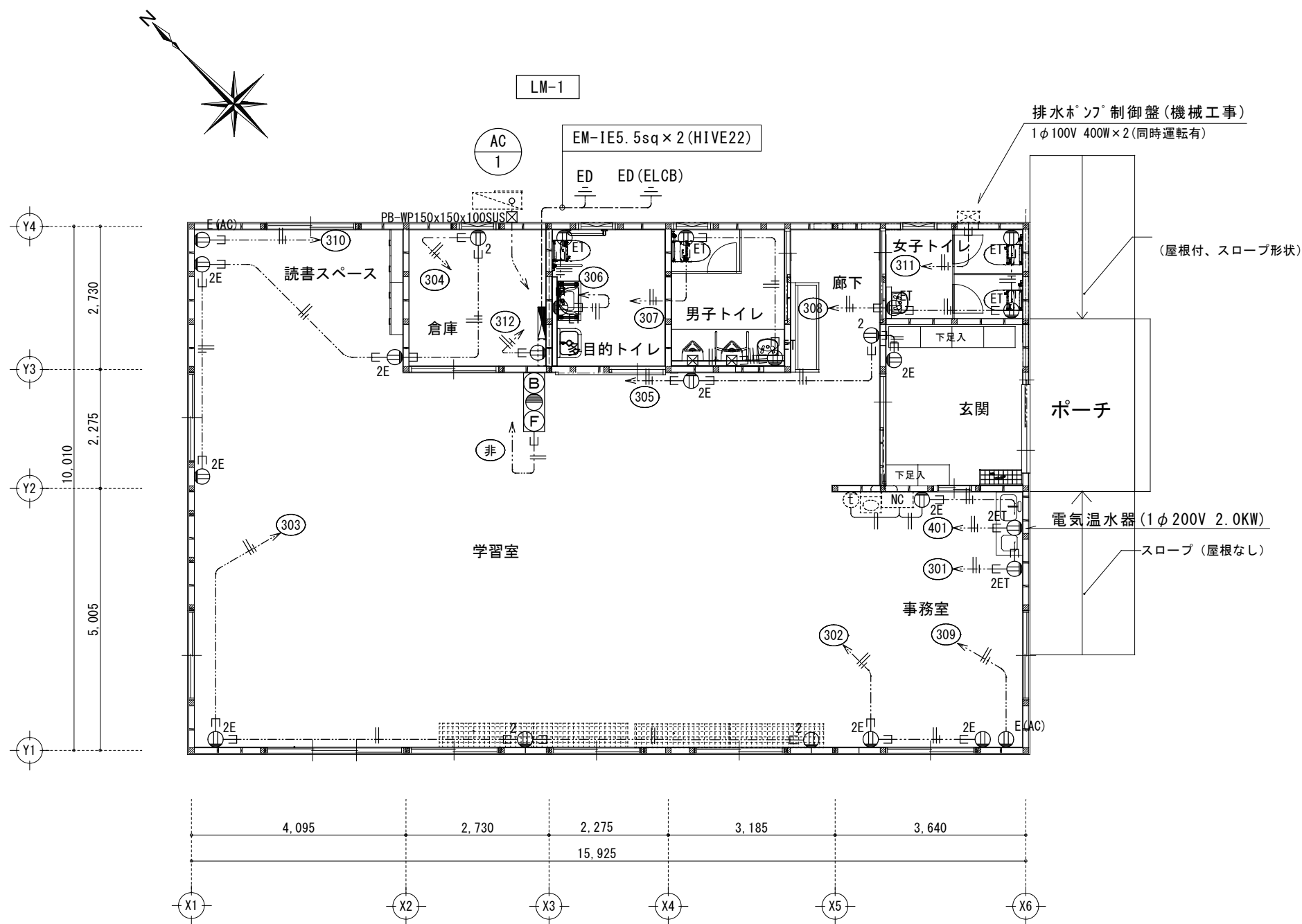
改修内容

- (1) 既設キュービクル内電灯低圧盤の(L-7)の
既設開閉器MCCB3P100AFをMCCB3P50AF50ATに取替え
放課後児童クラブ用電源とする。
- (2) 既設キュービクル内動力低圧盤の(P-5)の
既設開閉器MCCB3P100AFをMCCB3P50AF50ATに取替え
放課後児童クラブ用電源とする。

盤名称	幹線記号 回路種別	回路構成及び 主開閉器容量	回路	開閉器容量	電圧	負荷名称	負荷容量 (VA)					リモコン リレー	備	考
							電灯	差込	空調換気	専用負荷	合計			
LM-1 T 屋内壁掛型	3φ3W 210V 60Hz (P-5)			ELCB3P50/40A	200	学習室エアコン				5950				
			非	MCCB2P1E30/20A	100	非常警報				100				
	1φ3W 210/105V 60Hz (L-7)		101	ELCB2P2E30/20A	100	学習室	630		400					
			102	ELCB2P2E30/20A	100	倉庫・便所・玄関・外部	120		400					
			301	ELCB2P2E30/20A	100	事務室		500						
			302	MCCB2P1E30/20A	100	事務室		400						
			303	MCCB2P1E30/20A	100	学習室		300						
			304	MCCB2P1E30/20A	100	学習室・倉庫		400						
			305	MCCB2P1E30/20A	100	学習室・玄関		300						
			306	ELCB2P2E30/20A	100	多目的便所				1200				
			307	ELCB2P2E30/20A	100	男子便所				600				
			308	ELCB2P2E30/20A	100	女子便所				600				
			309	ELCB2P2E30/20A	100	エアコン				1000				
			310	MCCB2P1E30/20A	100	エアコン				1000				
			311	ELCB2P1E30/20A	100	排水ポンプ制御盤				800				
			312	MCCB2P1E30/20A	100	端子盤				200				
			313	MCCB2P1E30/20A	100	予備								
			314	MCCB2P1E30/20A	100	予備								
			401	ELCB2P2E30/20A	200	電気温水器				2000				
			402	MCCB2P2E30/20A	200	予備								
						AC回路計	750	1,900	800	7,400			合計	10,850 VA

A LDシリーズ埋込型40形 下面開放型 W150	B LDシリーズ埋込型40形 下面開放型 M150	C LEDスクエアベースライト 埋込型
公共施設型番 LRS6-4-65  一般タイプ、6900lmタイプ 消費電力43.1W、定格出力型、電圧100~242V 本体：亜鉛銅板 反射板：銅板（高反射白色粉末塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵 パナソニック 埋込XLX460PENTLE9	公共施設型番 LRS6CGA-4-25  一般タイプ、3200lmタイプ 消費電力20.6W、定格出力型、電圧100~242V 本体：亜鉛銅板 反射板：銅板（高反射白色粉末塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵 パナソニック 埋込XLX430PENTLE9	公共施設型番 LRS9-4-45  □450、乳白パネル、調光可能タイプ（約10~100%） 定格出力型、消費電力34W、電圧100~242V 光束維持率40000時間（光束維持率85%） 本体・枠：銅板（高反射白色粉末塗装） パネル：ポリカーボネート（乳白） 昼白色、5000K、Ra83 パナソニック 埋込XL573PFVKLA9
D ダウンライト 60形	E LEDキッチンライト20形直管蛍光灯1灯器具相当	F ブラケット 60形電球1灯相当
公共施設型番 LRS1-05  LED内蔵<フコア（ひと粒）タイプ>、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 5000K、Ra85、拡散タイプ 光源光束15度、光束維持率40000時間（光束維持率85%） 器具光束：610lm、消費電力4.2W、電圧：100~242V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板（下部）：銅板（ホワイトつや消し仕上） 枠：銅板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ100 パナソニック ダウンライトXND0639WNL9	公共施設型番 LRS1-05  昼白色（5000K）、Ra83 器具光束980lm、消費電力12W、電圧100V 拡散タイプ、コンセント付 カバー：プラスチック（乳白） スイッチ付、両面化粧タイプ パナソニック LGB52096LE1	公共施設型番 LRS1-05  LEDフラットランプφ70 クラス700 1灯（口金GX53-1） 昼白色（5000K）、Ra83、光源寿命40000時間（光束維持率70%） 器具光束420lm、消費電力7.7W、電圧100V 防雨型、ツマミネジ方式、壁置付型、拡散タイプ アルミダイカスト（防錆ブラケット）、カバー：アクリル（乳白） W=225 H=225 出し115 パナソニック ブラケットXLGE8031CE1

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事				設計・監理	一級建築士事務所
NON		SCALE		SCALE	
盤単線結線図・照明器具姿図				野中建築設計事務所	
DW.		CK.		1級建築士第147931号 野中健一	
DATE		07-02		NO. E-04	
				〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20 TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408	

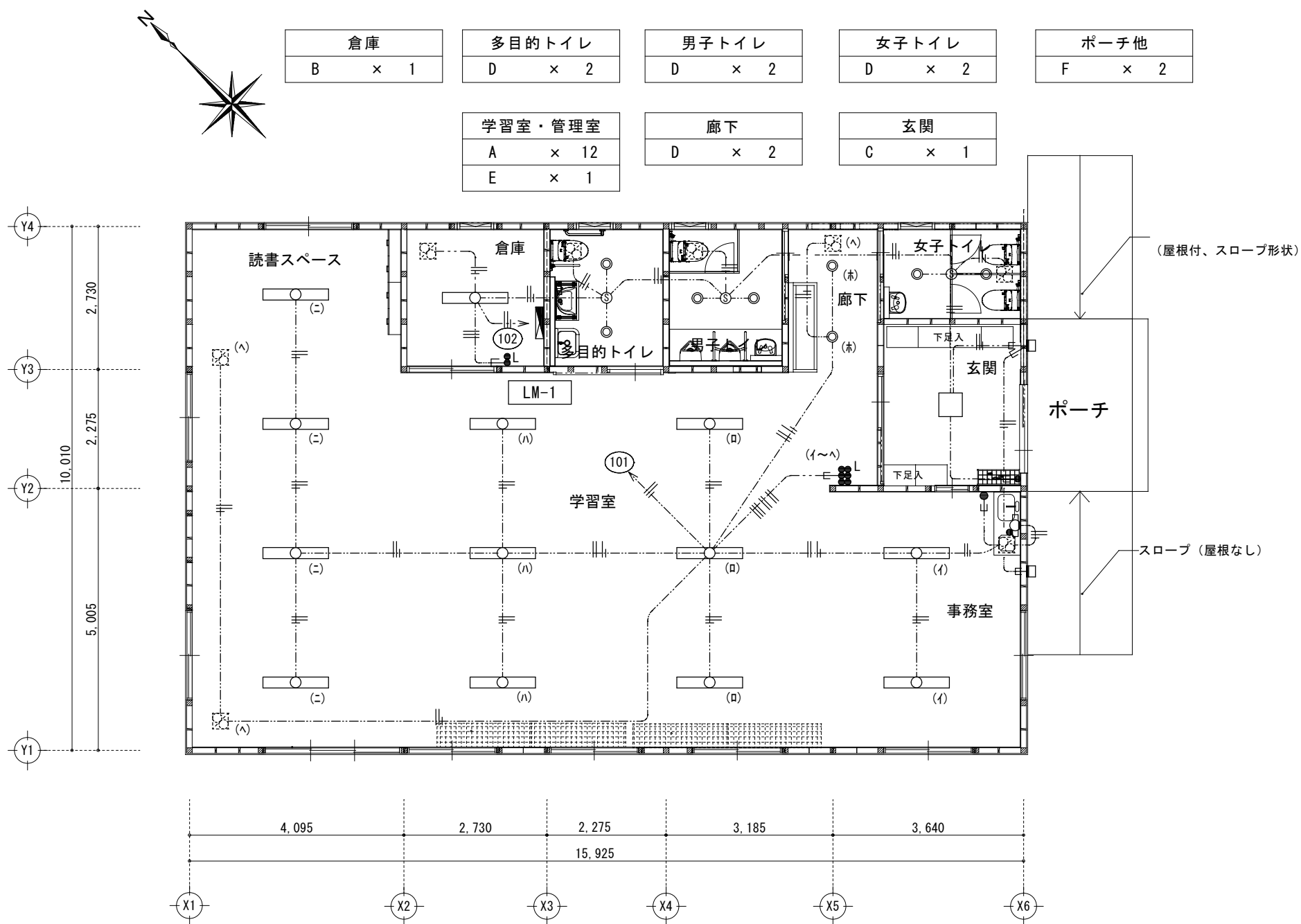


延べ床面積 157.76㎡

平面図 1/100

注記）明記なき配管配線は、下記に準ずる。		
コンセント設備		
	EM-EEF 2.0-2C	(天井内コカシ)
	EM-EEF 2.0-3C (1E)	(天井内コカシ)
	EM-EEF 2.0-2C	(PF22) 隠蔽
・二重天井内はケーブルコカシ工事とし、壁面立上がり、立ち上がり部分は適合PF管にて保護する事。		

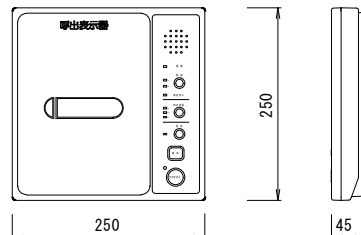
機器名称	電源種別・容量及び配管配線
	空冷ヒートポンプハグケシエアコン 3φ200V 5.95KW 18.2A (MAX33.7A) EM-CE 5.5sq-4C (1E) (G22) (F ₂ 24WP) (天井コカシ)

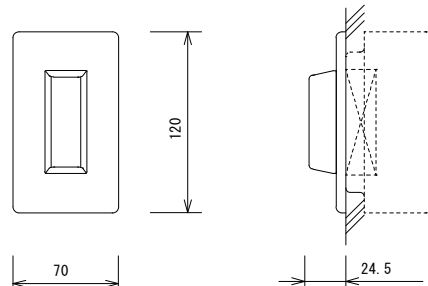


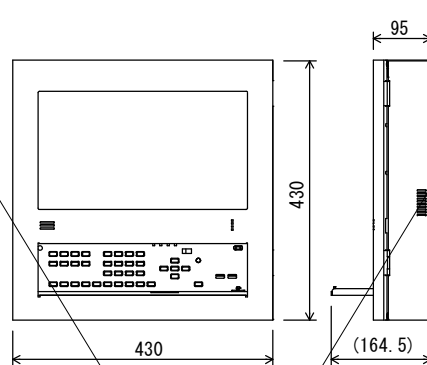
延べ床面積 157.76㎡

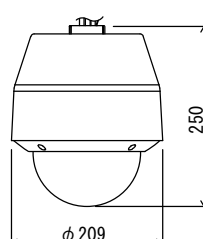
平面図 1/100

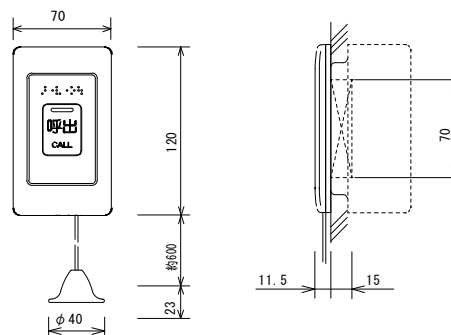
注記）明記なき配管配線は、下記に準ずる。		
電灯設備		
	EM-EEF 1.6-2C	(天井内コカシ)
	EM-EEF 1.6-3C	(天井内コカシ)
	EM-EEF 1.6-2C x 2 + 3C	(天井内コカシ)
	EM-EEF 1.6-3C (1E)	(天井内コカシ)
	EM-EEF 1.6-2C x 2 (1E)	(天井内コカシ)
・分電盤より第1ボックスまでは2.0mmとする。		
・二重天井内はケーブルコカシ工事とし、壁面立上がり、立ち上がり部分は適合PF管にて保護する事。		

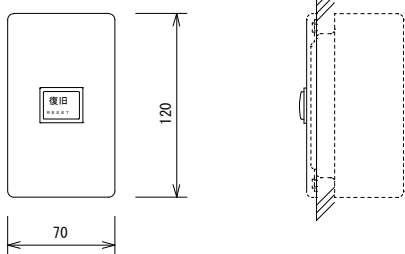
■	呼出表示器・壁掛形（1窓）	IRP-1B
		
形 状	壁掛形	
材 質	カバー、ケース：AES樹脂、シャーシ：銅板製	
呼出表示灯	LED（赤）	
呼出音	電子メロディー（8種）／トレモロ音／チャイム音	
呼出種別	一般呼出、緊急呼出	
操作スイッチ	復旧、呼出音停止、呼出音量、転送、設定	
電 源	AC-6C100V 50／60Hz、最大7W（待機時2W）	
備 考	バラ表示／転送受入機能	

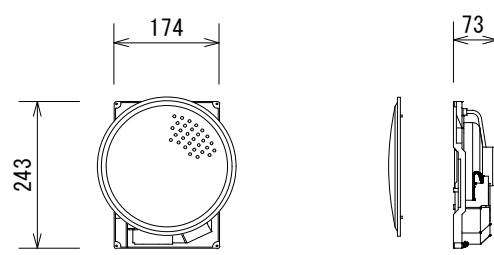
●	代表廊下灯	BL-673U／8
		
形 状	壁埋込形（JIS1個用スイッチボックスカバー付）	
プレート	ABS	
表示灯	表示灯カバー：ポリカーボネート	
	LED、DC8V	

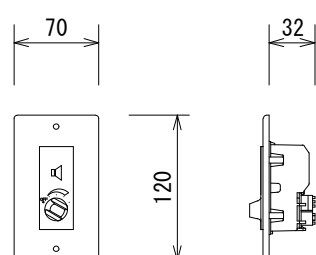
☐	壁掛型AHDレコーダー（将来対応）	AH-R108PW2
		
電源	AC100V 50／60Hz	
カメラ電源供給	定電圧直置方式（NTSCカメラ／AHDカメラ）	
映像モニター	15.6型カラー液晶モニター	
画像圧縮方式	H.264（MPEG-4 AVC）	
画像サイズ（解像度）	AHD方式：1920×1080、1280×720 NTSC方式：944×480	
入力	カメラ×8、音声×8、センサー×8、制御×3	
出力	HDMI（映像・音声出力）、コントロール×8、制御×3	
スポット出力	NTSCのライブ映像またはHDMI出力と同じ映像選択可	
RS-485端子	1系統	
記録メディア	ハードディスク 2TB（2TB×1）	
画面表示	1画面、4／6／9分割、シーケンス、他	
総録画レート	240ips	
セキュリティ機能	ユーザーID（最大18名）とパスワード認証	
ネットワークソフト	最大64台のデジタルレコーダー遠隔監視可	
その他	プリ・ポスト・緊急録画、モーション検知、メール送信、遠隔通知、即時、イベントポップアップ	
	Webサーバー、マウス可、UPS連動	

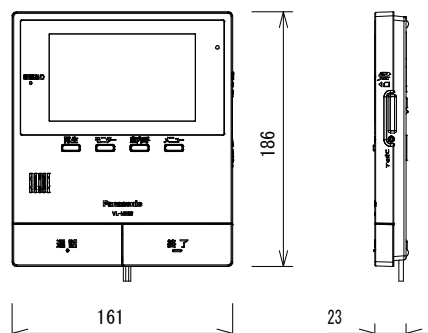
⊕	屋外AHDコンビネーションカメラ（将来対応）	AH-C1701
		
電源	AC100V 50／60Hz	
撮像素子	1／2.8型CMOS 213万画素	
カメラ出力	1系統 AHD BNC	
AHD信号フォーマット	1920×1080 30p	
最低被写体照度	0.007lx （50％、白黒、他、換算値）	
カメラ制御	RS-485／同軸多重	
防塵・防水性能	IP66	
その他	プリセット数：255、 プライバシーマスク、 デイナイト、電子ズーム12倍、 光学ズーム30倍	

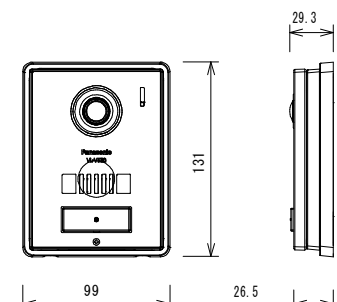
■	呼出押ボタン（引きひも付）	BT-312ZR
		
形 状	壁埋込形（JIS1個用スイッチボックスカバー付）	
プレート／握り	抗菌樹脂	
確認灯	LED（赤）	
呼出ボタン	ノンロック式	
点 字	よびだし	
備 考	JIS C-0920 1P×5（防噴流形）適合	

●	復旧ボタン	BR-302RAU
		
形 状	壁埋込形（JIS1個用スイッチボックスカバー付）	
プレート	ABS	
復旧ボタン	ノンロック式	

⊙	天井埋込スピーカー	公共施設型番 SC4Hi-1V0-M
		

⦶	音量調整器	公共施設型番 V-1S
		

①	カラーモニタ親機	VL-ME50K
		
定 格	AC・6C100V（50/60Hz）	
消費電力	待機時：約1.4W、動作時：約8.5W（約0.18 A）	
質 量	約540g	
画面表示	約5型ワイドカラー液晶ディスプレイ	

①	カラーカメラ付玄関子機	VL-V530L-S
		
電源電圧	待機時：DC 約5 V 動作時：DC 約20V（ドアホン親機より供給）	
消費電流	待機時：DC 約2mA、動作時：DC 約130mA	
質 量	約220g	
外觀色調	シルバー	
取付方法	露出型：JIS1 個用スイッチボックス適合	

DW.	CK.	DATE	07-02	NO.	E-06
-----	-----	------	-------	-----	------

設計・監理	一級建築士事務所 野中建築設計事務所 1級建築士第147931号 野中健一 〒622-0014 京都府南丹市国部町上本町南2-20 TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408				
-------	---	--	--	--	--

令和7年度 京丹波町立放課後児童クラブのびのび2組新築工事

NON

SCALE

SCALE

SCALE

弱電設備姿図・端子盤表

DW.

CK.

DATE

07-02

NO.

E-06

設計・監理

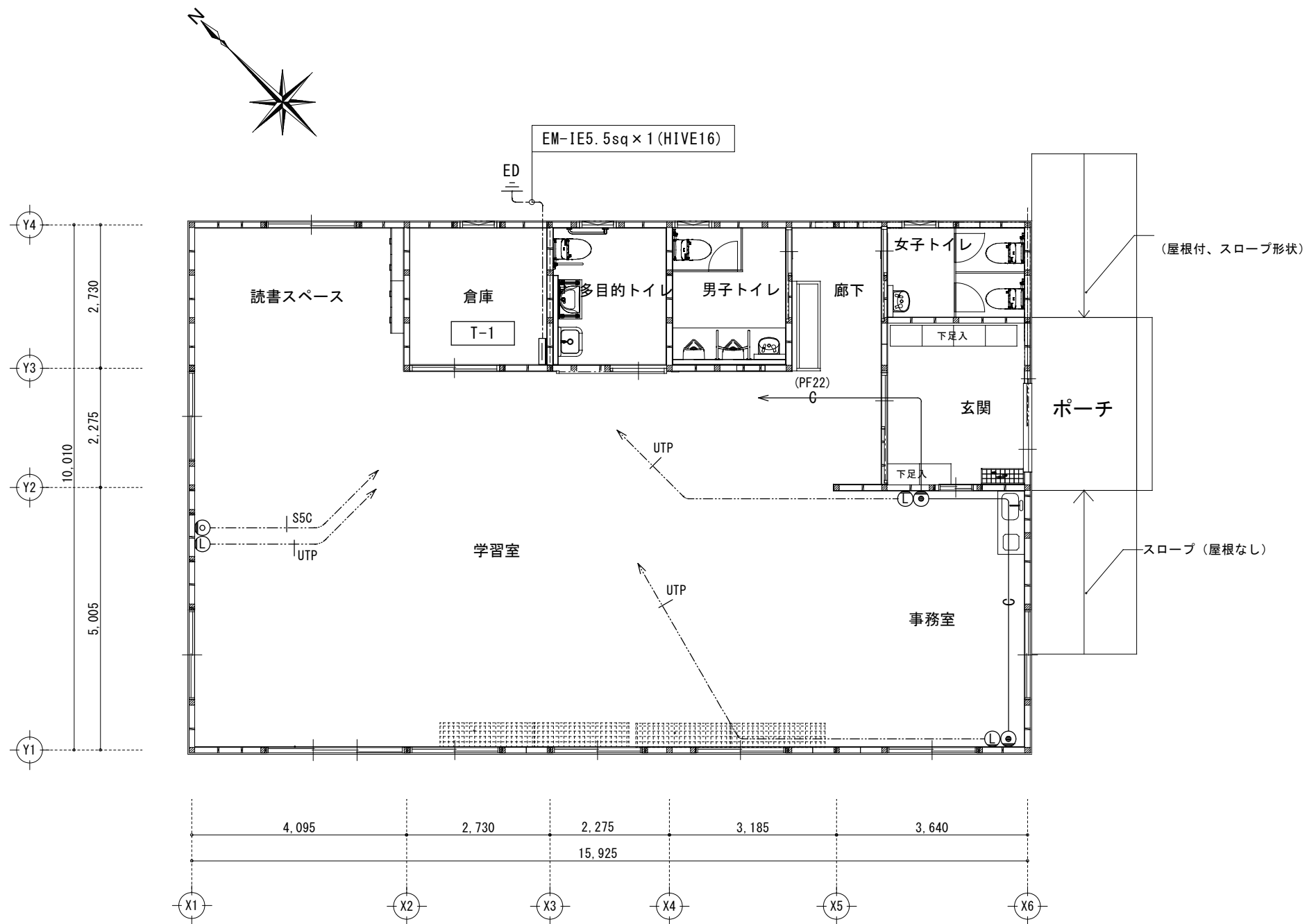
一級建築士事務所

野中建築設計事務所

1級建築士第147931号 野中健一

〒622-0014 京都府南丹市国部町上本町南2-20

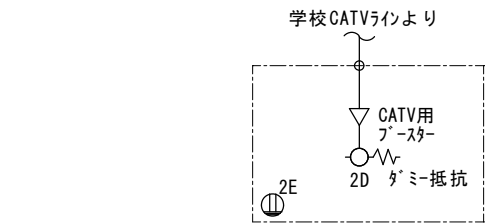
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



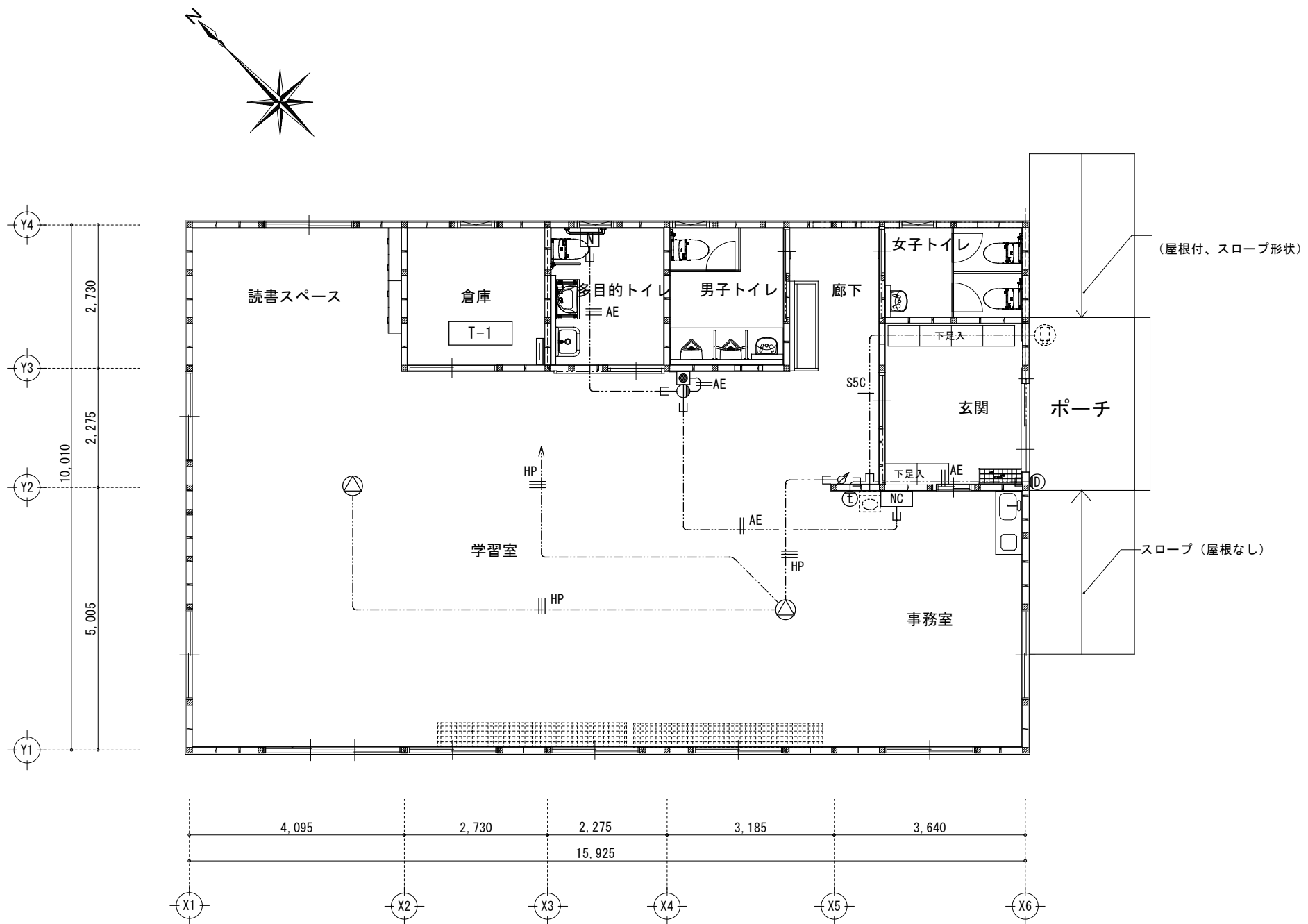
延べ床面積 157.76㎡

平面図 1/100

注記) 明記なき配管配線は、下記に準ずる。		
電話設備		
—○—	—○—	(PF16) (隠蔽)
-----○ (PF22)-----	—○—	(PF16) (隠蔽)
情報設備		
----- UTP -----	EM-UTP0.5-4Pr (cat6A) × 1	(天井内コブシ)
テレビ共聴設備		
----- SSC -----	EM-S-5C-FB × 1	(天井内コブシ)
・二重天井内はケーブルコブシ工事とし、壁面立上がり、立上がり部分は適合PF管にて保護する事。		



凡例	
☐	端子盤 (弱電兼用)
Ⓛ	情報受口 (モジュラージャック8極0芯)
Ⓢ	電話受口 (7ラングレート)
Ⓢ	テレビ用整合器



延べ床面積 157.76㎡

平面図 1/100

注記) 明記なき配管配線は、下記に準ずる。		
インターネット設備		
----- AE -----	EM-AE 1.2-2C × 1	(天井内コブシ)
トイレ呼出設備		
----- AE -----	EM-AE 1.2-2C × 1	(天井内コブシ)
----- AE -----	EM-AE 1.2-3C × 1	(天井内コブシ)
防犯カメラ設備		
----- SSC -----	S-5C-FB × 1	(天井内コブシ)
放送設備		
----- HP -----	EM-HP 1.2-3C × 1	(天井内コブシ)
・二重天井内はケーブルコブシ工事とし、壁面立上がり、立上がり部分は適合PF管にて保護する事。		